

管理者ガイド

HP ThinPro GT



© 2009 Hewlett-Packard Development Company, L.P. 本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書には、著作権によって保護された所有権に関する情報が掲載されています。本書のいかなる部分も、Hewlett-Packard Company の書面による承諾なしに複写、複製、あるいは他言語へ翻訳することはできません。

管理者ガイド

HP ThinPro GT

初版：2009 年 1 月

製品番号：531773-291

このガイドについて

- △ **警告！** その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こすおそれがあるという警告事項を表します。
- △ **注意：** その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こすおそれがあるという注意事項を表します。
- ☞ **注記：** 重要な補足情報です。

このガイドに関するコメント、フィードバック、または質問がある場合は、thinclientdocs@hp.com にお問い合わせください。

目次

1 はじめに

HP ThinPro GTの使用	2
------------------------	---

2 インストール

[Connections] (接続設定)	6
[Connect] (接続)	7
[Disconnect] (切断)	7
[General Settings] (一般設定)	7
Citrix ICA	7
[Options] (オプション)	8
[Local Resources] (ローカル リソース)	9
[Window] (ウィンドウ)	10
[Firewall] (ファイアウォール)	11
[Server Location] (サーバーの場所)	12
[Keyboard Shortcuts] (キーボード ショートカット)	13
Iceweasel	13
[General] (一般)	14
[Proxy] (プロキシ)	15
[Tabbed browsing] (タブ ブラウジング)	16
[Security] (セキュリティ)	17
Javascript	18
RDP	19
[Add] (追加)	20
RGS	20
RGS 接続	21
[Advanced] (詳細設定)	22
Citrix ICA	22
[Network] (ネットワーク)	23
[Connection] (接続)	24
[Window] (ウィンドウ)	25
[Application] (アプリケーション)	26
[Firewall] (ファイアウォール)	27
[Smart Ping] (スマート Ping)	28
[Common Settings] (共通設定)	29

RDP	29
[Network] (ネットワーク)	30
[Window] (ウィンドウ)	31
Options (オプション)	32
[Local Resources] (ローカル リソース)	33
[Experience] (操作環境)	34
[Advanced] (詳細設定)	35
Teemtalk	35
[Teemtalk Creation Wizard] (Teemtalk 作成ウィザード) による [Teemtalk]接続の追加	36
手動による[Teemtalk]接続の追加	39
Iceweasel	41
設定	41
[Advanced] (詳細設定)	42
SAM	42
HP SAM クライアント	43
[Advanced] (詳細設定)	43
XenDesktop/PNAgent	44
設定	44
[Advanced] (詳細設定)	45
Leostream	45
[Network] (ネットワーク)	46
[Advanced] (詳細設定)	47
Provision	47
[Network] (ネットワーク)	48
[Window] (ウィンドウ)	49
[Options] (オプション)	50
[Local Resources] (ローカル リソース)	51
[Experience] (操作環境)	52
[Advanced] (詳細設定)	53
VDM	53
[Network] (ネットワーク)	54
[Window] (ウィンドウ)	55
[Advanced] (詳細設定)	56
Xdmcp	56
[Configuration] (設定)	57
[Advanced] (詳細設定)	58
SSH	58
[Configuration] (設定)	59
[Advanced] (詳細設定)	60
Telnet	61
[Configuration] (設定)	61
[Advanced] (詳細設定)	62

[Custom] (カスタム)	63
[Configuration] (設定)	63
[Advanced] (詳細設定)	64
[Copy] (コピー)	64
[Delete] (削除)	64
[Edit] (編集)	65
[User view] (ユーザー ビュー)	65
[Control Panel] (コントロール パネル)	66
[Altiris Configuration] (Altiris の設定)	67
[Client Aggregation] (クライアント アグリゲーション)	68
クライアント アグリゲーションの概要	68
クライアント アグリゲーションの設定	70
アグリゲーション クライアントの設定	70
アグリゲーション サーバーの設定	72
クライアント アグリゲーションの無効化	75
[Date and Time] (日付と時刻)	76
[Display Preferences] (ディスプレイの設定)	76
HP gt7725 Thin Client へのモニターの接続	77
デュアル ヘッドの HP gt7725 Thin Client へのモニターの接	
続	77
クワッド ヘッドの HP gt7725 Thin Client へのモニターの接	
続	77
モニターの設定	78
モニターの設定の選択および保存	78
ディスプレイの設定	81
ezUpdate	85
ezUpdate サーバーの導入	86
DHCP サーバーの導入	88
[HP Device Management Agent]の設定	88
[HP FTP Update] (HP FTP 更新)	89
[Keyboard] (キーボード)	91
[Keyboard Layout] (キーボード レイアウト)	92
[Language] (言語)	92
[Mouse] (マウス)	93
[Network] (ネットワーク)	94
[Interfaces] (インターフェイス) タブ	94
[General] (全般) タブ	96
[DNS]タブ	97
[Printers] (プリンター)	98
[Printers] (プリンター) タブ	98
プリンターの追加	99
プリンターの変更	100
プリンターの削除	100
[Jobs] (ジョブ) タブ	100

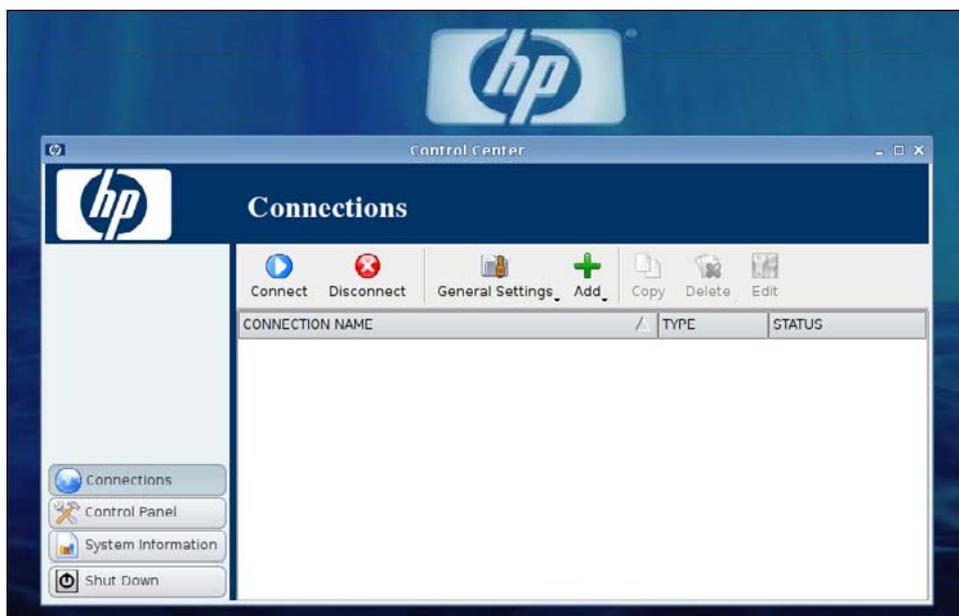
[Screen Saver Manager] (スクリーンセーバー マネージャー)	101
[Display Modes] (表示モード) タブ	101
[Advanced] (詳細設定) タブ	102
サウンドの制御	103
[SSHD Manager] (SSHD マネージャー)	104
[Synaptic Package Manager] (Synaptic パッケージ マネージャ)	104
ThinPrint	105
[HP ThinState]ユーティリティ	106
Thin Client 設定の USB ドライブへのキャプチャ	106
USB ドライブからのキャプチャ済み設定の配備	108
Thin Client の全イメージの USB ドライブへのキャプチャ	109
全イメージの FTP サイトへの配備	111
[USB Manager] (USB マネージャー)	112
[User Login Manager] (ユーザー ログイン マネージャー)	113
[User Permissions] (ユーザー アクセス権)	114
[VNC Shadow] (VNC シャドウイング)	115
[Volume Control] (音量調整)	116
[Window Manager] (ウィンドウ マネージャー)	117
[Xfce 4 Desktop Settings] (Xfce 4 デスクトップ設定)	119
[Xfce 4 User Interface Settings] (Xfce 4 ユーザー インターフェイス設定)	120
[X Terminal]	121
[System Information] (システム情報)	122
[General] (全般)	122
[Network] (ネットワーク)	123
[Net Tools] (ネット ツール)	124
[Software Information] (ソフトウェア情報)	125
索引	126

1 はじめに

このガイドでは、ネットワーク管理者が Thin Client を設定する手順について説明します。また、さまざまな設定ユーティリティについても説明します。

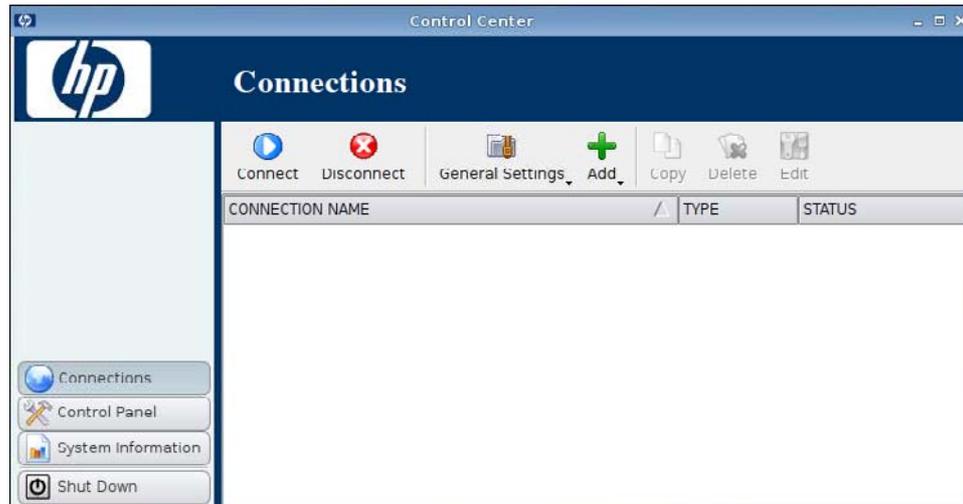
HP ThinPro GT のオペレーティング システムを使用すると、Windows、Citrix、メインフレーム、ミッドレンジ サーバー、Unix/Linux ホスト、および Web アプリケーションにアクセスできます。単一のコンソールによって、合理化されたカスタマイズ可能なユーザー インターフェイスを実現しています。また、HP SAM、Citrix XDI、Leostream、VDM、Provision Networks などの仮想化ブローカーを統合サポートすることで、HP ブレード、VMware、または XenDesktop 環境にアクセスするときのリソース割り当てが向上しています。

HP ThinPro GT のインターフェイスは、初期設定では、Thin Client の電源を入れたときに表示されます。



HP ThinPro GT の使用

HP ThinPro GT では、HP RGS、Citrix ICA、PNAgent、Microsoft® RDP、TeemTalk、Leostream、Provision Networks、VDM、X Window、または Iceweasel 接続を作成することによって、ホストとの接続およびリモート アプリケーションとの接続を起動および管理できます。管理者としてログインすると、ユーザー モードで表示できるようにする接続および接続の種類を定義できます。管理者はさらに、ユーザーによる接続の削除または新しい接続の作成を制限できます。



注記： [HP ThinPro GT]ウィンドウのすべてのコンポーネントにアクセスするには、管理者アクセス権でログインする必要があります。コンソール ウィンドウの一番上にあるバナーが赤色で表示されている場合、オペレーティング システムは管理者モードになっています。バナーが青色で表示されている場合、コンソールはユーザー モードになっています。

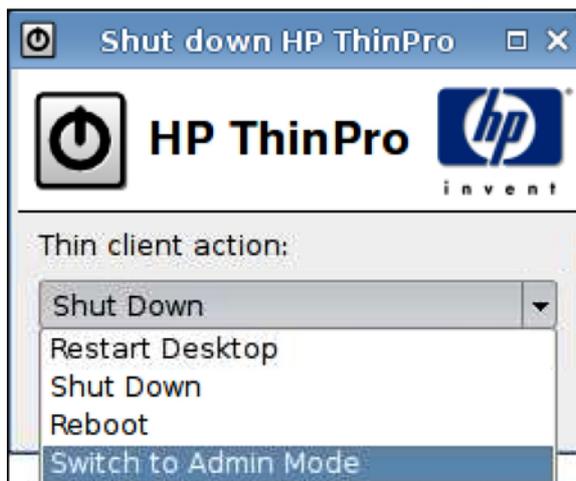
HP ThinPro GT は、初期設定ではユーザー モードで開きます。管理者モードに切り替えるには、以下の操作を行います。

1. デスクトップを右クリックしてから、**[Administrator/User Mode Switch]**（管理者/ユーザーモードの切り替え）を選択します。



または

[Shutdown]（シャットダウン）、**[Switch to Admin mode]**（管理者モードに切り替え） → **[OK]**の順にクリックします。



2. フィールドに[Administrative password]（管理者パスワード）を入力して、[OK]をクリックします。

📖 **注記：** 管理者モードの初期設定のパスワードは root です。



2 インストール

HP ThinPro GT では、HP RGS、Citrix ICA、PNAgent、Microsoft RDP、TeemTalk、Leostream、Provision Networks、VDM、X Window、Iceweasel などのリモート接続を利用および管理できます。HP ThinPro GT のすべての機能にアクセスするには、管理者としてログインする必要があります。ユーザーは接続を実行できるほか、HP ThinPro GT の一部の機能にアクセスできます。

設定されている場合、現在ターミナルにログイン中のユーザーに割り当てられた、すべてのサーバー接続とアプリケーション接続が一覧表示されます。各接続について、接続の名前、種類、および状態が表示されます。

 **注記：** 表示されている接続は、どれもダブルクリックするだけで有効になります。

ピンク色のフィールドは、入力が必要の情報を示します。このフィールドに情報を入力しないと、終了したり新しいページに進んだりすることができない場合があります。

[Connections] (接続設定)

[Connections] (接続設定) では、接続の設定と割り当てを実行できます。

▲ 左側のパネルにある [Connections] (接続設定) をクリックします。



[Connections] (接続設定) ウィンドウに、ユーザーに割り当て可能なすべての接続がアルファベット順に一覧表示されます。このウィンドウから接続を追加、編集、および削除できます。

- **[Connection Name]** (接続名) : 接続名が表示されます。この列から接続名を変更することはできません。
- **[Type]** (タイプ) : 接続タイプが表示されます ([HP RGS]、[Citrix ICA]、[PNAgent]、[Microsoft RDP]、[TeemTalk]、[X Window]、[Leostream]、[Provision Networks]、[VDM]、[Iceweasel]など)。この列から接続タイプを変更することはできません。
- **[Status]** (ステータス) : 接続状態 (有効または無効) が表示されます。

接続の一覧の上には、以下の7つのボタンがあります。

- [7 ページの「\[Connect\] \(接続\)」](#) : 選択されている接続を開始するときにクリックします。
- [7 ページの「\[Disconnect\] \(切断\)」](#) : 選択されている接続を切断するときにクリックします。
- [7 ページの「\[General Settings\] \(一般設定\)」](#) : 接続設定を管理するときにクリックします。
- [20 ページの「\[Add\] \(追加\)」](#) : クリックすると新しい接続が作成され、利用可能な接続の一覧に追加されます。
- [64 ページの「\[Copy\] \(コピー\)」](#) : クリックすると接続がコピーされ、利用可能な接続の一覧に追加されます。
- [64 ページの「\[Delete\] \(削除\)」](#) : 選択されている接続を削除するときにクリックします。選択されている接続は、現在ターミナルにログイン中のユーザーだけでなく、すべてのユーザーに割り当てられた接続の一覧から削除されます。
- [65 ページの「\[Edit\] \(編集\)」](#) : 選択されている接続を編集するときにクリックします。

[Connect] (接続)

- ▲ 接続を開くには、[Connection Name] (接続名) の下から [Status] (ステータス) が [inactive] (無効) になっている接続をクリックして、[Connect] (接続) をクリックします。

[Disconnect] (切断)

- ▲ 接続を閉じるには、[Connection Name] (接続名) の下から [Status] (ステータス) が [active] (有効) になっている接続をクリックして、[Disconnect] (切断) をクリックします。

[General Settings] (一般設定)

[General settings] (一般設定) の内容は、同じ接続タイプのすべての接続で共有されます。

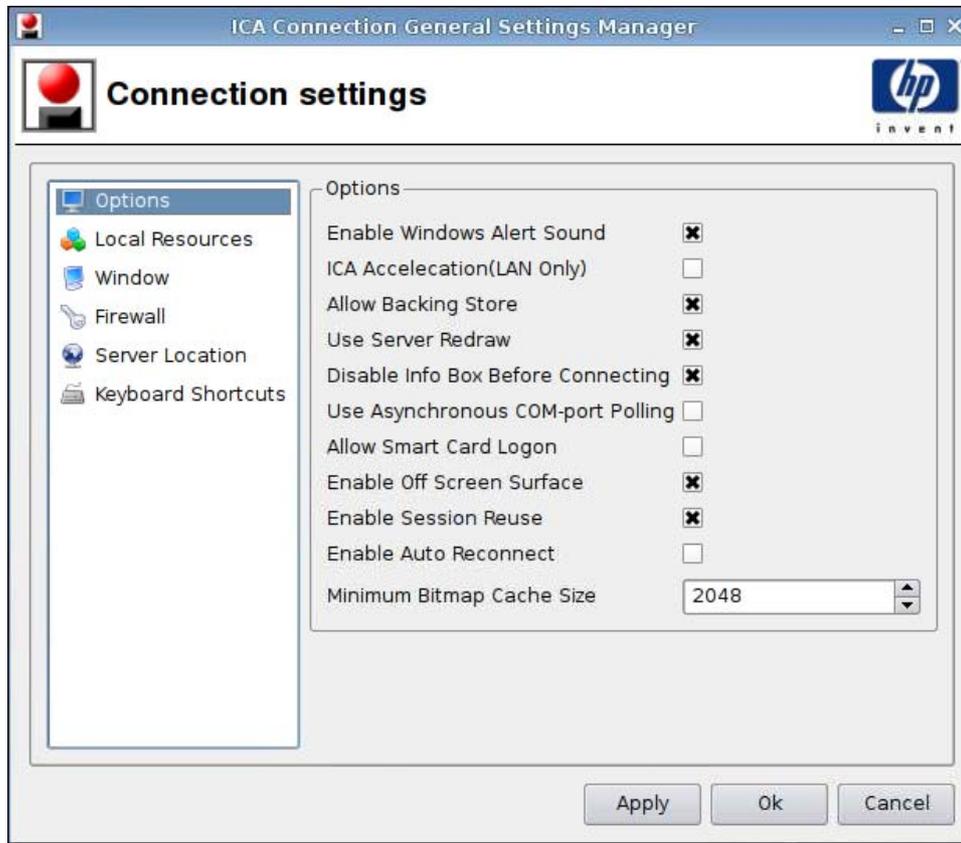
以下の3つの接続タイプが用意されています。

- [7 ページの「Citrix ICA」](#)
- [13 ページの「Iceweasel」](#)
- [19 ページの「RDP」](#)

Citrix ICA

1. [Connections] (接続設定) → [General Settings] (一般設定) の順に選択します。
2. [Citrix ICA] を選択して、以下のオプションを設定します。
 - [8 ページの「\[Options\] \(オプション\)」](#)
 - [9 ページの「\[Local Resources\] \(ローカル リソース\)」](#)
 - [10 ページの「\[Window\] \(ウィンドウ\)」](#)
 - [11 ページの「\[Firewall\] \(ファイアウォール\)」](#)
 - [12 ページの「\[Server Location\] \(サーバーの場所\)」](#)
 - [13 ページの「\[Keyboard Shortcuts\] \(キーボード ショートカット\)」](#)

[Options] (オプション)



1. 以下のオプションを設定します。

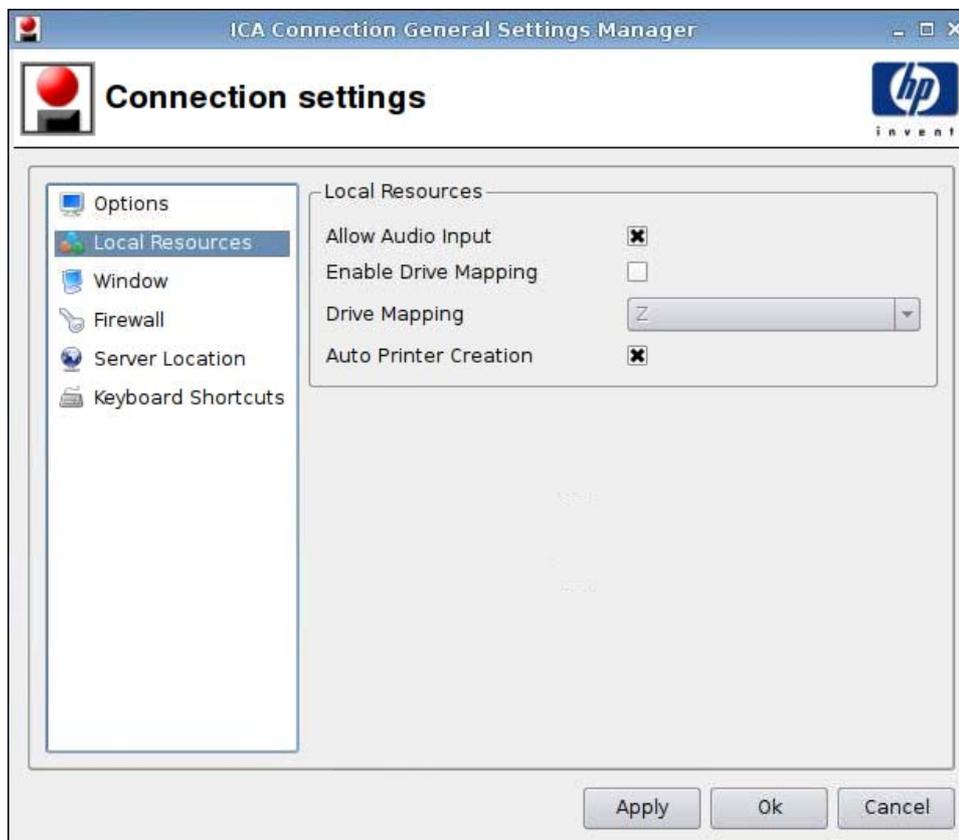
- **[Options] (オプション)**

- **[Enable Windows Alert Sound]** (Windows の警告音を鳴らす)
- **[ICA Accelation (LAN Only)]** (ICA アクセラレーション (LAN のみ))
- **[Allow Backing Store]** (バックキング ストアを許可する)
- **[Use Server Redraw]** (サーバーの再描画を使用する)
- **[Disable Info Box Before Connecting]** (接続前に情報ボックスを無効にする)
- **[Use Asynchronous COM-port Polling]** (非同期 COM ポート ポーリングを使用する)
- **[Allow Smart Card Logon]** (スマート カード ログオンを許可する)
- **[Enable Off Screen Surface]** (オフ スクリーン サーフェスを有効にする)
- **[Enable Session Reuse]** (セッションの再使用を有効にする)
- **[Enable Auto Reconnect]** (自動再接続を有効にする)
- **[Minimum Bitmap Cache Size]** (最小ビットマップ キャッシュ サイズ)

2. **[Apply]** (適用) をクリックして設定を適用します。

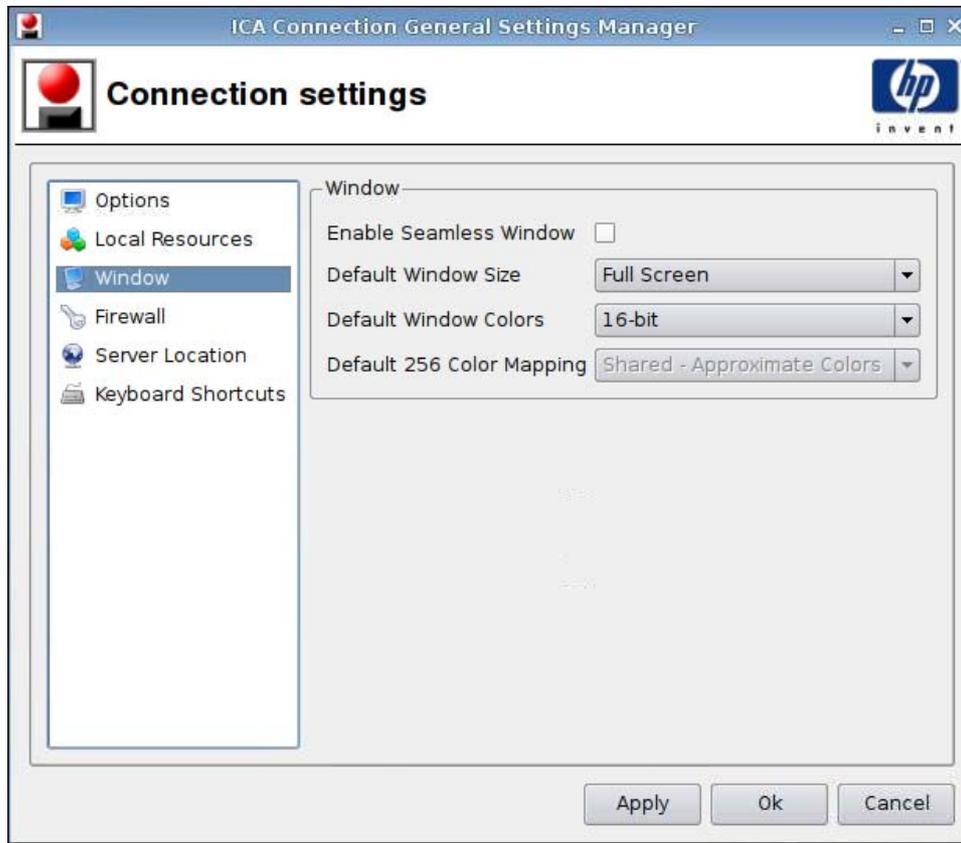
3. 接続設定を完了したら、**[OK]** をクリックします。

[Local Resources] (ローカル リソース)



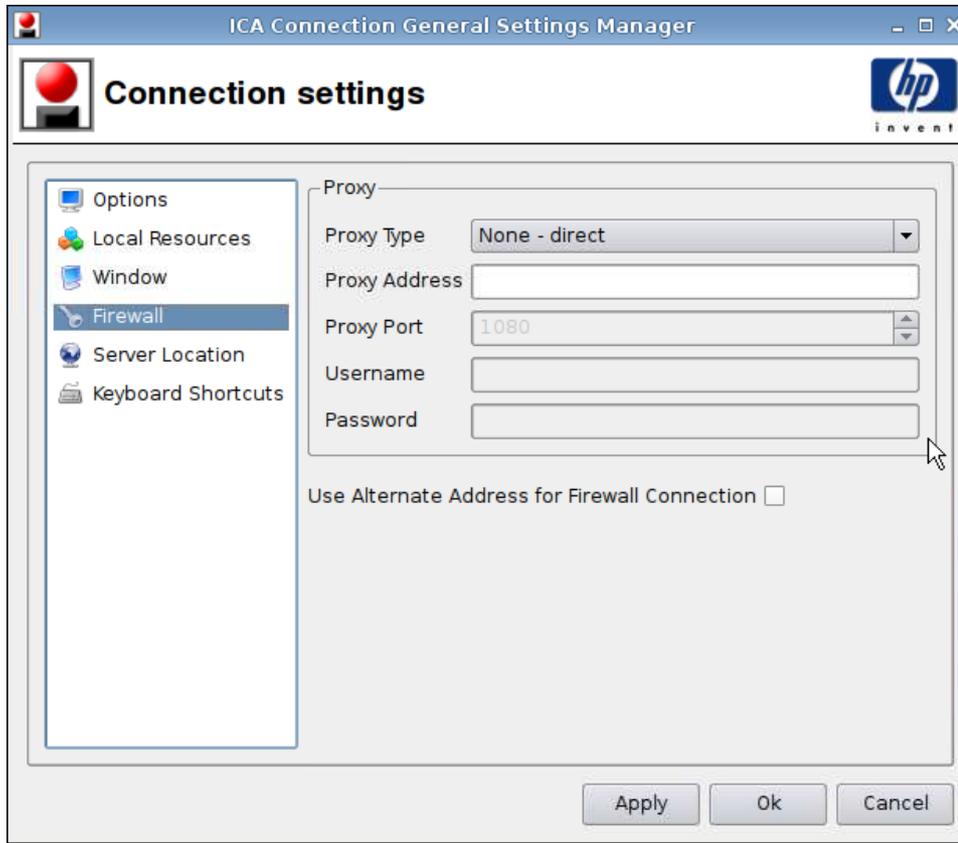
1. 以下のオプションを設定します。
 - [Allow Audio Input] (オーディオの入力有効)
 - [Enable Drive Mapping] (ドライブ マッピングを有効にする)
 - [Drive Mapping] (ドライブ マッピング)
 - [Auto Printer Creation] (自動プリンター作成)
2. [Apply] (適用) をクリックして設定を適用します。
3. 接続設定を完了したら、[OK] をクリックします。

[Window] (ウィンドウ)



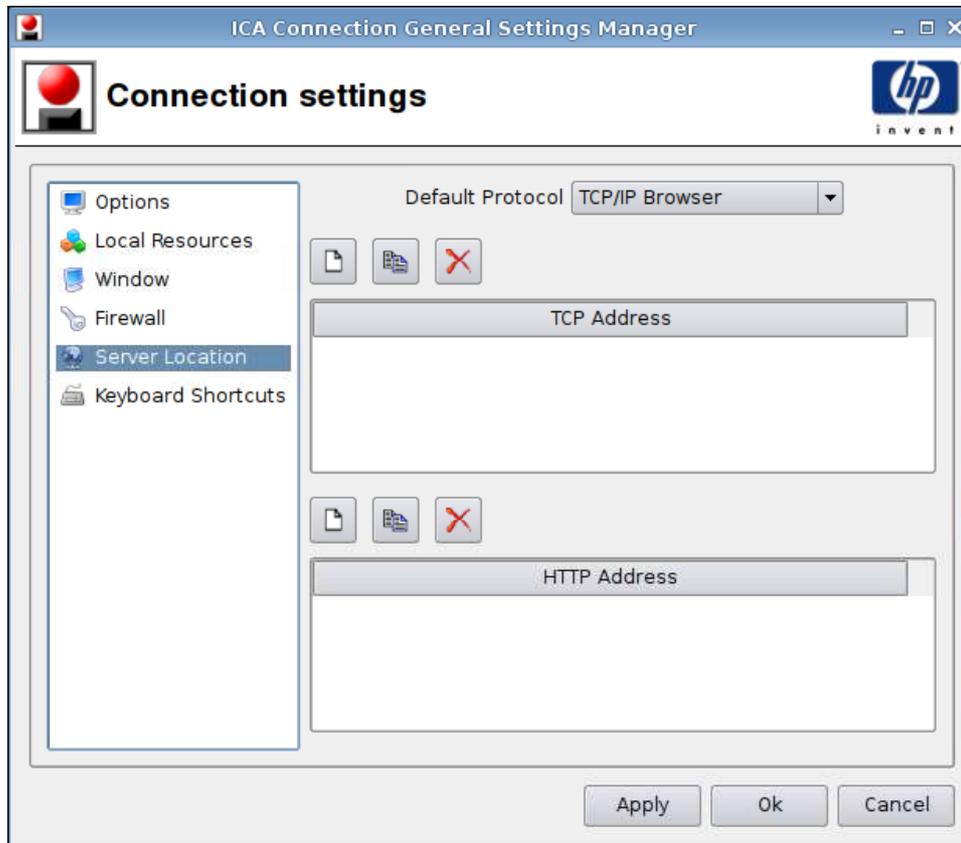
- 以下のオプションを設定します。
 - [Enable Seamless Window]** (シームレス ウィンドウを有効にする)
 - [Default Window Size]** (初期設定のウィンドウ サイズ)
 - [Default Window Colors]** (初期設定のウィンドウ色)
 - [Default 256 Color Mapping]** (初期設定の 256 カラー マッピング)
- [Apply]** (適用) をクリックして設定を適用します。
- 接続設定を完了したら、**[OK]** をクリックします。

[Firewall] (ファイアウォール)



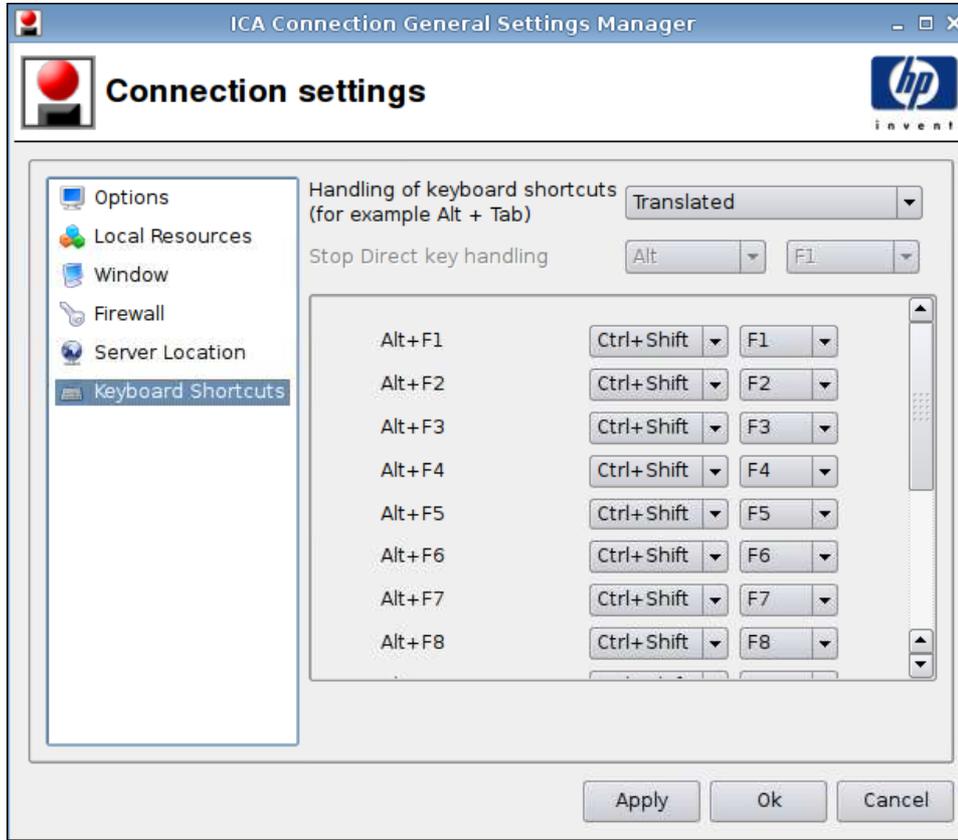
- 以下のオプションを設定します。
 - [Proxy]** (プロキシ)
 - [Proxy Type]** (プロキシ タイプ)
 - [Proxy Address]** (プロキシ アドレス)
 - [Proxy Port]** (プロキシ ポート)
 - [Username]** (ユーザー名)
 - [Password]** (パスワード)
 - [Use Alternate Address for Firewall Connection]** (ファイアウォール接続に代替アドレスを使用)
- [Apply]** (適用) をクリックして設定を適用します。
- 接続設定を完了したら、**[OK]** をクリックします。

[Server Location] (サーバーの場所)



1. 以下のオプションを設定します。
 - [Default Protocol] (初期設定のプロトコル)
 - [TCP Address] (TCP アドレス)
 - [HTTP Address] (HTTP アドレス)
2. [Apply] (適用) をクリックして設定を適用します。
3. 接続設定を完了したら、[OK]をクリックします。

[Keyboard Shortcuts] (キーボード ショートカット)

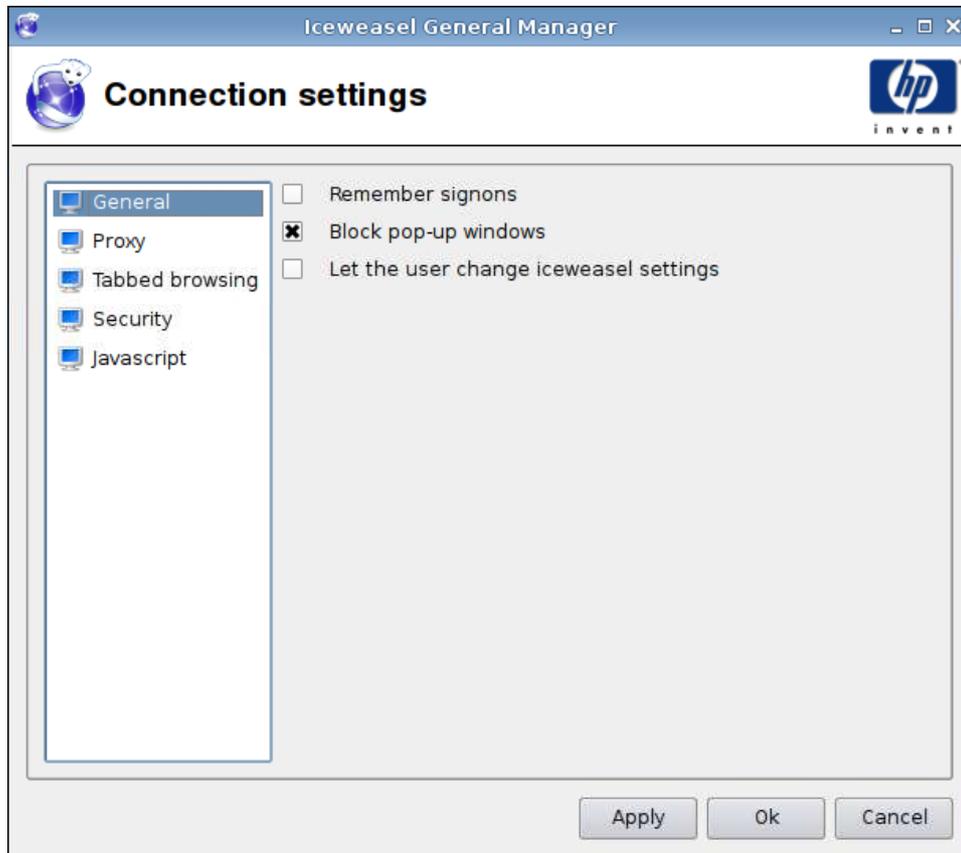


- 以下のオプションを設定します。
 - [Handling of keyboard shortcuts] (キーボード ショートカットの処理)
 - [Stop Direct key handling] (直接キー処理の停止)
 - [Alt+F1 through F12] (Alt + F1 ~ F12)
- [Apply] (適用) をクリックして設定を適用します。
- 接続設定を完了したら、[OK] をクリックします。

Iceweasel

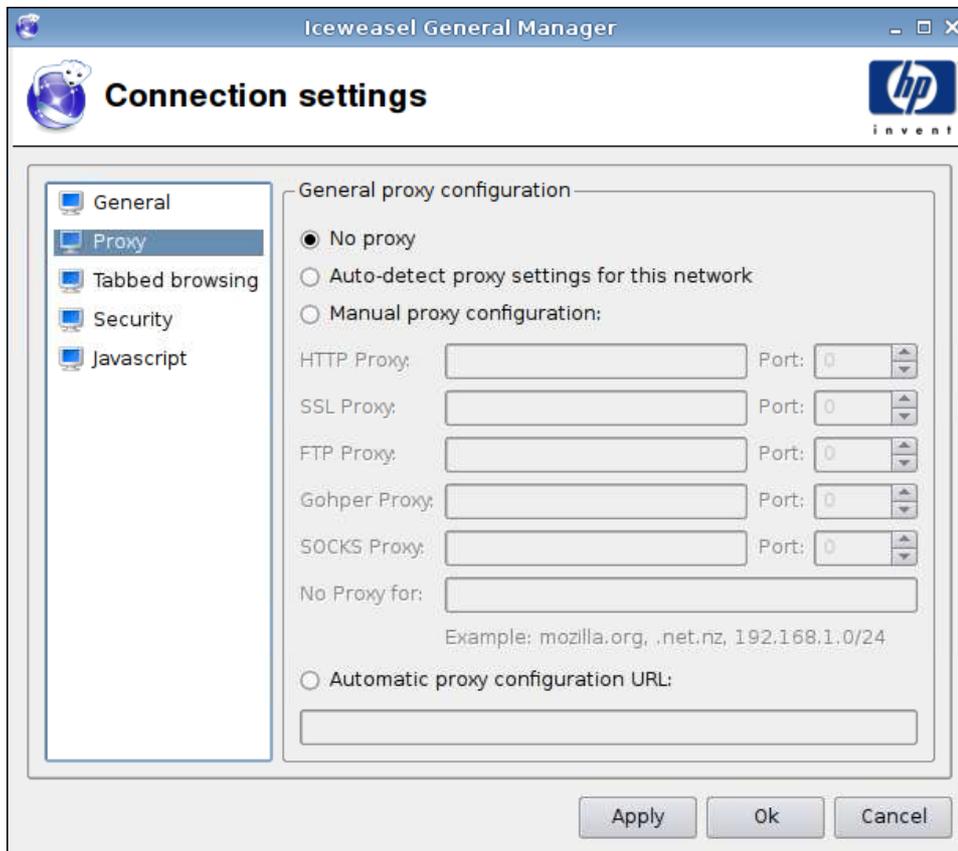
- [Connections] (接続設定) → [General Settings] (一般設定) の順に選択します。
- [Iceweasel] を選択して、以下のオプションを設定します。
 - [14 ページの「\[General\] \(一般\)」](#)
 - [16 ページの「\[Tabbed browsing\] \(タブ ブラウジング\)」](#)
 - [17 ページの「\[Security\] \(セキュリティ\)」](#)

[General] (一般)



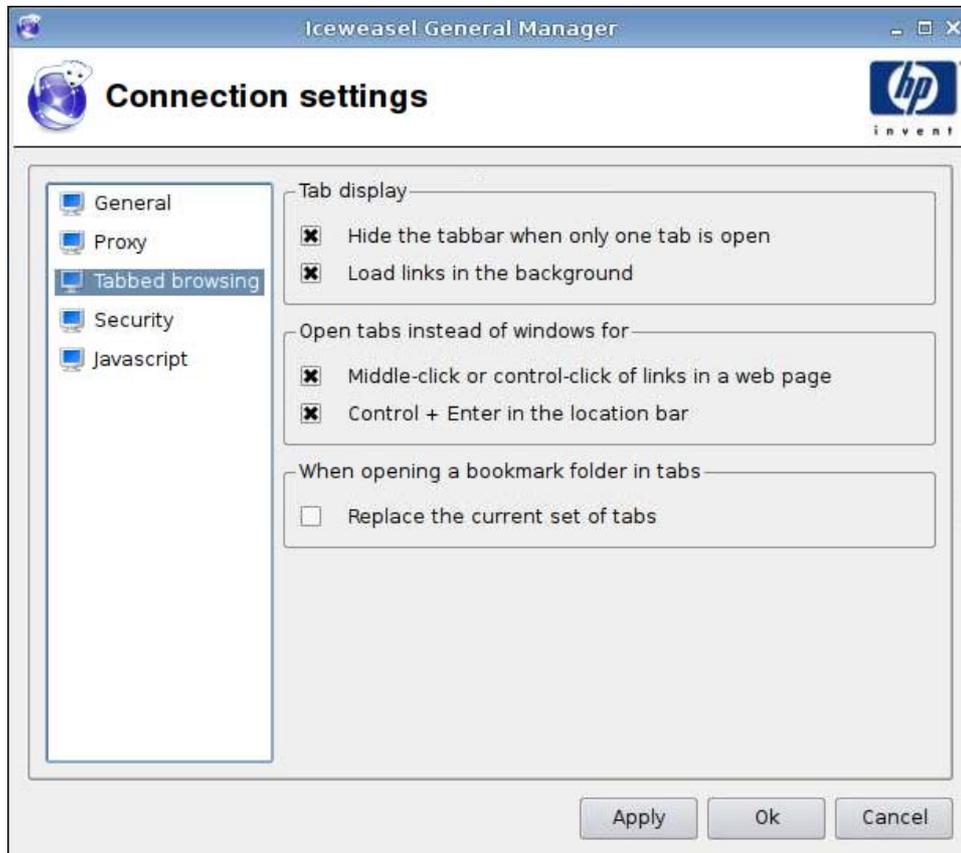
1. 以下のオプションを設定します。
 - **[Remember signons]** (サインオンを記憶する)
 - **[Block pop-up windows]** (ポップアップ ウィンドウをブロックする)
 - **[Let the user change Iceweasel settings]** (ユーザーによる Iceweasel 設定変更を許可する)
2. **[Apply]** (適用) をクリックして設定を適用します。
3. 接続設定を完了したら、**[OK]** をクリックします。

[Proxy] (プロキシ)



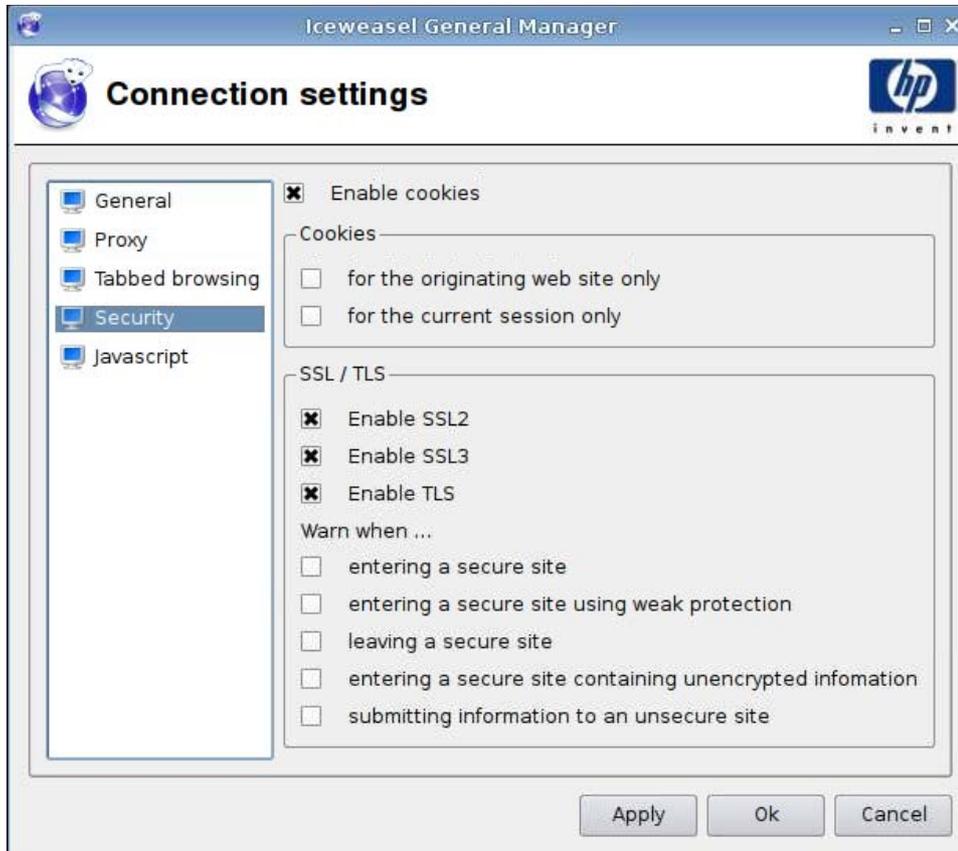
- 以下のオプションを設定します。
 - [No proxy]** (プロキシなし)
 - [Auto-detect proxy settings for this network]** (このネットワークのプロキシ設定を自動検出する)
 - [Manual proxy configuration]** (手動プロキシ設定):
 - [HTTP Proxy and Port]** (HTTP プロキシおよびポート)
 - [SSL Proxy and Port]** (SSL プロキシおよびポート)
 - [FTP Proxy and Port]** (FTP プロキシおよびポート)
 - [Gopher Proxy and Port]** (Gopher プロキシおよびポート)
 - [SOCKS Proxy and Port]** (SOCKS プロキシおよびポート)
 - [No Proxy for]** (プロキシなし)
 - [Automatic proxy configuration URL]** (自動プロキシ設定 URL)
- [Apply]** (適用) をクリックして設定を適用します。
- 接続設定を完了したら、**[OK]** をクリックします。

[Tabbed browsing] (タブ ブラウジング)



1. 以下のオプションを設定します。
 - [Tab display] (タブ表示)
 - [Hide the tabbar when only one tab is open] (タブが1つのみ開いている場合はタブバーを非表示)
 - [Load links in the background] (リンクをバックグラウンドでロード)
 - [Open tabs instead of windows for] (ウィンドウの代わりにタブを開く場合)
 - [Middle-click or control-click of links in a web page] (Web ページのリンクをミドルクリックまたは Ctrl + クリック)
 - [Control + Enter in the location bar] (ロケーション バーで Ctrl + Enter)
 - [When opening a bookmark folder in tabs] (ブックマーク フォルダーをタブに表示)
 - [Replace the current set of tabs] (現在のタブ セットを置き換え)
2. [Apply] (適用) をクリックして設定を適用します。
3. 接続設定を完了したら、[OK] をクリックします。

[Security] (セキュリティ)



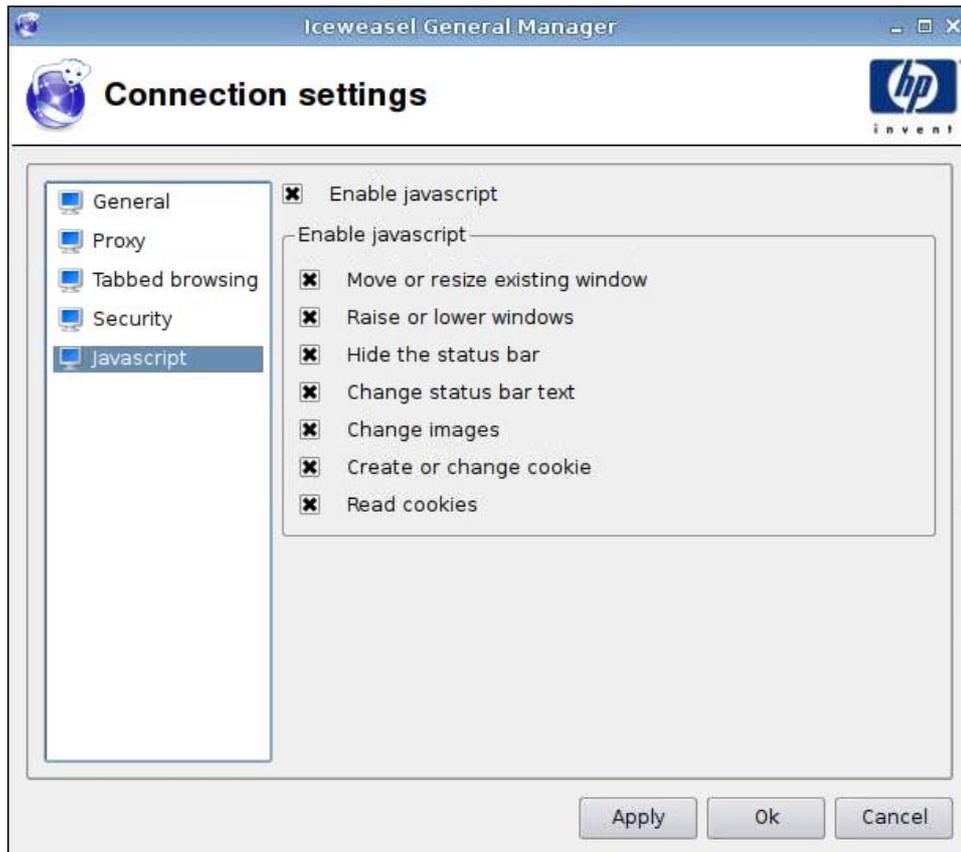
1. 以下のオプションを設定します。

- **[Enable cookies]** (Cookie を有効にする)
- **[Cookie]**
 - **[for the originating web site only]** (発信 Web サイトのみ)
 - **[for the current session only]** (現在のセッションのみ)
- **[SSL/TLS]**
 - **[Enable SSL2]** (SSL2 を有効にする)
 - **[Enable SSL3]** (SSL3 を有効にする)
 - **[Enable TLS]** (TLS を有効にする)
 - **[Warn when]** (以下の場合に警告する)
 - [-entering a secure site]** (セキュリティ保護されたサイトに入るとき)
 - [-entering a secure site using weak protection]** (強度の低いセキュリティ保護されたサイトに入るとき)
 - [-leaving a secure site]** (セキュリティ保護されたサイトを出るとき)
 - [-entering a secure site containing unencrypted information]** (暗号化されていない情報があるセキュリティ保護されたサイトに入るとき)

[-submitting information to an unsecure site] (セキュリティ保護されていないサイトに情報を送信するとき)

2. **[Apply]** (適用) をクリックして設定を適用します。
3. 接続設定を完了したら、**[OK]** をクリックします。

Javascript

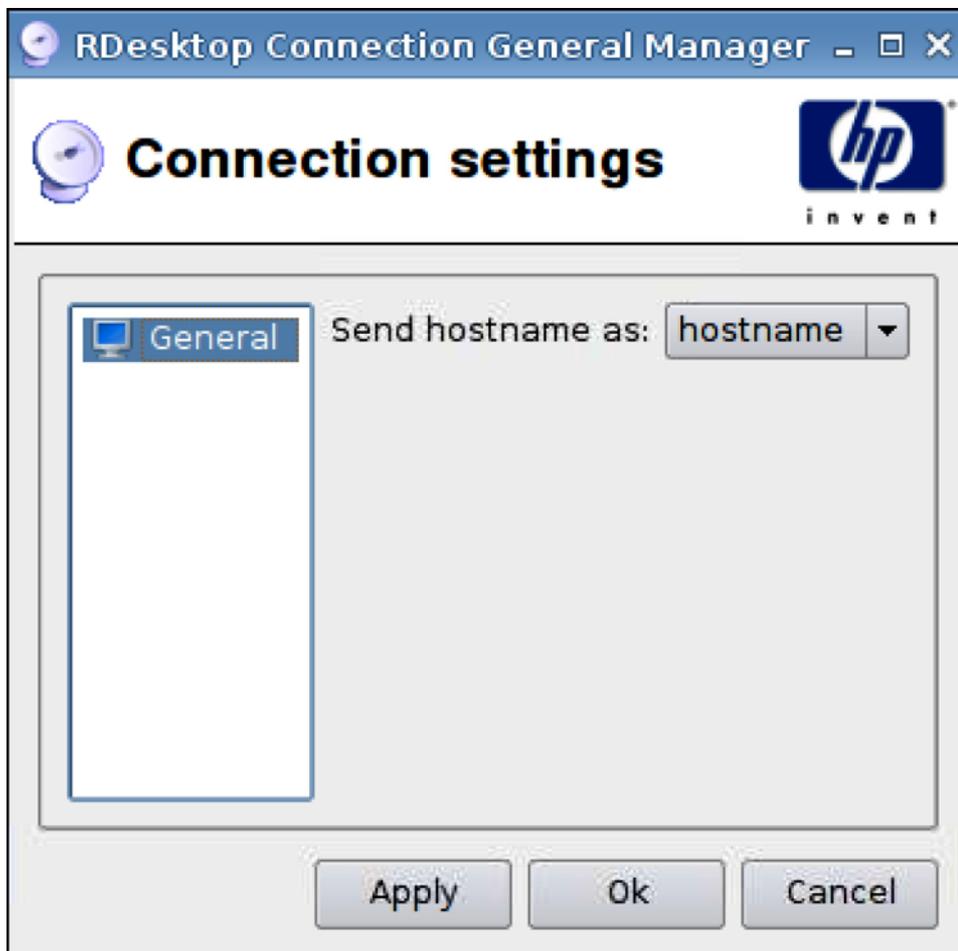


1. 以下のオプションを設定します。
 - **[Enable javascript]** (Javascript を有効にする)
 - **[Enable javascript]** (Javascript を有効にする)
 - **[Move or resize existing window]** (既存のウィンドウを移動またはサイズ変更する)
 - **[Raise or lower windows]** (ウィンドウ数を増加または減少させる)
 - **[Hide status bar]** (ステータス バーを非表示にする)
 - **[Change status bar text]** (ステータス バーのテキストを変更する)
 - **[Change images]** (イメージを変更する)

- [Create or change cookie] (Cookie を作成または変更する)
 - [Read cookies] (Cookie を読み取る)
2. [Apply] (適用) をクリックして設定を適用します。
 3. 接続設定を完了したら、[OK] をクリックします。

RDP

1. [Connections] (接続設定) → [General Settings] (一般設定) の順に選択します。
2. [RDP] を選択して、[Send hostname as] (次としてホスト名を送信) で適切な設定を選択します。
3. [Apply] (適用) をクリックして設定を適用します。
4. [OK] をクリックします。



[Add] (追加)

以下の接続を追加するオプションがあります。

- [20 ページの「RGS」](#)
- [22 ページの「Citrix ICA」](#)
- [29 ページの「RDP」](#)
- [35 ページの「Teemtalk」](#)
- [41 ページの「Iceweasel」](#)
- [42 ページの「SAM」](#)
- [44 ページの「XenDesktop/PNAgent」](#)
- [45 ページの「Leostream」](#)
- [47 ページの「Provision」](#)
- [53 ページの「VDM」](#)
- [56 ページの「Xdmcp」](#)
- [58 ページの「SSH」](#)
- [61 ページの「Telnet」](#)
- [63 ページの「\[Custom\] \(カスタム\)」](#)

RGS

1. [RGS]接続を追加するには、[Connections] (接続設定) → [Add] (追加) の順にクリックします。
2. [RGS]を選択して、以下のオプションを設定します。
 - [21 ページの「RGS 接続」](#)
 - [22 ページの「\[Advanced\] \(詳細設定\)」](#)

RGS 接続

Mode	Servers
<input checked="" type="checkbox"/> Normal	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> Directory	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> Enterprise	<input type="text"/>

Settings stored on server
 Settings stored locally

Warning Timeout: sec
Error Timeout: sec

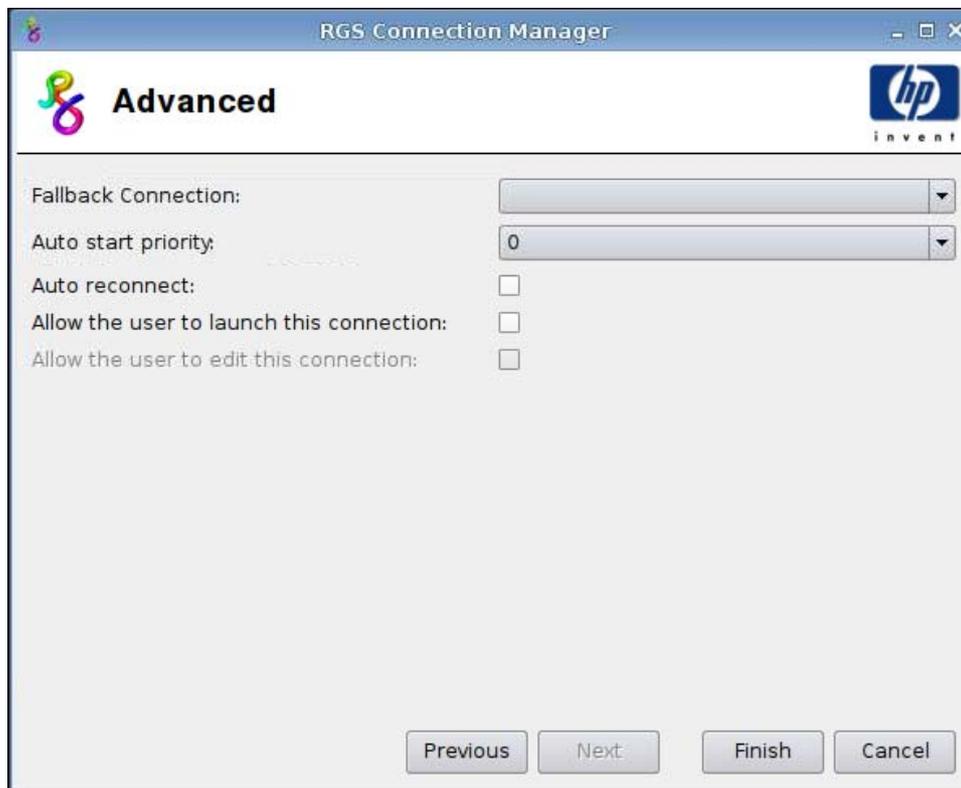
Use global image updates

Borders:

Previous Next Finish Cancel

- 以下のオプションを設定します。
 - **[Name]** (名前)
 - **[Mode]** (モード) および**[Servers]** (サーバー)
 - **[Normal]** (標準)
 - **[Directory]** (ディレクトリ)
 - **[Enterprise]** (エンタープライズ)
 - [Settings stored on server]** (サーバーに保存された設定)
 - [Settings stored locally]** (ローカルに保存された設定)
 - **[Warning Timeout]** (警告タイムアウト)
 - **[Error Timeout]** (エラー タイムアウト)
 - **[Use global image updates]** (グローバルなイメージの更新を使用する)
 - **[Borders]** (境界線)
- [Next]** (次へ) をクリックして次のウィンドウに進むか、**[Finish]** (完了) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

[Advanced] (詳細設定)



- 以下のオプションを設定します。
 - **[Fallback Connection]** (フォールバック接続)
 - **[Auto start priority]** (自動開始の優先度)
 - **[Auto reconnect]** (自動再接続)
 - **[Allow the user to launch this connection]** (ユーザーによるこの接続の起動を許可する)

 **注記:** このオプションは管理者モードでのみ使用できます。

 - **[Allow the user to edit this connection]** (ユーザーによるこの接続の編集を許可する)
- [Finish]** (完了) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

Citrix ICA

- [Citrix ICA]接続を追加するには、**[Connections]** (接続設定) → **[Add]** (追加) の順にクリックします。
- [Citrix ICA]** を選択して、以下のオプションを設定します。
 - [23 ページの「\[Network\] \(ネットワーク\)」](#)
 - [24 ページの「\[Connection\] \(接続\)」](#)
 - [25 ページの「\[Window\] \(ウィンドウ\)」](#)
 - [26 ページの「\[Application\] \(アプリケーション\)」](#)

- [27 ページの「\[Firewall\] \(ファイアウォール\)」](#)
- [28 ページの「\[Smart Ping\] \(スマート Ping\)」](#)
- [29 ページの「\[Common Settings\] \(共通設定\)」](#)

[Network] (ネットワーク)

注記： ピンク色のフィールドは、入力が必要な情報を示します。このフィールドに情報を入力しないと、終了したり新しいページに進んだりすることができない場合があります。

- 以下のオプションを設定します。
 - [Connections] (接続設定)
 - [Network] (ネットワーク)
 - [Server Type] (接続先タイプ)
 - [Server] (サーバー)
 - [Protocol] (プロトコル)
 - [Application] (アプリケーション)

- **[Credentials]** (証明書)
 - **[Username]** (ユーザー名)
 - **[Password]** (パスワード)
 - **[Domain]** (ドメイン)
 - **[Allow Smart Card Logon]** (スマート カード ログオンを許可する)
2. **[Next]** (次へ) をクリックして次のウィンドウに進むか、**[Finish]** (完了) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

[Connection] (接続)



1. 以下のオプションを設定します。
- **[Enable Audio Input]** (オーディオの入力を有効にする)
 - **[Use Data Compression]** (データ圧縮を使用する)
 - **[Enable Middle Button Paste]** (ミドル ボタン ペーストを有効にする)
 - **[Use Disk Cache for Bitmaps]** (ビットマップにディスク キャッシュを使用する)

- **[Enable Drive Mapping]** (ドライブ マッピングを有効にする)
 - **[Sound]** (サウンド)
 - **[Speed Screen]** (スピード スクリーン)
 - **[Mouse Click Feedback]** (マウス フィードバック)
 - **[Local Text Echo]** (ローカル テキスト エコー)
 - **[Encryption Level]** (暗号化レベル)
2. **[Next]** (次へ) をクリックして次のウィンドウに進むか、**[Finish]** (完了) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

[Window] (ウィンドウ)



1. 以下のオプションを設定します。
- **[Enable Seamless Window]** (シームレス ウィンドウを有効にする)
 - **[Window Size]** (ウィンドウ サイズ)

- **[Window Colors]** (ウィンドウ色)
 - **[256 Color Mapping]** (256 カラー マッピング)
2. **[Next]** (次へ) をクリックして次のウィンドウに進むか、**[Finish]** (完了) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

[Application] (アプリケーション)



1. 以下のオプションを設定します。
 - **[Application]** (アプリケーション)
 - **[Directory]** (ディレクトリ)
2. **[Next]** (次へ) をクリックして次のウィンドウに進むか、**[Finish]** (完了) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

[Firewall] (ファイアウォール)

ICA Connection Session Settings Manager

Firewall

Proxy

Proxy Type: None - direct

Proxy Address: []

Proxy Port: 1080

Username: []

Password: []

Use Alternate Address for Firewall Connection

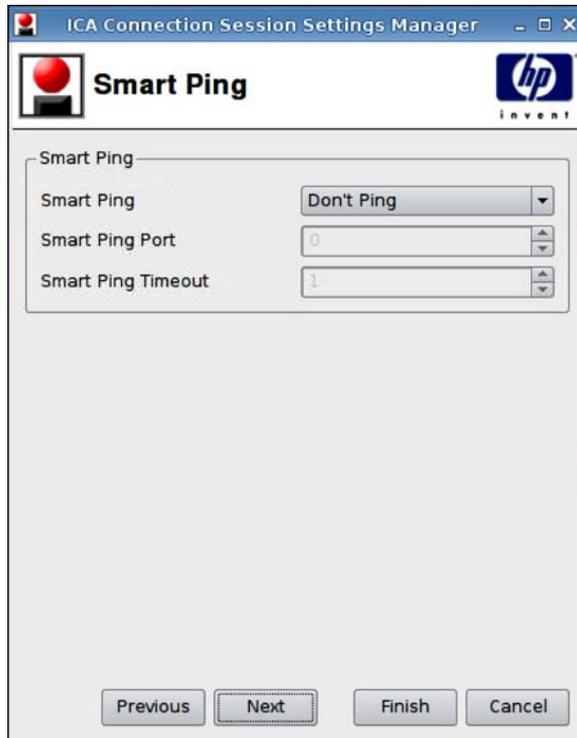
Previous Next Finish Cancel

1. 以下のオプションを設定します。

- **[Proxy] (プロキシ)**
 - **[Proxy Type] (プロキシ タイプ)**: プロキシの種類を選択します。
 - **[Proxy Address] (プロキシ アドレス)**: プロキシのホスト名を入力します。
 - **[Proxy Port] (プロキシ ポート)**: プロキシのホスト ポートを入力します。
 - **[Username] (ユーザー名)**: リモート コンピューターに接続するときに使用するアカウントのプロキシ ユーザー名を入力します。
 - **[Password] (パスワード)**: リモート コンピューターに接続するときに使用するアカウントのパスワードを入力します。
- **[Use Alternate Address for Firewall Connection] (ファイアウォール接続に代替アドレスを使用)**

2. **[Next] (次へ)** をクリックして次のウィンドウに進むか、**[Finish] (完了)** をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

[Smart Ping] (スマート Ping)



1. 以下のオプションを設定します。

- **[Smart Ping]** (スマート Ping) : HP ThinPro GT で、接続の試行前にサーバーに ping を送信できます。サーバー名の解決に失敗するか、サーバーが ping の応答に失敗した場合、Thin Client は接続の試行を中止します。
- **[Smart Ping Port]** (スマート Ping ポート) : スマート Ping のポートを指定できます。
- **[Smart Ping Timeout]** (スマート Ping タイムアウト) : スマート Ping で ping を送信し続ける時間を指定できます。

2. **[Next]** (次へ) をクリックして次のウィンドウに進むか、**[Finish]** (完了) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

[Common Settings] (共通設定)



1. 以下のオプションを設定します。

- **[Fallback Connection]** (フォールバック接続)
- **[Auto start priority]** (自動開始の優先度)
- **[Auto reconnect]** (自動再接続)
- **[Allow the user to launch this connection]** (ユーザーによるこの接続の起動を許可する)

 **注記：** このオプションは管理者モードでのみ使用できます。

- **[Allow the user to edit this connection]** (ユーザーによるこの接続の編集を許可する)

2. **[Finish]** (完了) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

RDP

1. [RDP]接続を追加するには、**[Connections]** (接続設定) → **[Add]** (追加) の順にクリックします。

2. **[RDP]**を選択して、以下のオプションを設定します。

- [30 ページの「\[Network\] \(ネットワーク\)」](#)
- [31 ページの「\[Window\] \(ウィンドウ\)」](#)
- [32 ページの「\[Options\] \(オプション\)」](#)
- [33 ページの「\[Local Resources\] \(ローカル リソース\)」](#)

- [34 ページの「\[Experience\] \(操作環境\)」](#)
- [35 ページの「\[Advanced\] \(詳細設定\)」](#)

[Network] (ネットワーク)

RDesktop Connection Manager

Network

Name:

Address: Port:

Application:

Directory:

Username:

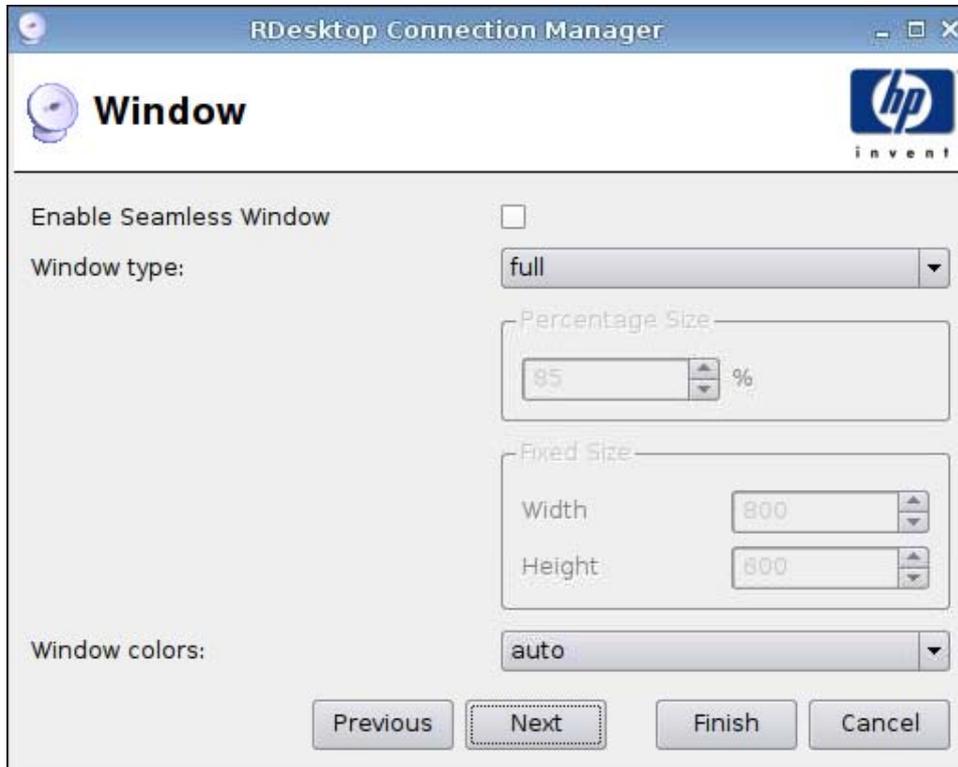
Password:

Domain:

Allow Smartcard Login

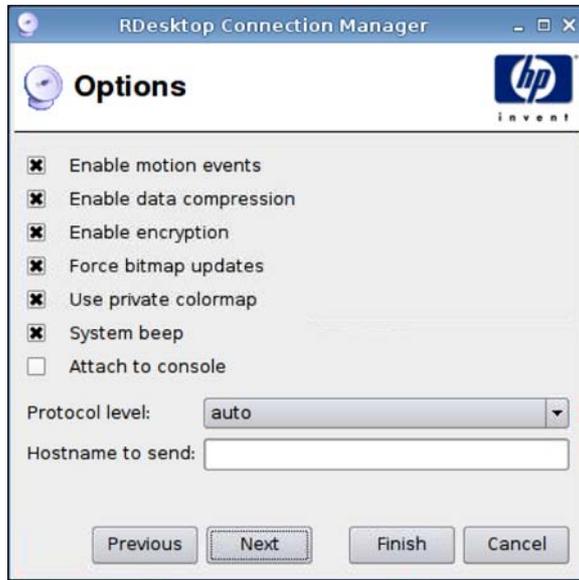
1. 以下のオプションを設定します。
 - **[Name]** (名前)
 - **[Address]** (アドレス)
 - **[Port]** (ポート)
 - **[Application]** (アプリケーション)
 - **[Directory]** (ディレクトリ)
 - **[Username]** (ユーザー名)
 - **[Password]** (パスワード)
 - **[Domain]** (ドメイン)
 - **[Allow Smartcard Login]** (スマートカード ログインを許可する)
2. **[Next]** (次へ) をクリックして次のウィンドウに進むか、**[Finish]** (完了) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

[Window] (ウィンドウ)



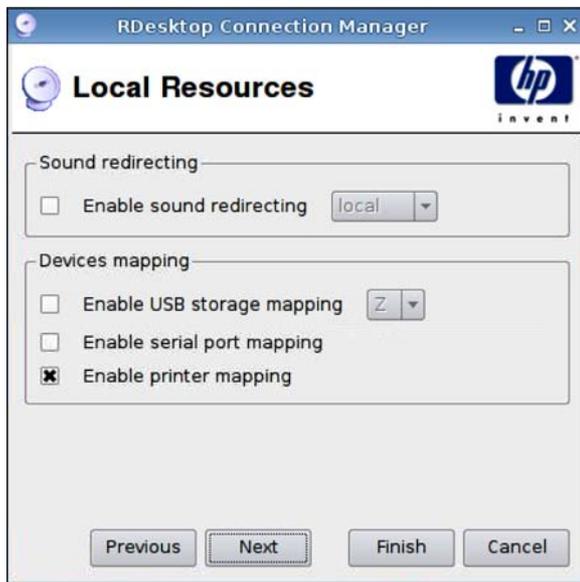
1. 以下のオプションを設定します。
 - **[Enable Seamless Window]** (シームレス ウィンドウを有効にする)
 - **[Window type]** (ウィンドウ タイプ)
 - **[Percentage Size]** (パーセント サイズ)
 - **[合計サイズ:]**
 - [Width]** (幅)
 - [Height]** (高さ)
 - **[Window colors]** (ウィンドウ色)
2. **[Next]** (次へ) をクリックして次のウィンドウに進むか、**[Finish]** (完了) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

Options (オプション)



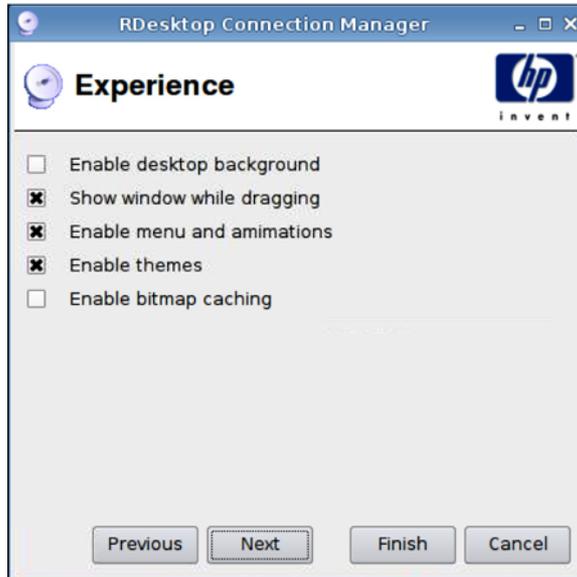
1. 以下のオプションを設定します。
 - **[Enable motion events]** (モーション イベントを有効にする)
 - **[Enable data compression]** (データ圧縮を有効にする)
 - **[Enable encryption]** (暗号化を有効にする)
 - **[Force bitmap updates]** (ビットマップを強制的に更新する)
 - **[Use private colormap]** (プライベート カラーマップを使用する)
 - **[System beep]** (システム ビープを鳴らす)
 - **[Attach to console]** (コンソールに接続する)
 - **[Protocol level]** (プロトコル レベル)
 - **[Hostname to send]** (送信先ホスト名)
2. **[Next]** (次へ) をクリックして次のウィンドウに進むか、**[Finish]** (完了) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

[Local Resources] (ローカル リソース)



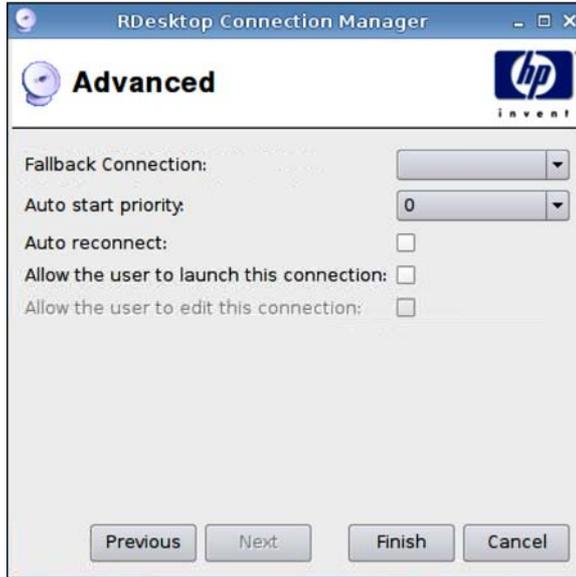
1. 以下のオプションを設定します。
 - **[Sound redirecting]** (サウンド リダイレクト)
 - **[Enable sound redirecting]** (サウンド リダイレクトを有効にする)
 - **[Devices mapping]** (デバイス マッピング)
 - **[Enable USB storage mapping]** (USB ストレージのマッピングを有効にする)
 - **[Enable serial port mapping]** (シリアル ポートのマッピングを有効にする)
 - **[Enable printer mapping]** (プリンターのマッピングを有効にする)
2. **[Next]** (次へ) をクリックして次のウィンドウに進むか、**[Finish]** (完了) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

[Experience] (操作環境)



1. 以下のオプションを設定します。
 - **[Enable desktop background]** (デスクトップの背景を有効にする)
 - **[Show window while dragging]** (ドラッグ中にウィンドウを表示する)
 - **[Enable menu and animations]** (メニューとアニメーションを有効にする)
 - **[Enable themes]** (テーマを有効にする)
 - **[Enable bitmap caching]** (ビットマップ キャッシュを有効にする)
2. **[Next]** (次へ) をクリックして次のウィンドウに進むか、**[Finish]** (完了) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

[Advanced] (詳細設定)



1. 以下のオプションを設定します。

- [Fallback Connection] (フォールバック接続)
- [Auto start priority] (自動開始の優先度)
- [Auto reconnect] (自動再接続)
- [Allow the user to launch this connection] (ユーザーによるこの接続の起動を許可する)

 **注記:** このオプションは管理者モードでのみ使用できます。

- [Allow the user to edit this connection] (ユーザーによるこの接続の編集を許可する)

2. [Finish] (完了) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

Teemtalk

新しい[Teemtalk]接続は、以下の2つの方法で作成できます。

- [36 ページの「\[Teemtalk Creation Wizard\] \(Teemtalk 作成ウィザード\) による\[Teemtalk\]接続の追加」](#)
- [39 ページの「手動による\[Teemtalk\]接続の追加」](#)

[Teemtalk]については、『HP TeemTalk Terminal Emulator 7.0 User Guide』(HP TeemTalk Terminal Emulator 7.0 ユーザー ガイド) (英語版) を参照してください。このガイドは <http://bizsupport.austin.hp.com/bc/docs/support/SupportManual/c01534810/c01534810.pdf> から入手できます。



[Teemtalk Creation Wizard] (Teemtalk 作成ウィザード) による[Teemtalk]接続の追加

1. ウィザードで[Teemtalk]接続を追加するには、[Connections] (接続設定) → [Add] (追加) の順にクリックします。
2. [Teemtalk]を選択して、[Teemtalk creation wizard] (Teemtalk 作成ウィザード) をクリックします。

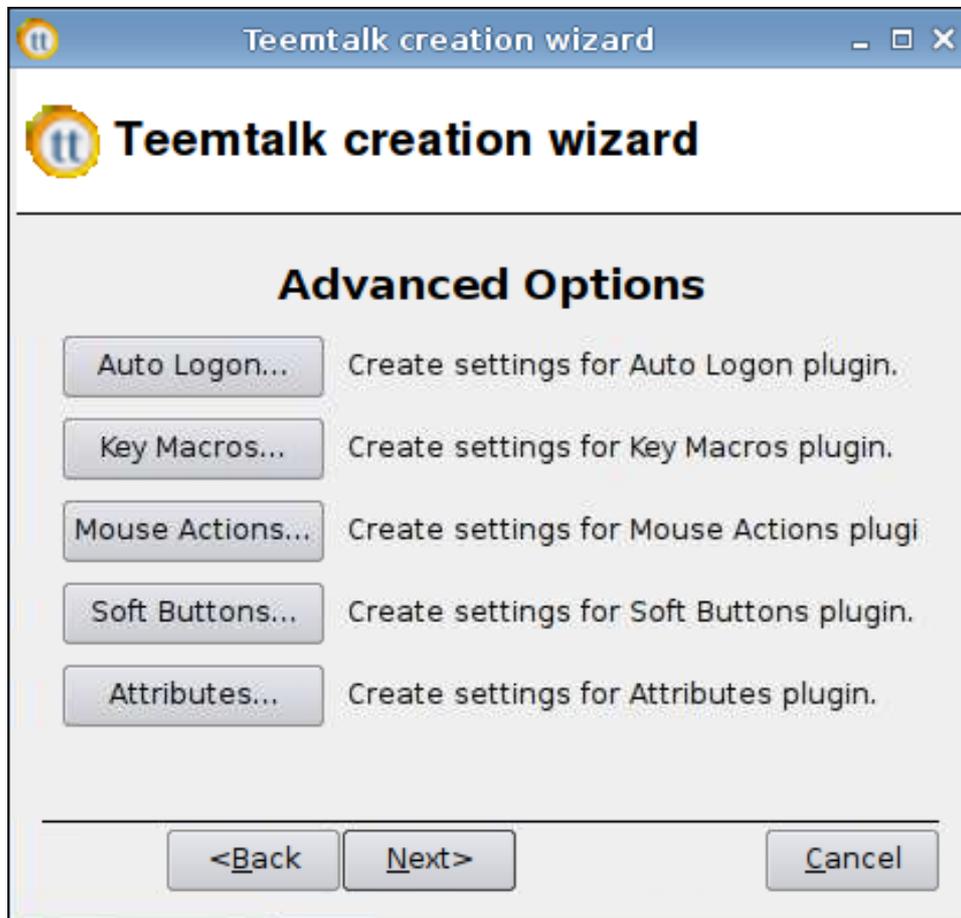
[Connection Information] (接続情報)

The screenshot shows a window titled "Teemtalk creation wizard" with a standard Windows-style title bar. Below the title bar is a header area with the Teemtalk logo and the text "Teemtalk creation wizard". The main content area is titled "Connection Information" and contains the following fields:

- Session Name:** A text input field.
- Transport:** A dropdown menu currently showing "Serial", with a "Configure" button to its right.
- Connection:** A dropdown menu currently showing "Telnet", with a "Configure" button to its right.
- Emulation:** A dropdown menu currently showing "hp70092", with a "Configure" button to its right.

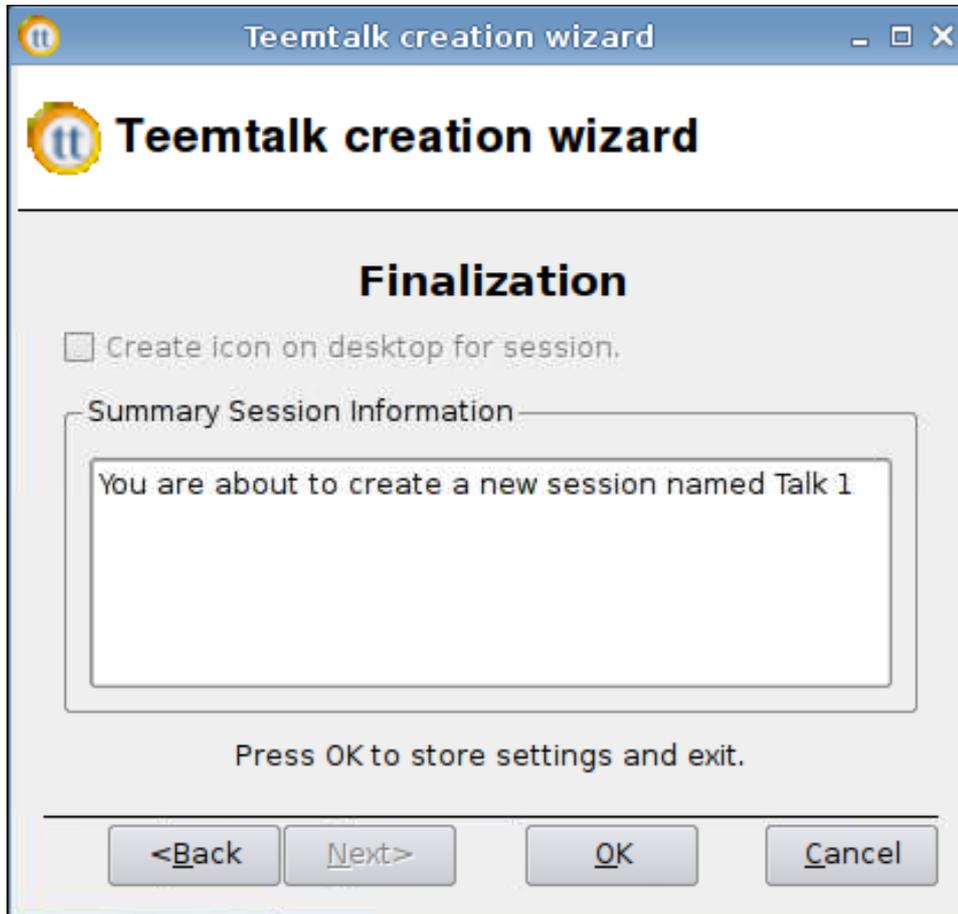
At the bottom of the dialog, there are three buttons: "<Back", "Next>", and "Cancel".

1. 以下の[Connection Information] (接続情報) を選択して、設定します。
 - [Session Name] (セッション名)
 - [Transport] (送信) タイプ :
 - [Connection] (接続) タイプ
 - [Emulation] (エミュレーション) タイプ
2. [Next] (次へ) をクリックします。



1. 以下の[Advanced Options] (詳細設定オプション) を設定します。
 - [Auto Logon] (自動ログオン)
 - [Key Macros] (キー マクロ)
 - [Mouse Actions] (マウス動作)
 - [Soft Buttons] (ソフト ボタン)
 - [Attributes] (属性)
2. [Next] (次へ) をクリックします。

[Finalization] (確定)

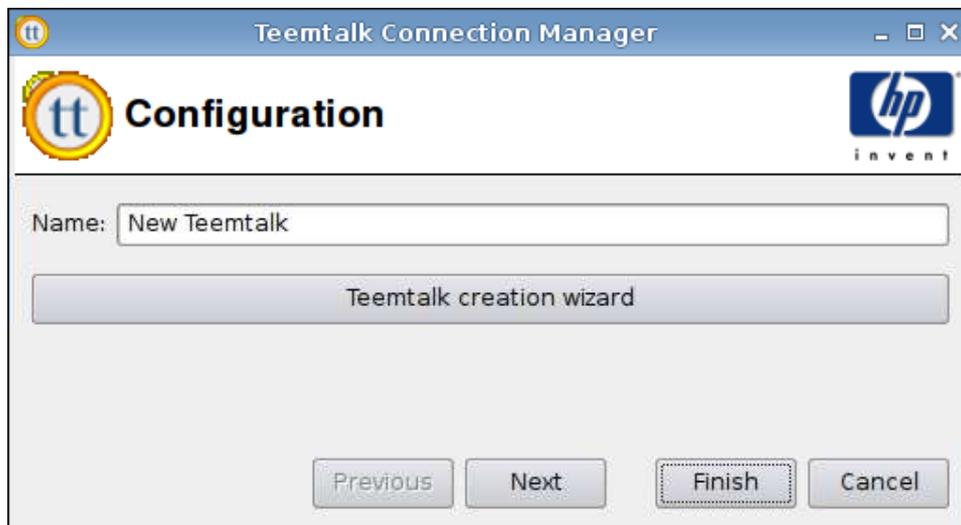


1. デスクトップ上にアイコンを作成するかしないかを選択して、[OK]をクリックします。
2. [Finish] (完了) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

手動による[Teemtalk]接続の追加

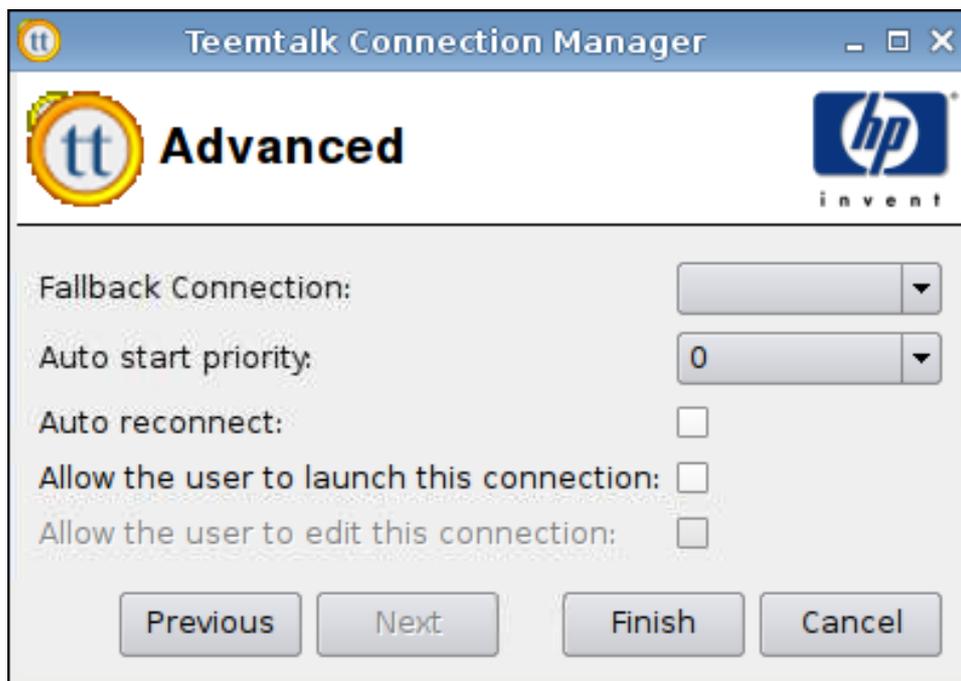
1. [Teemtalk]接続を手動で追加するには、[Connections] (接続設定) →[Add] (追加) の順にクリックします。
2. [Teemtalk]を選択して、以下のオプションを設定します。
 - [40 ページの「\[Configuration\] \(設定\)」](#)
 - [40 ページの「\[Advanced\] \(詳細設定\)」](#)

[Configuration] (設定)



1. 以下のオプションを設定します。
 - [Name] (名前)
2. [Next] (次へ) をクリックして次のウィンドウに進むか、[Finish] (完了) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

[Advanced] (詳細設定)



1. 以下のオプションを設定します。
 - [Fallback Connection] (フォールバック接続)
 - [Auto start priority] (自動開始の優先度)
 - [Auto reconnect] (自動再接続)

- **[Allow the user to launch this connection]** (ユーザーによるこの接続の起動を許可する)

 **注記:** このオプションは管理者モードでのみ使用できます。

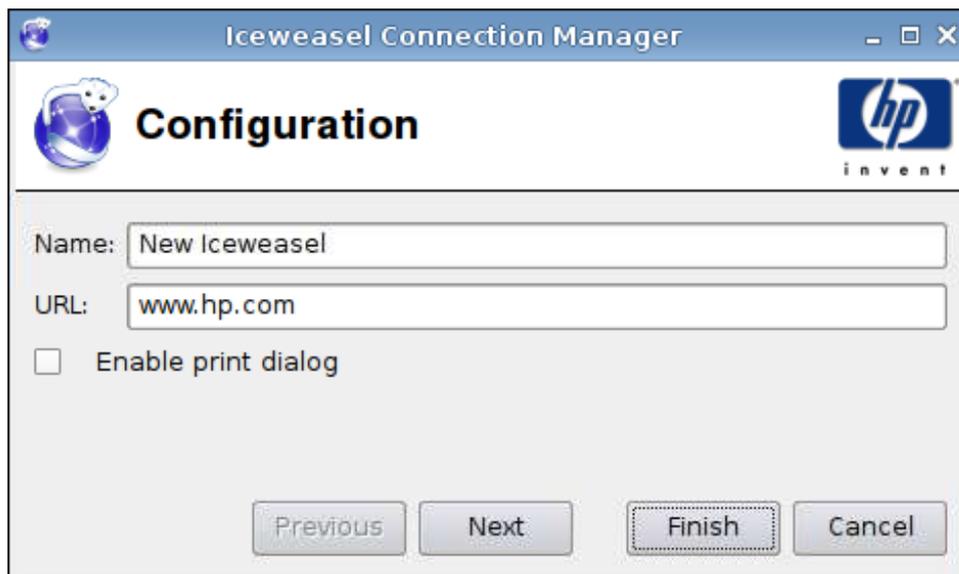
- **[Allow the user to edit this connection]** (ユーザーによるこの接続の編集を許可する)

2. **[Finish]** (完了) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

Iceweasel

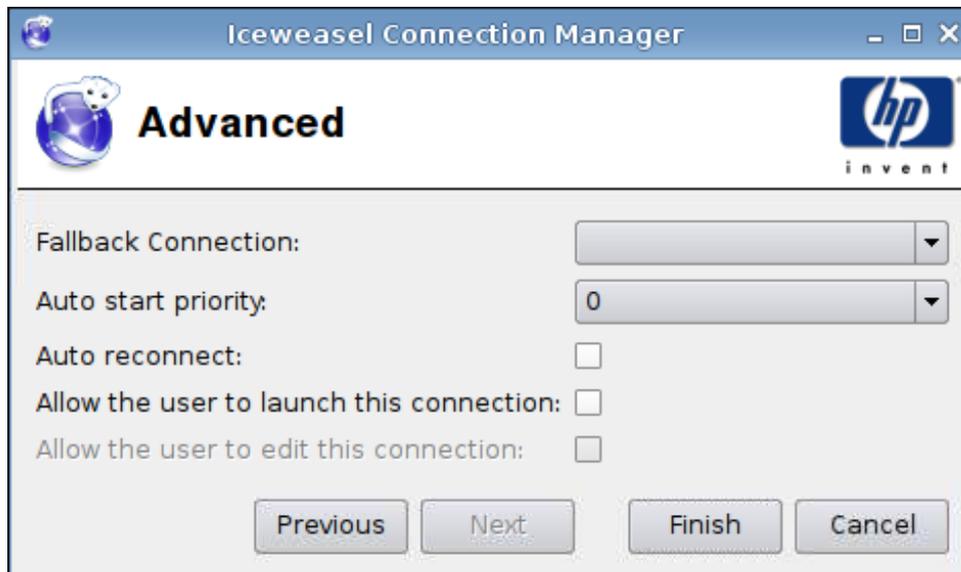
1. 接続を追加するには、**[Connections]** (接続設定) → **[Add]** (追加) の順にクリックします。
2. **[Iceweasel]** を選択して、以下のオプションを設定します。
 - [41 ページの「設定」](#)
 - [42 ページの「\[Advanced\] \(詳細設定\)」](#)

設定



1. 以下のオプションを設定します。
 - **[Name]** (名前)
 - **[URL]**
 - **[Enable print dialog]** (印刷ダイアログを有効にする)
2. **[Next]** (次へ) をクリックして次のウィンドウに進むか、**[Finish]** (完了) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

[Advanced] (詳細設定)



- 以下のオプションを設定します。
 - [Fallback Connection] (フォールバック接続)
 - [Auto start priority] (自動開始の優先度)
 - [Auto reconnect] (自動再接続)
 - [Allow the user to launch this connection] (ユーザーによるこの接続の起動を許可する)

 **注記:** このオプションは管理者モードでのみ使用できます。

 - [Allow the user to edit this connection] (ユーザーによるこの接続の編集を許可する)
- [Finish] (完了) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

SAM

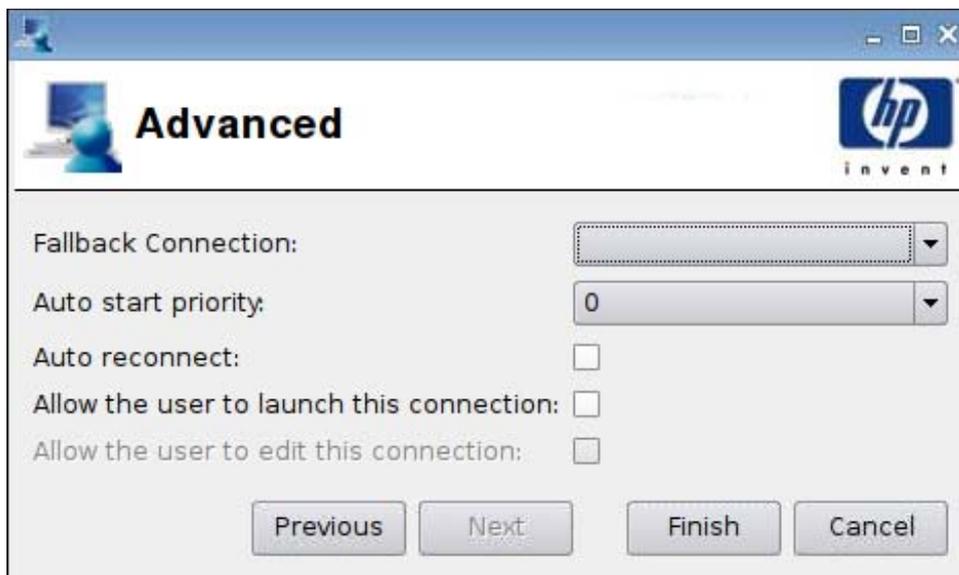
- HP SAM クライアント接続を追加するには、[Connections] (接続設定) → [Add] (追加) の順にクリックします。
- [SAM] を選択して、以下のオプションを設定します。
 - [43 ページの「HP SAM クライアント」](#)
 - [43 ページの「\[Advanced\] \(詳細設定\)」](#)

HP SAM クライアント



1. 以下のオプションを設定します。
 - [Connection Name] (接続名)
 - [Server Hostname] (サーバー ホスト名)
2. [Next] (次へ) をクリックして次のウィンドウに進むか、[Finish] (完了) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

[Advanced] (詳細設定)



1. 以下のオプションを設定します。
 - [Fallback Connection] (フォールバック接続)
 - [Auto start priority] (自動開始の優先度)
 - [Auto reconnect] (自動再接続)

- [Allow the user to launch this connection] (ユーザーによるこの接続の起動を許可する)

 **注記:** このオプションは管理者モードでのみ使用できます。

- [Allow the user to edit this connection] (ユーザーによるこの接続の編集を許可する)

2. [Finish] (完了) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

XenDesktop/PNAgent

1. [XenDesktop/PNAgent]接続を追加するには、[Connections] (接続設定) → [Add] (追加) の順にクリックします。
2. [XenDesktop/PNAgent]を選択して、以下のオプションを設定します。
 - [44 ページの「設定」](#)
 - [45 ページの「\[Advanced\] \(詳細設定\)」](#)

設定



The screenshot shows a configuration window for XenDesktop / PNagent Connection Manager. The window title is "XenDesktop / PNagent Connection Manager" and it features the HP logo. The main heading is "Configuration". The form contains the following fields and values:

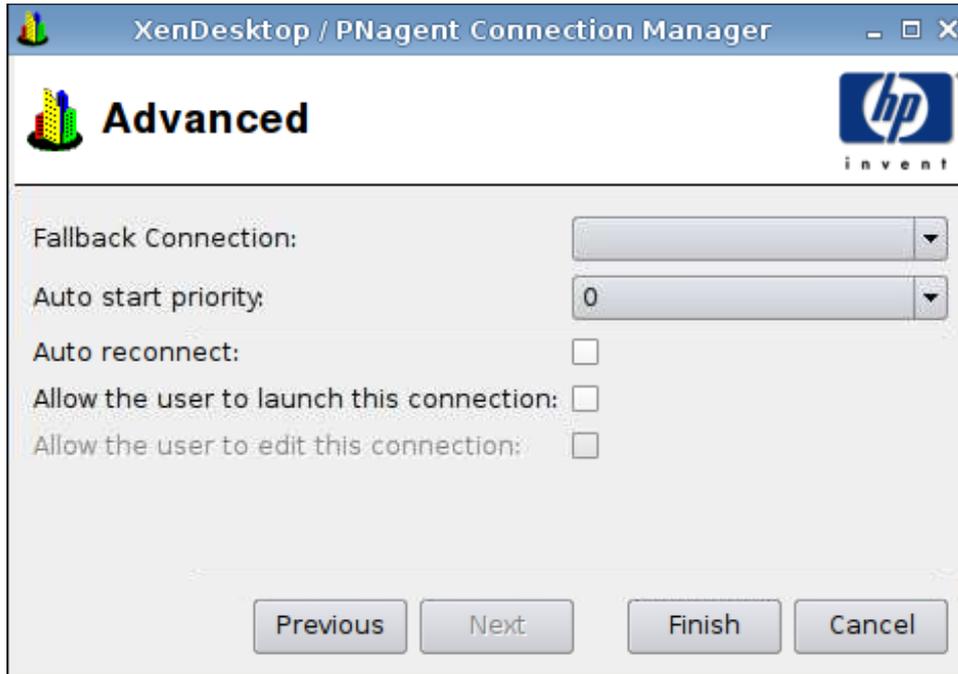
- Name: New PNA Connection
- Server URL: 121.121.12.1
- Username: (empty)
- Password: (empty)
- Domain: (empty)
- Folder: (empty)

At the bottom of the dialog, there are four buttons: "Previous", "Next", "Finish", and "Cancel".

1. 以下のオプションを設定します。
 - [Name] (名前)
 - [Server URL] (サーバーの URL)
 - [Username] (ユーザー名)
 - [Password] (パスワード)

- [Domain] (ドメイン)
 - [Folder] (フォルダー)
2. [Next] (次へ) をクリックして次のウィンドウに進むか、[Finish] (完了) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

[Advanced] (詳細設定)



1. 以下のオプションを設定します。
 - [Fallback Connection] (フォールバック接続)
 - [Auto start priority] (自動開始の優先度)
 - [Auto reconnect] (自動再接続)
 - [Allow the user to launch this connection] (ユーザーによるこの接続の起動を許可する)

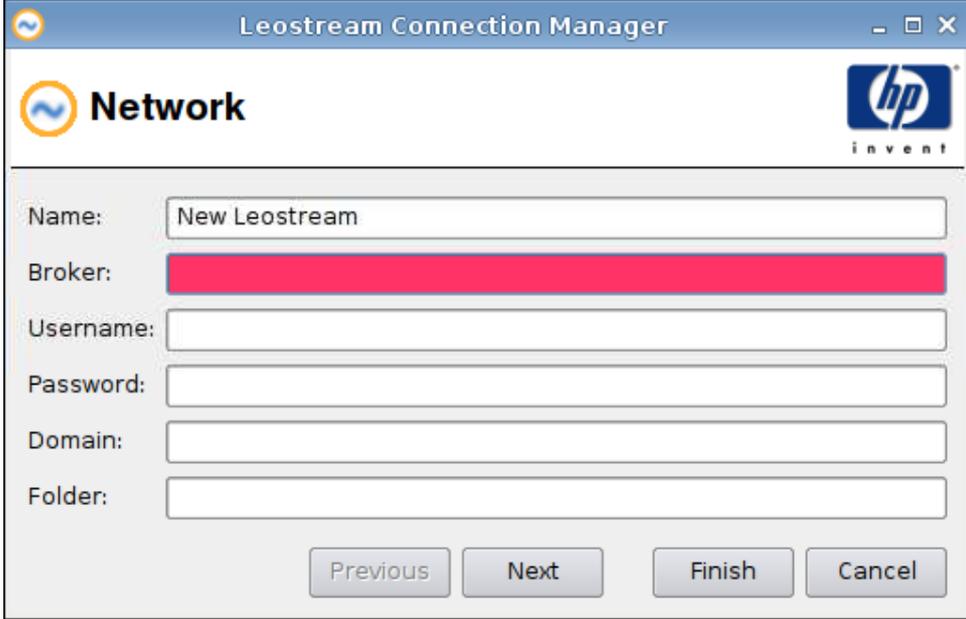
 **注記:** このオプションは管理者モードでのみ使用できます。

 - [Allow the user to edit this connection] (ユーザーによるこの接続の編集を許可する)
2. [Finish] (完了) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

Leostream

1. [Leostream]接続を追加するには、[Connections] (接続設定) → [Add] (追加) の順にクリックします。
2. [Leostream]を選択して、以下のオプションを設定します。
 - [46 ページの「\[Network\] \(ネットワーク\)」](#)
 - [47 ページの「\[Advanced\] \(詳細設定\)」](#)

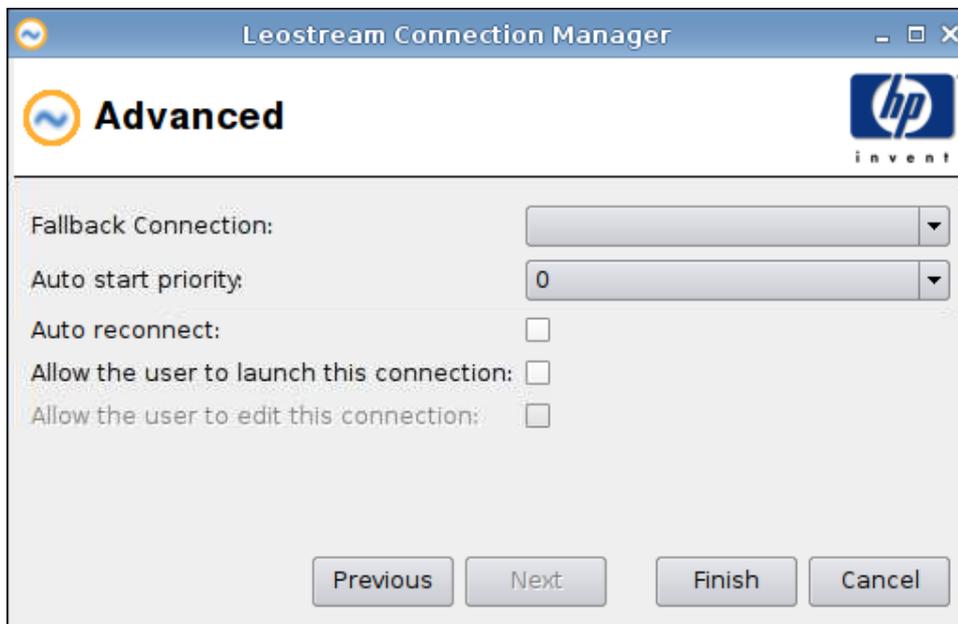
[Network] (ネットワーク)



The screenshot shows a dialog box titled "Leostream Connection Manager" with a "Network" tab selected. The dialog contains several input fields: "Name" (containing "New Leostream"), "Broker" (highlighted in red), "Username", "Password", "Domain", and "Folder". At the bottom, there are four buttons: "Previous", "Next", "Finish", and "Cancel". The HP logo and "invent" text are visible in the top right corner.

1. 以下のオプションを設定します。
 - **[Name]** (名前)
 - **[Broker]** (ブローカー)
 - **[Username]** (ユーザー名)
 - **[Password]** (パスワード)
 - **[Domain]** (ドメイン)
 - **[Folder]** (フォルダー)
2. **[Next]** (次へ) をクリックして次のウィンドウに進むか、**[Finish]** (完了) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

[Advanced] (詳細設定)



- 以下のオプションを設定します。
 - **[Fallback Connection]** (フォールバック接続)
 - **[Auto start priority]** (自動開始の優先度)
 - **[Auto reconnect]** (自動再接続)
 - **[Allow the user to launch this connection]** (ユーザーによるこの接続の起動を許可する)

 **注記:** このオプションは管理者モードでのみ使用できます。

 - **[Allow the user to edit this connection]** (ユーザーによるこの接続の編集を許可する)
- [Finish]** (完了) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

Provision

- [Provision]接続を追加するには、**[Connections]** (接続設定) → **[Add]** (追加) の順にクリックします。
- [Provision]** を選択して、以下のオプションを設定します。
 - [48 ページの「\[Network\] \(ネットワーク\)」](#)
 - [49 ページの「\[Window\] \(ウィンドウ\)」](#)
 - [50 ページの「\[Options\] \(オプション\)」](#)
 - [51 ページの「\[Local Resources\] \(ローカル リソース\)」](#)
 - [52 ページの「\[Experience\] \(操作環境\)」](#)
 - [53 ページの「\[Advanced\] \(詳細設定\)」](#)

[Network] (ネットワーク)

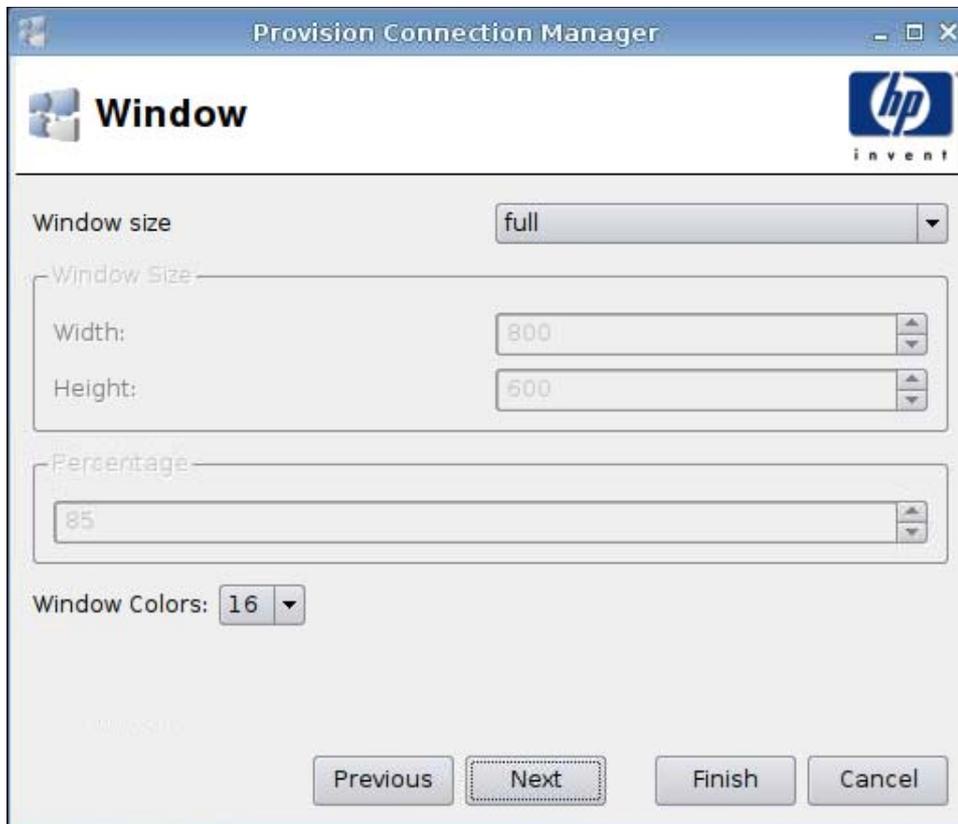
The screenshot shows the 'Provision Connection Manager' window with the 'Network' tab selected. The HP logo and 'invent' text are in the top right corner. The dialog contains the following fields and options:

- Name: New Provision Connection
- Broker IP: 121.121.12.1
- Port: 8080
- User name: (empty)
- Password: (empty)
- Domain: (empty)
- Retry attempts: 1
- Retry interval: 5
- Folder: (empty)
- Passthrough credentials
- Allow Smartcard login

At the bottom, there are four buttons: Previous, Next, Finish, and Cancel.

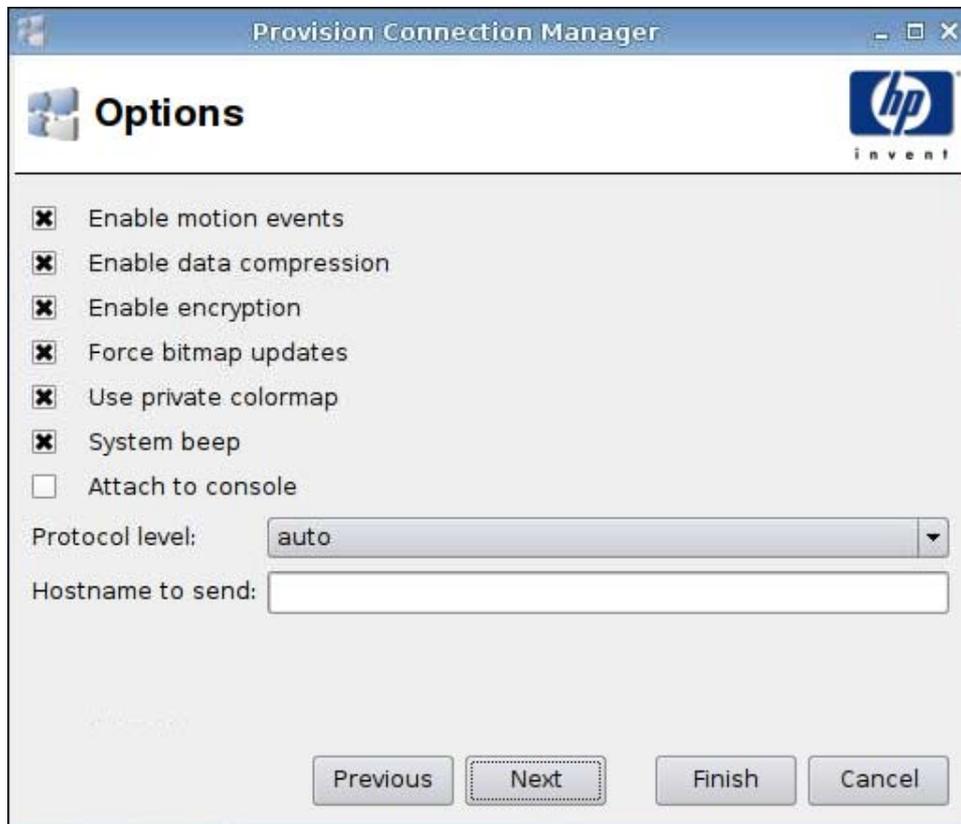
- 以下のオプションを設定します。
 - [Name] (名前)
 - [Broker IP] (ブローカー IP)
 - [User name] (ユーザー名)
 - [Password] (パスワード)
 - [Domain] (ドメイン)
 - [Retry attempts] (再試行回数)
 - [Retry interval] (再試行間隔)
 - [Folder] (フォルダー)
 - [Passthrough credentials] (パススルー資格情報)
 - [Allow Smartcard Login] (スマートカード ログインを許可する)
- [Next] (次へ) をクリックして次のウィンドウに進むか、[Finish] (完了) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

[Window] (ウィンドウ)



1. 以下のオプションを設定します。
 - [Window size] (ウィンドウ サイズ)
 - [Window Size] (ウィンドウ サイズ)
 - [Width] (幅)
 - [Height] (高さ)
 - [Percentage] (パーセント)
 - [Window Colors] (ウィンドウ色)
2. [Next] (次へ) をクリックして次のウィンドウに進むか、[Finish] (完了) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

[Options] (オプション)



1. 以下のオプションを設定します。
 - [Enable motion events] (モーション イベントを有効にする)
 - [Enable data compression] (データ圧縮を有効にする)
 - [Enable encryption] (暗号化を有効にする)
 - [Force bitmap updates] (ビットマップを強制的に更新する)
 - [Use private colormap] (プライベート カラーマップを使用する)
 - [System beep] (システム ビープを鳴らす)
 - [Attach to console] (コンソールに接続する)
 - [Protocol level] (プロトコル レベル)
 - [Hostname to send] (送信先ホスト名)
2. [Next] (次へ) をクリックして次のウィンドウに進むか、[Finish] (完了) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

[Local Resources] (ローカル リソース)



1. 以下のオプションを設定します。
 - [Sound] (サウンド)
 - [Redirect sound] (サウンド リダイレクト)
 - [Devices] (デバイス)
 - [Enable drive mapping] (ドライブ マッピングを有効にする)
 - [Map serial ports] (シリアル ポートをマッピングする)
 - [Enable printer autocreation] (プリンターの自動作成を有効にする)
2. [Next] (次へ) をクリックして次のウィンドウに進むか、[Finish] (完了) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

[Experience] (操作環境)



1. 以下のオプションを設定します。
 - [Enable desktop background] (デスクトップの背景を有効にする)
 - [Show window while dragging] (ドラッグ中にウィンドウを表示する)
 - [Enable menu and window animations] (メニューとウィンドウのアニメーションを有効にする)
 - [Enable themes] (テーマを有効にする)
 - [Enable themes] (テーマを有効にする)
2. [Next] (次へ) をクリックして次のウィンドウに進むか、[Finish] (完了) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

[Advanced] (詳細設定)



- 以下のオプションを設定します。
 - [Fallback Connection] (フォールバック接続)
 - [Auto start priority] (自動開始の優先度)
 - [Auto reconnect] (自動再接続)
 - [Allow the user to launch this connection] (ユーザーによるこの接続の起動を許可する)

 **注記:** このオプションは管理者モードでのみ使用できます。

 - [Allow the user to edit this connection] (ユーザーによるこの接続の編集を許可する)
- [Finish] (完了) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

VDM

- [VDM]接続を追加するには、[Connections] (接続設定) → [Add] (追加) の順にクリックします。
- [VDM]を選択して、以下のオプションを設定します。
 - [54 ページの「\[Network\] \(ネットワーク\)」](#)
 - [55 ページの「\[Window\] \(ウィンドウ\)」](#)
 - [56 ページの「\[Advanced\] \(詳細設定\)」](#)

[Network] (ネットワーク)

Vdm Connection Manager

Network

Name:

Broker:

Username:

Password:

Domain:

Previous Next Finish Cancel

1. 以下のオプションを設定します。
 - [Name] (名前)
 - [Broker] (ブローカー)
 - [Username] (ユーザー名)
 - [Password] (パスワード)
 - [Domain (case-sensitive)] (ドメイン (大文字と小文字が区別される))
2. [Next] (次へ) をクリックして次のウィンドウに進むか、[Finish] (完了) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

[Window] (ウィンドウ)



1. 以下のオプションを設定します。
 - [Window type] (ウィンドウ タイプ)
 - [Percentage Size] (パーセント サイズ)
 - [Fixed Size] (固定サイズ)
 - [Width] (幅)
 - [Height] (高さ)
2. [Next] (次へ) をクリックして次のウィンドウに進むか、[Finish] (完了) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

[Advanced] (詳細設定)



- 以下のオプションを設定します。
 - **[Fallback Connection]** (フォールバック接続)
 - **[Auto start priority]** (自動開始の優先度)
 - **[Auto reconnect]** (自動再接続)
 - **[Allow the user to launch this connection]** (ユーザーによるこの接続の起動を許可する)

 **注記:** このオプションは管理者モードでのみ使用できます。

 - **[Allow the user to edit this connection]** (ユーザーによるこの接続の編集を許可する)
- [Finish]** (完了) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

Xdmcp

- [XDMCP]接続を追加するには、**[Connections]** (接続設定) → **[Add]** (追加) の順にクリックします。
- [Xdmcp]** を選択して、以下のオプションを設定します。
 - [57 ページの「\[Configuration\] \(設定\)」](#)
 - [58 ページの「\[Advanced\] \(詳細設定\)」](#)

[Configuration] (設定)

Xdmcp Connection Manager

Configuration

hp
invent

Name: New Xdmcp

Type: chooser

Address:

Font Server

Use font server:

Font server:

Previous Next Finish Cancel

1. 以下のオプションを設定します。
 - [Name] (名前)
 - [Type] (タイプ)
 - [Address] (アドレス) ([Type]が[query] (クエリ) の場合に必要)
 - [Font Server] (フォント サーバー)
 - [Use font server] (フォント サーバーを使用する)
 - [Font Server] (フォント サーバー)
2. [Next] (次へ) をクリックして次のウィンドウに進むか、[Finish] (完了) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

[Advanced] (詳細設定)



- 以下のオプションを設定します。
 - [Fallback Connection] (フォールバック接続)
 - [Auto start priority] (自動開始の優先度)
 - [Auto reconnect] (自動再接続)
 - [Allow the user to launch this connection] (ユーザーによるこの接続の起動を許可する)

 **注記:** このオプションは管理者モードでのみ使用できます。

 - [Allow the user to edit this connection] (ユーザーによるこの接続の編集を許可する)
- [Finish] (完了) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

SSH

- [SSH]接続を追加するには、[Connections] (接続設定) → [Add] (追加) の順にクリックします。
- [SSH]を選択して、以下のオプションを設定します。
 - 59 ページの [「\[Configuration\] \(設定\)」](#)
 - 60 ページの [「\[Advanced\] \(詳細設定\)」](#)

[Configuration] (設定)

Ssh Connection Manager

Configuration

Name: New Ssh

Network

Address: 121.121.12.1 Port: 22

User name:

Run application:

Options

Compression

X11 connection forwarding

Force TTY allocation

Fork into background

Style

Foreground color: black

Background color: white

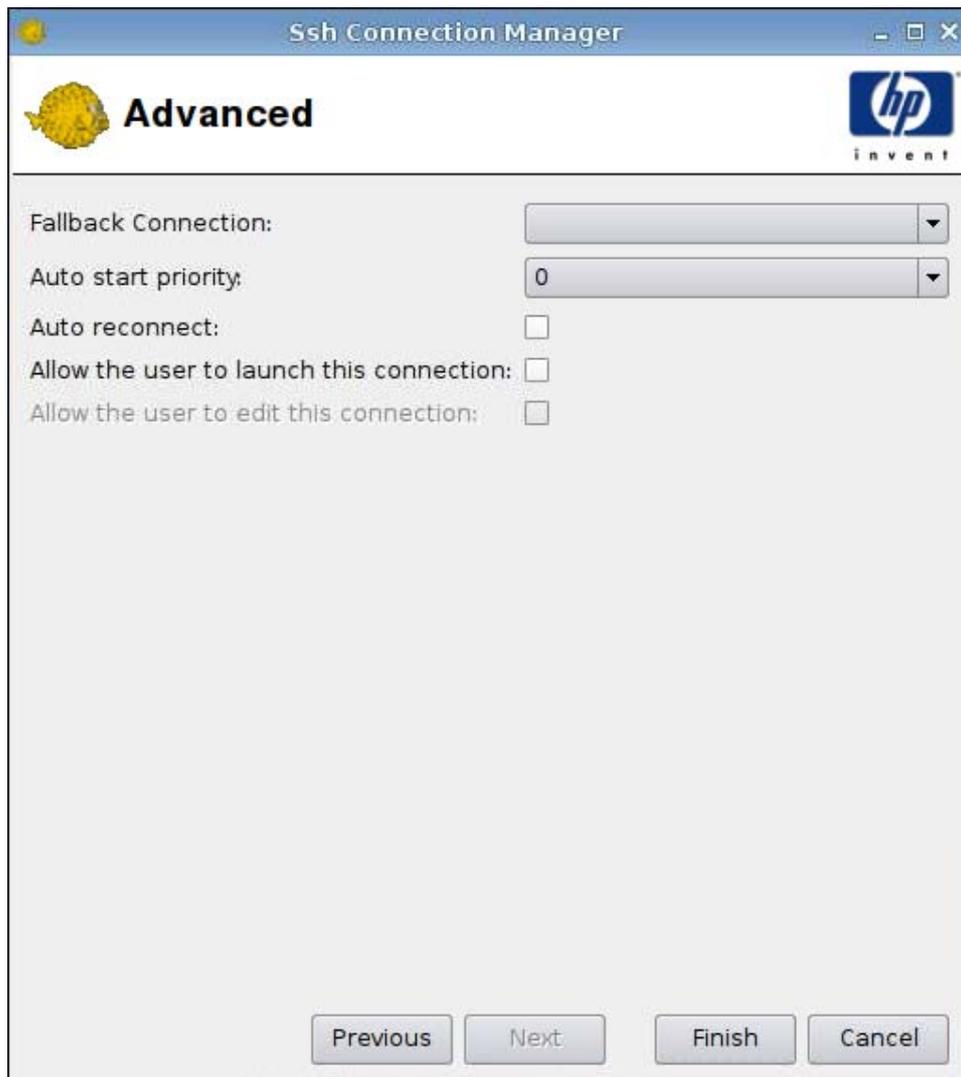
Font: 7x14

Previous Next Finish Cancel

- 以下のオプションを設定します。
 - [Name] (名前)
 - [Network] (ネットワーク)
 - [Address] (アドレス)
 - [Port] (ポート)
 - [User name] (ユーザー名)
 - [Run application] (実行アプリケーション)
 - [Options] (オプション)
 - [Compression] (圧縮)
 - [X11 connection forwarding] (X11 接続を転送する)

- **[Force TTY allocation]** (TTY を強制的に割り当てる)
 - **[Fork into background]** (バックグラウンドにフォークする)
 - **[Style]** (スタイル)
 - **[Foreground color]** (前景色)
 - **[Background color]** (背景色)
 - **[Font]** (フォント)
2. **[Next]** (次へ) をクリックして次のウィンドウに進むか、**[Finish]** (完了) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

[Advanced] (詳細設定)



1. 以下のオプションを設定します。
- **[Fallback Connection]** (フォールバック接続)
 - **[Auto start priority]** (自動開始の優先度)

- [Auto reconnect] (自動再接続)
- [Allow the user to launch this connection] (ユーザーによるこの接続の起動を許可する)

 **注記:** このオプションは管理者モードでのみ使用できます。

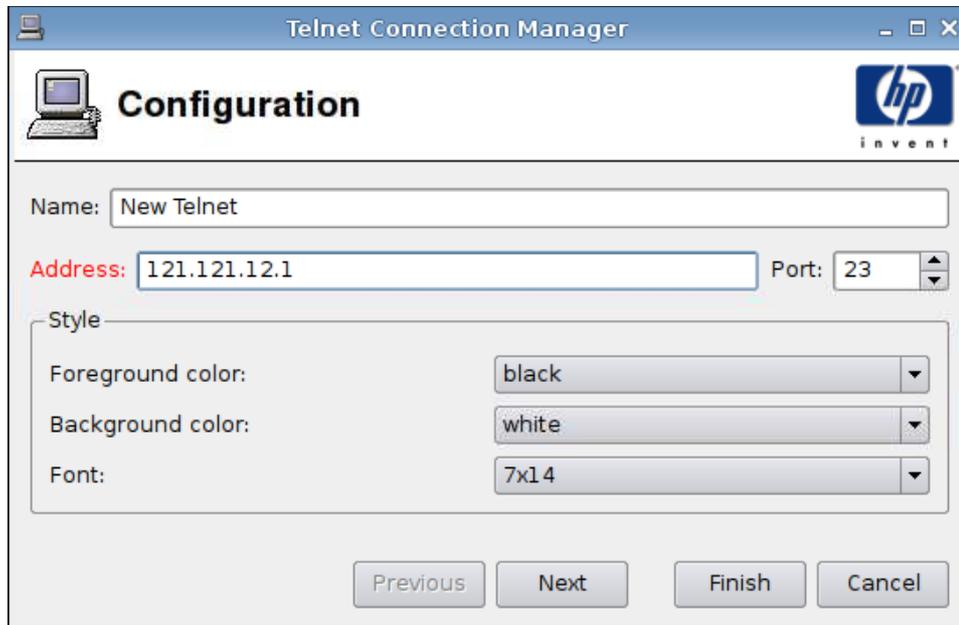
- [Allow the user to edit this connection] (ユーザーによるこの接続の編集を許可する)

2. [Finish] (完了) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

Telnet

1. [Telnet]接続を追加するには、[Connections] (接続設定) → [Add] (追加) の順にクリックします。
2. [Telnet] を選択して、以下のオプションを設定します。
 - [61 ページの「\[Configuration\] \(設定\)」](#)
 - [62 ページの「\[Advanced\] \(詳細設定\)」](#)

[Configuration] (設定)

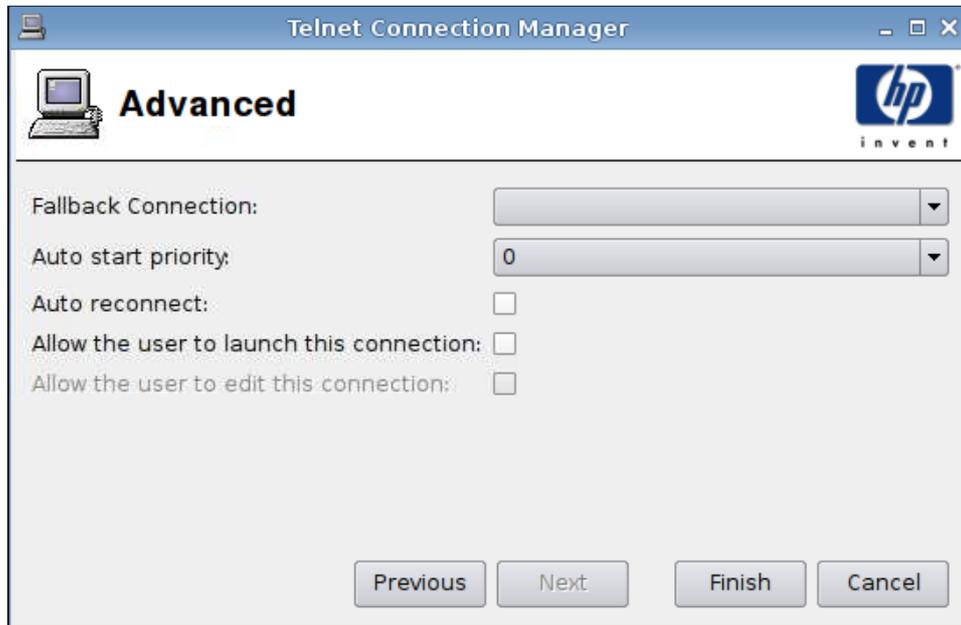


The screenshot shows the 'Configuration' dialog box for a Telnet connection. The 'Name' field is set to 'New Telnet'. The 'Address' field is set to '121.121.12.1' and the 'Port' is set to '23'. Under the 'Style' section, 'Foreground color' is 'black', 'Background color' is 'white', and 'Font' is '7x14'. Navigation buttons 'Previous', 'Next', 'Finish', and 'Cancel' are at the bottom.

1. 以下のオプションを設定します。
 - [Name] (名前)
 - [Address] (アドレス)

- [Port] (ポート)
 - [Style] (スタイル)
 - [Foreground color] (前景色)
 - [Background color] (背景色)
 - [Font] (フォント)
2. [Next] (次へ) をクリックして次のウィンドウに進むか、[Finish] (完了) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

[Advanced] (詳細設定)

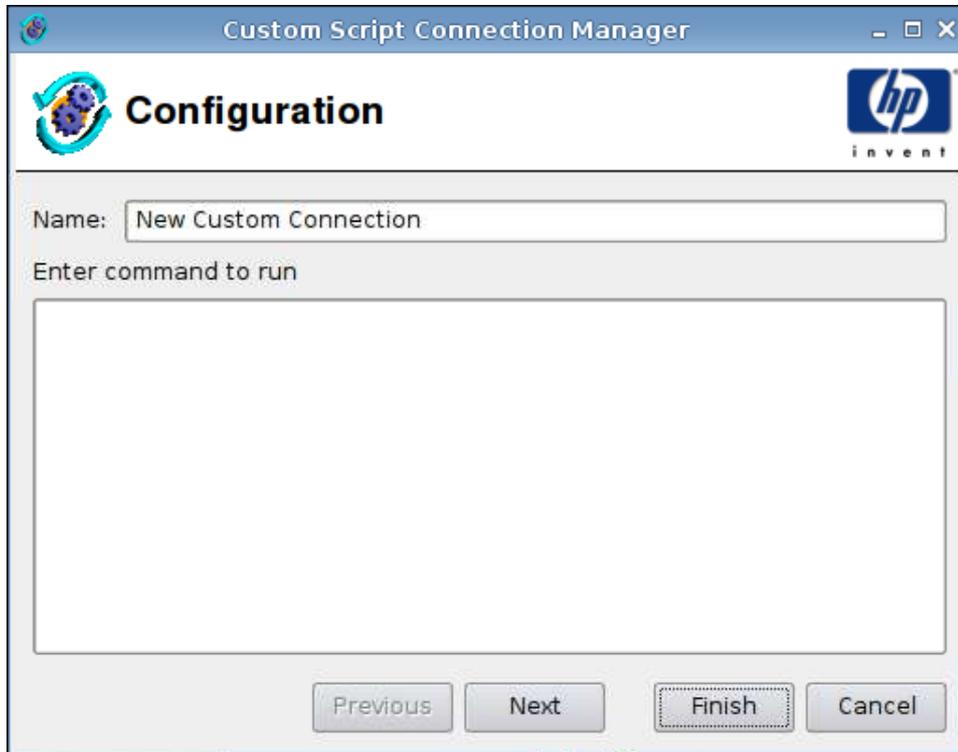


1. 以下のオプションを設定します。
- [Fallback Connection] (フォールバック接続)
 - [Auto start priority] (自動開始の優先度)
 - [Auto reconnect] (自動再接続)
 - [Allow the user to launch this connection] (ユーザーによるこの接続の起動を許可する)
-  **注記:** このオプションは管理者モードでのみ使用できます。
- [Allow the user to edit this connection] (ユーザーによるこの接続の編集を許可する)
2. [Finish] (完了) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

[Custom] (カスタム)

1. カスタム接続を追加するには、[Connections] (接続設定) → [Add] (追加) の順にクリックします。
2. [Custom] (カスタム) を選択して、以下のオプションを設定します。
 - [63 ページの「\[Configuration\] \(設定\)」](#)
 - [64 ページの「\[Advanced\] \(詳細設定\)」](#)

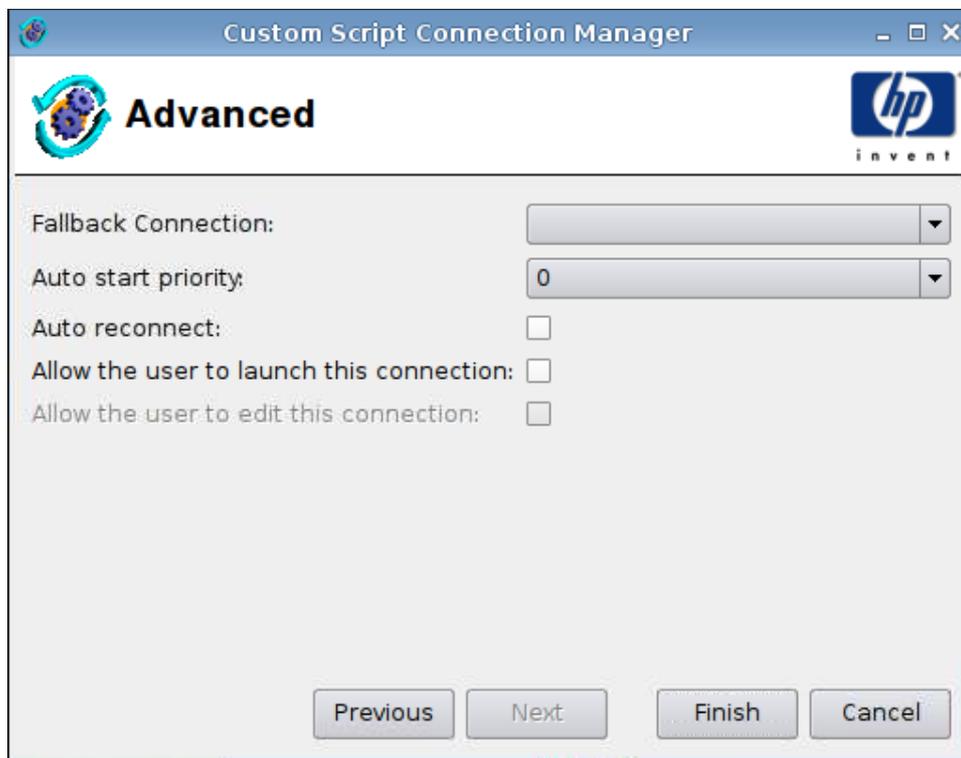
[Configuration] (設定)



The screenshot shows a window titled "Custom Script Connection Manager" with a "Configuration" tab. The window contains a text input field for "Name" with the value "New Custom Connection". Below it is a large text area labeled "Enter command to run". At the bottom, there are four buttons: "Previous", "Next", "Finish" (highlighted with a dashed border), and "Cancel". The HP logo is visible in the top right corner.

1. 以下のオプションを設定します。
 - [Name] (名前)
 - [Enter command to run] (実行するコマンドを入力)
2. [Next] (次へ) をクリックして次のウィンドウに進むか、[Finish] (完了) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

[Advanced] (詳細設定)



- 以下のオプションを設定します。
 - [Fallback Connection] (フォールバック接続)
 - [Auto start priority] (自動開始の優先度)
 - [Auto reconnect] (自動再接続)
 - [Allow the user to launch this connection] (ユーザーによるこの接続の起動を許可する)

 **注記:** このオプションは管理者モードでのみ使用できます。

 - [Allow the user to edit this connection] (ユーザーによるこの接続の編集を許可する)
- [Finish] (完了) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

[Copy] (コピー)

- ▲ 接続をコピーするには、[Connection Name] (接続名) の下で接続をクリックして、[Copy] (コピー) をクリックします。
接続のコピーが[Connection Name]の下の一覧に表示されます。

[Delete] (削除)

- ▲ 接続を削除するには、[Connection Name] (接続名) の下で接続をクリックして、[Delete] (削除) をクリックします。
接続が[Connection Name] (接続名) の下の一覧から削除されます。

[Edit] (編集)

1. 接続を編集するには、[**Connection Name**] (接続名) の下で接続をクリックして、[**Edit**] (編集) をクリックします。
その接続の[**Connection settings**] (接続設定) ウィンドウが開きます。
2. 接続を編集して、[**Apply**] (適用) をクリックします。
3. [**OK**] をクリックします。

[User view] (ユーザー ビュー)

ユーザー モードで許可されている接続を表示するには、[**User view**] (ユーザー ビュー) をクリックします。初期設定では、すべての接続が禁止されています。

ユーザー モードで接続を有効にするには、以下の操作を行います。

- ▲ [**Connection Name**] (接続名) の下で、選択する接続をクリックしてから、[**Allow**] (有効にする) をクリックします。

ユーザー モードで接続を無効にするには、以下の操作を行います。

- ▲ [**Connection Name**] (接続名) の下で、選択する接続をクリックしてから、[**Forbid**] (禁止する) をクリックします。

[Control Panel] (コントロール パネル)

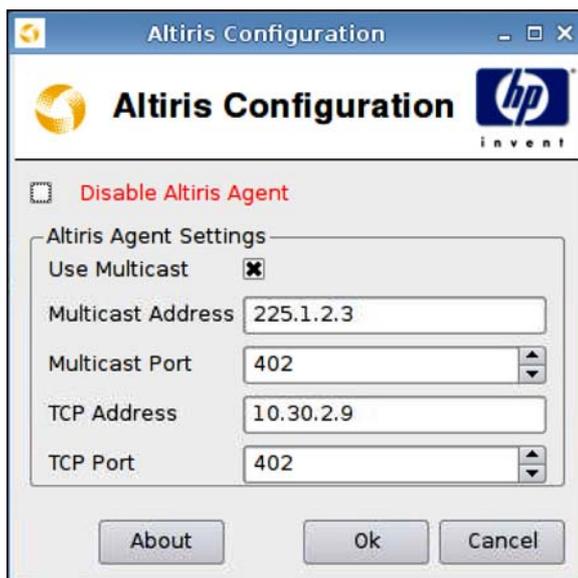


[Control Panel] (コントロール パネル) では、以下のユーティリティおよび設定にアクセスできます。

- ▲ 左側のパネルにある [Control Panel] (コントロール パネル) をクリックします。
- [67 ページの「\[Altiris Configuration\] \(Altiris の設定\)」](#)
- [68 ページの「\[Client Aggregation\] \(クライアント アグリゲーション\)」](#)
- [76 ページの「\[Date and Time\] \(日付と時刻\)」](#)
- [76 ページの「\[Display Preferences\] \(ディスプレイの設定\)」](#)
- [85 ページの「ezUpdate」](#)
- [88 ページの「\[HP Device Management Agent\]の設定」](#)
- [89 ページの「\[HP FTP Update\] \(HP FTP 更新\)」](#)
- [91 ページの「\[Keyboard\] \(キーボード\)」](#)
- [92 ページの「\[Keyboard Layout\] \(キーボード レイアウト\)」](#)
- [92 ページの「\[Language\] \(言語\)」](#)
- [93 ページの「\[Mouse\] \(マウス\)」](#)
- [94 ページの「\[Network\] \(ネットワーク\)」](#)
- [98 ページの「\[Printers\] \(プリンター\)」](#)
- [101 ページの「\[Screen Saver Manager\] \(スクリーンセーバー マネージャー\)」](#)
- [103 ページの「サウンドの制御」](#)
- [104 ページの「\[SSHD Manager\] \(SSHD マネージャー\)」](#)
- [104 ページの「\[Synaptic Package Manager\] \(Synaptic パッケージ マネージャ\)」](#)
- [105 ページの「ThinPrint」](#)

- [106 ページの「\[HP ThinState\]ユーティリティ」](#)
- [112 ページの「\[USB Manager\] \(USB マネージャー\)」](#)
- [113 ページの「\[User Login Manager\] \(ユーザー ログイン マネージャー\)」](#)
- [114 ページの「\[User Permissions\] \(ユーザー アクセス権\)」](#)
- [115 ページの「\[VNC Shadow\] \(VNC シャドウイング\)」](#)
- [116 ページの「\[Volume Control\] \(音量調整\)」](#)
- [117 ページの「\[Window Manager\] \(ウィンドウ マネージャー\)」](#)
- [119 ページの「\[Xfce 4 Desktop Settings\] \(Xfce 4 デスクトップ設定\)」](#)
- [120 ページの「\[Xfce 4 User Interface Settings\] \(Xfce 4 ユーザー インターフェイス設定\)」](#)
- [121 ページの「\[X Terminal\]」](#)

[Altiris Configuration] (Altiris の設定)



 **注記：** Altiris は、初期設定では無効になっています。ローカル エリア ネットワークの DHCP サーバーが DHCP タグ 190 経由で Altiris サーバーの情報を提供している場合は、Altiris を自動的に有効にできます。

[Altiris Agent]を設定または無効にするには、以下の操作を行います。

1. **[Control Panel]** (コントロール パネル) → **[Altiris Configuration]** (Altiris の設定) の順にクリックします。
2. **[Altiris Agent Settings]** ([Altiris Agent]の設定) を指定します。
または
[Disable Altiris Agent] ([Altiris Agent]を無効にする) を選択して、Altiris を無効にします。
3. 初期設定の Altiris サーバー アドレスを使用したい場合には、**[Use Multicast]** (マルチキャスト有効) にチェックを入れます。

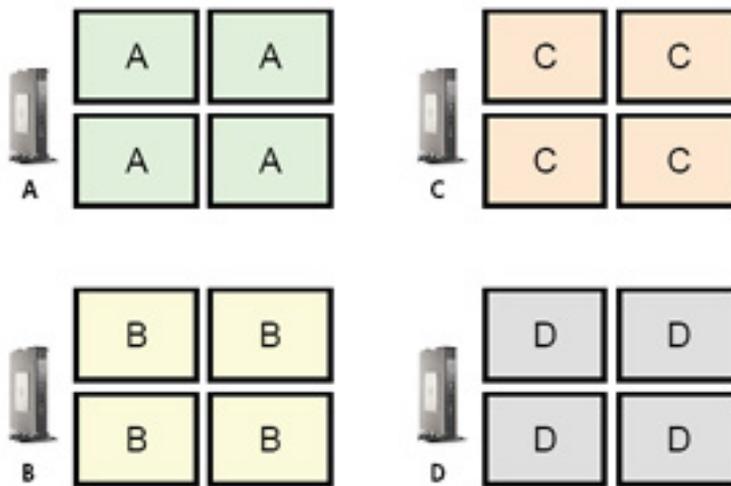
4. 初期設定の **[Multicast Address]** (マルチキャスト アドレス) が表示されます。必要に応じて、インストール済みのアドレスを入力します。
5. **[Multicast Port]** (マルチキャスト ポート) (Altiris サーバー ポート) を入力または選択します。
6. **[Use Multicast]** (マルチキャスト有効) を選択しなかった場合、特定の Altiris サーバー アドレスを **[TCP Address]** (TCP アドレス) フィールドに入力します。
7. **[TCP Port]** (TCP ポート) (Altiris サーバー ポート) を入力または選択します。
8. **[OK]** をクリックして変更を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

[Client Aggregation] (クライアント アグリゲーション)

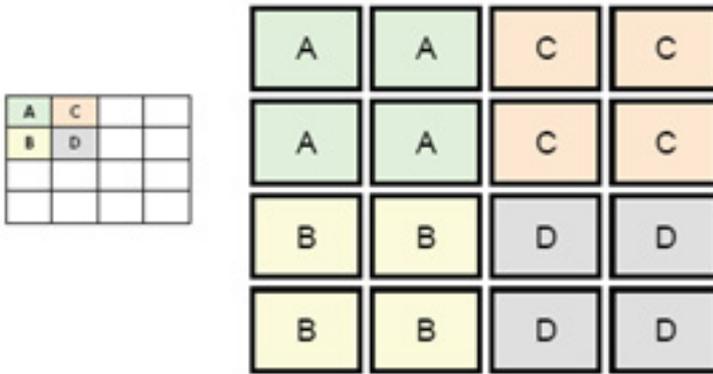
HP gt7725 Thin Client は、最大で 4 台のモニターをサポートします。追加の画面領域が必要な場合は、クライアント アグリゲーションを使用することによって、最大で 4 台の Thin Client をつなげて 1 つのキーボードおよびマウスで制御できます。各 Thin Client が最大で 4 台のモニターをサポートしているため、ハードウェアまたはソフトウェアを追加しなくても、クライアント アグリゲーションによって 1 つのキーボードおよびマウスで最大 4 台のコンピューターと 16 台のモニターを制御できるようになります。

クライアント アグリゲーションの概要

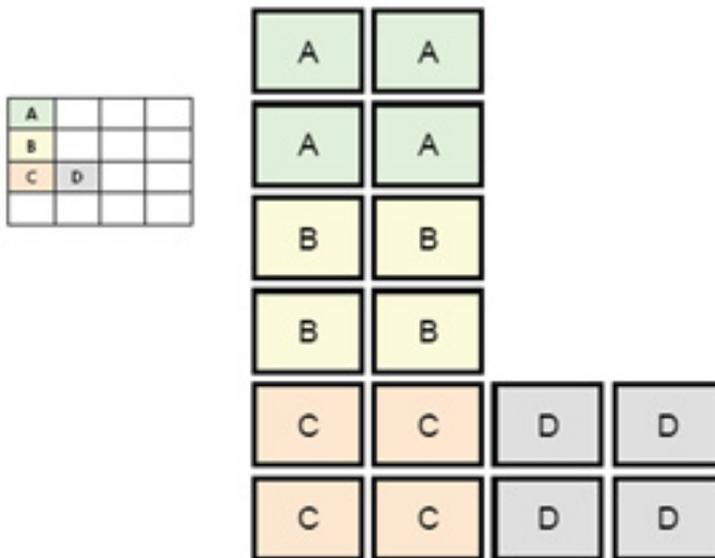
それぞれに 4 台のモニターが接続された、4 台の Thin Client があるとします。[Display Preferences] (ディスプレイ設定) ダイアログを使用すると、Thin Client にそれぞれ 2x2 の配列のモニターが設定され、Thin Client とモニターは以下に示すように設定されます。



クライアント アグリゲーションを使用すると、4 台の Thin Client を 4x4 のグリッド上に配置できます。以下の図は、4x4 のグリッドを使用した長方形の配列上に配置された、Thin Client の可能な配置例を示しています。たとえば、Thin Client A のモニターの右側からさらに右にマウス ポインターを移動すると、そのポインターが Thin Client C のモニターの左側に表示されます。同様に、キーボード入力も Thin Client A から Thin Client C にリダイレクトされます。



以下の図は、4×4 のグリッドを使用した Thin Client の別の配置と、その結果として得られるモニター
の配置を示しています。



この構成では、マウス ポインターを Thin Client A のモニターの右側からさらに右に移動すると、そのポインターが Thin Client D のモニターの左側の 1/3 の領域に表示されます。同様に、マウス ポインターを Thin Client B のモニターの右側からさらに右に移動すると、そのポインターが Thin Client D のモニターの左側の中央 1/3 の領域に表示されます。最後に、マウス ポインターを Thin Client C のモニターの右側からさらに右に移動すると、そのポインターが Thin Client D のモニターの左側の下 1/3 の領域に表示されます。

注記： デスクトップ ウィンドウは、各 Thin Client をまたいで表示したり、クライアント コンピューター間で移動したりすることはできません。通常、各 Thin Client は関連付けられたリモート コンピューターへの接続に基づいてウィンドウを作成するため、Thin Client 間でウィンドウを移動する必要がありません。

キーボードとマウスに物理的に接続されている Thin Client をアグリゲーション サーバーと呼びます。他の Thin Client をアグリゲーション クライアントと呼びます。マウス ポインターがどれかのアグリゲーション クライアント上に存在する場合、それらのアグリゲーション サーバーとなる Thin Client からのマウスおよびキーボードの入力は暗号化され、選択されたアグリゲーション クライアントに対してネットワーク経由で送信されます。アグリゲーション クライアントは、それらのマウスおよびキーボードの入力の暗号化を解除して、アグリゲーション クライアントのローカル デスクトップに渡します。

クライアント アグリゲーションは、[Synergy]と呼ばれるオープン ソース ソフトウェア パッケージに基づいており、その暗号化は[stunnel]と呼ばれるパッケージによって提供されます。

- ☞ **注記：** [Synergy]および[stunnel]ソフトウェアは（Embedded OS バージョン 9.xx および 10.xx を実行している）HP dc72 Blade Workstation クライアントや HP dc73 Blade Workstation クライアントにもインストールされるため、クライアント アグリゲーション構成では、これらのクライアント コンピューターを HP gt725 Thin Client に相互接続できます。

クライアント アグリゲーションの設定

- ☞ **注記：** クライアント アグリゲーションは、各 Thin Client（アグリゲーション サーバーおよび各アグリゲーション クライアント）上で個別に設定する必要があります。

クライアント アグリゲーションを設定するには、以下の 2 つの処理を行います。

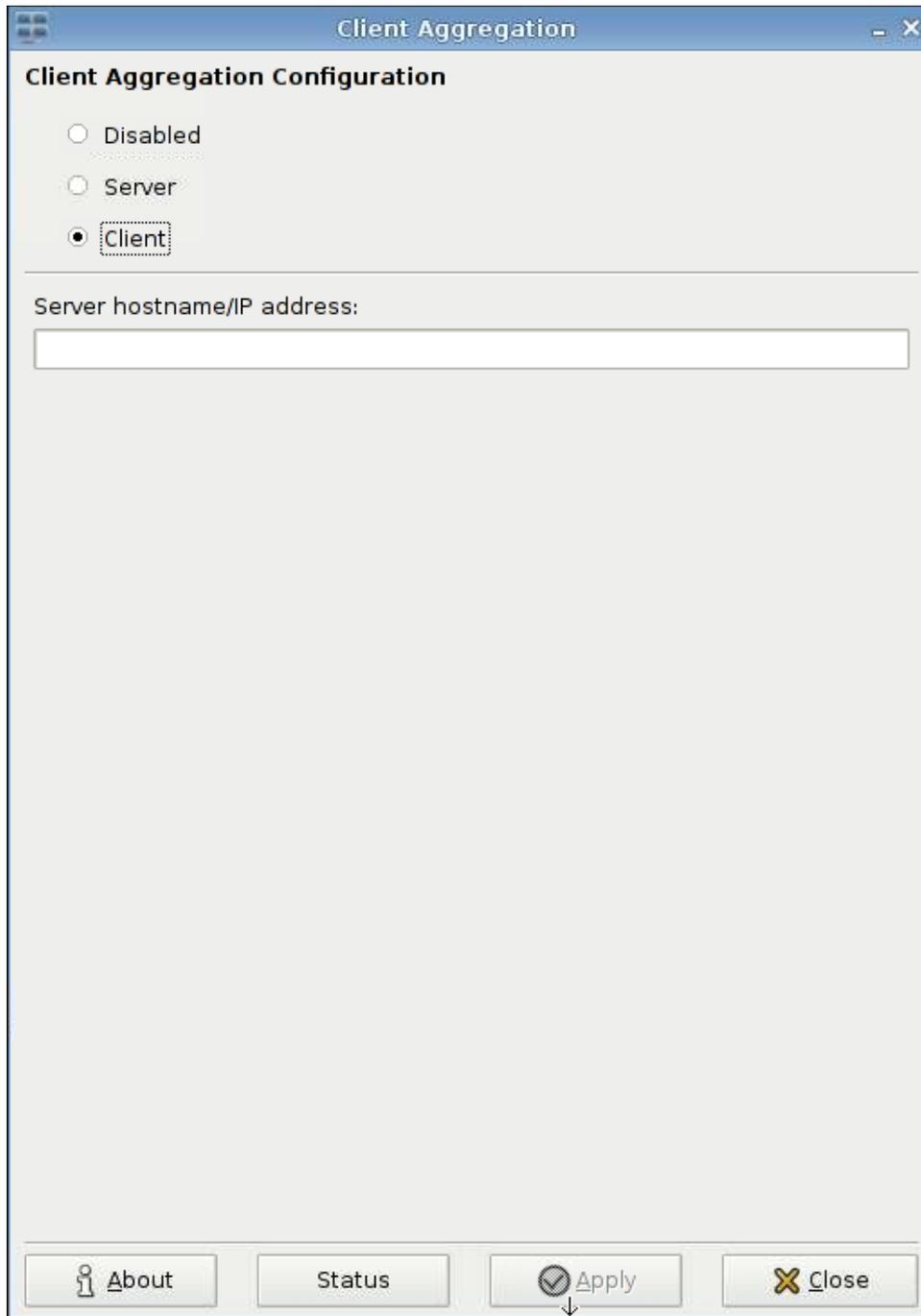
1. [70 ページの「アグリゲーション クライアントの設定」](#) - 1～3 のアグリゲーション クライアントを設定できます。
2. [72 ページの「アグリゲーション サーバーの設定」](#)

アグリゲーション クライアントの設定

各アグリゲーション クライアントで、以下の操作を行います。

1. **[Control Panel]**（コントロール パネル）→**[Client Aggregation]**（クライアント アグリゲーション）の順にクリックします。

2. **[Client]** (クライアント) をクリックします。

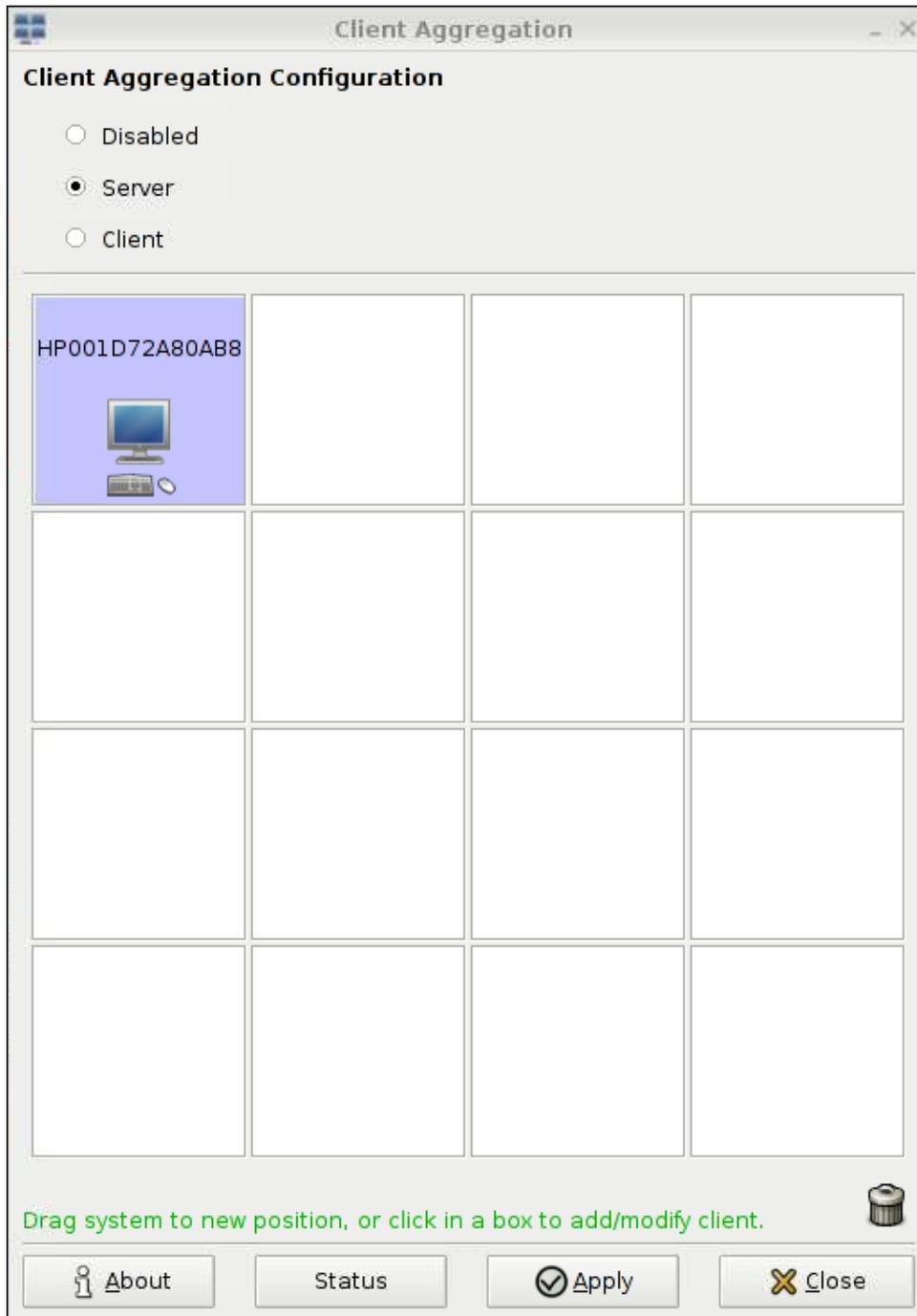


3. フィールドにアグリゲーション サーバーのサーバー ホスト名または IP アドレスを入力します。
4. **[Apply]** (適用) をクリックして変更を適用します。

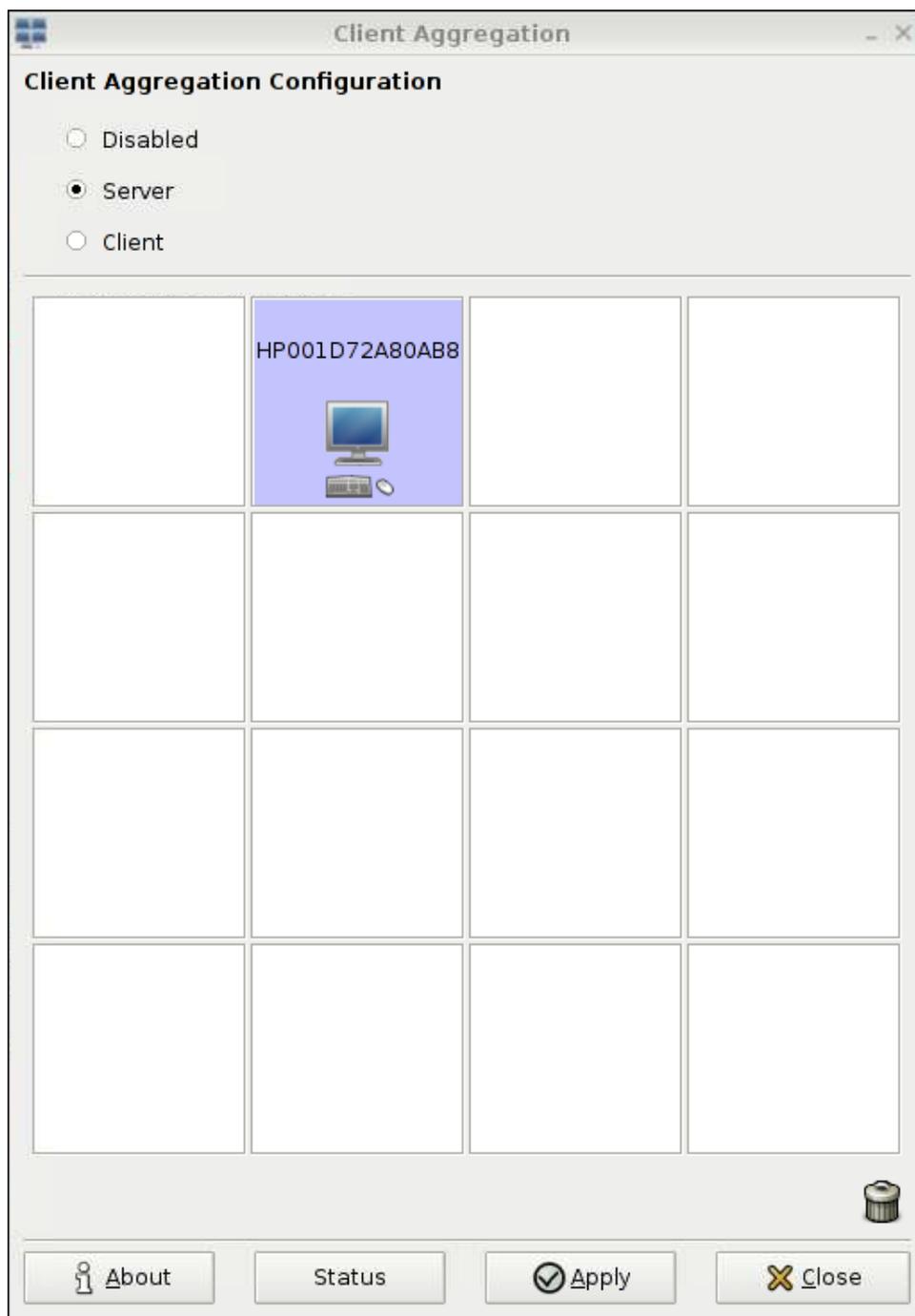
アグリゲーション サーバーの設定

アグリゲーション サーバーを設定するには、以下の操作を行います。

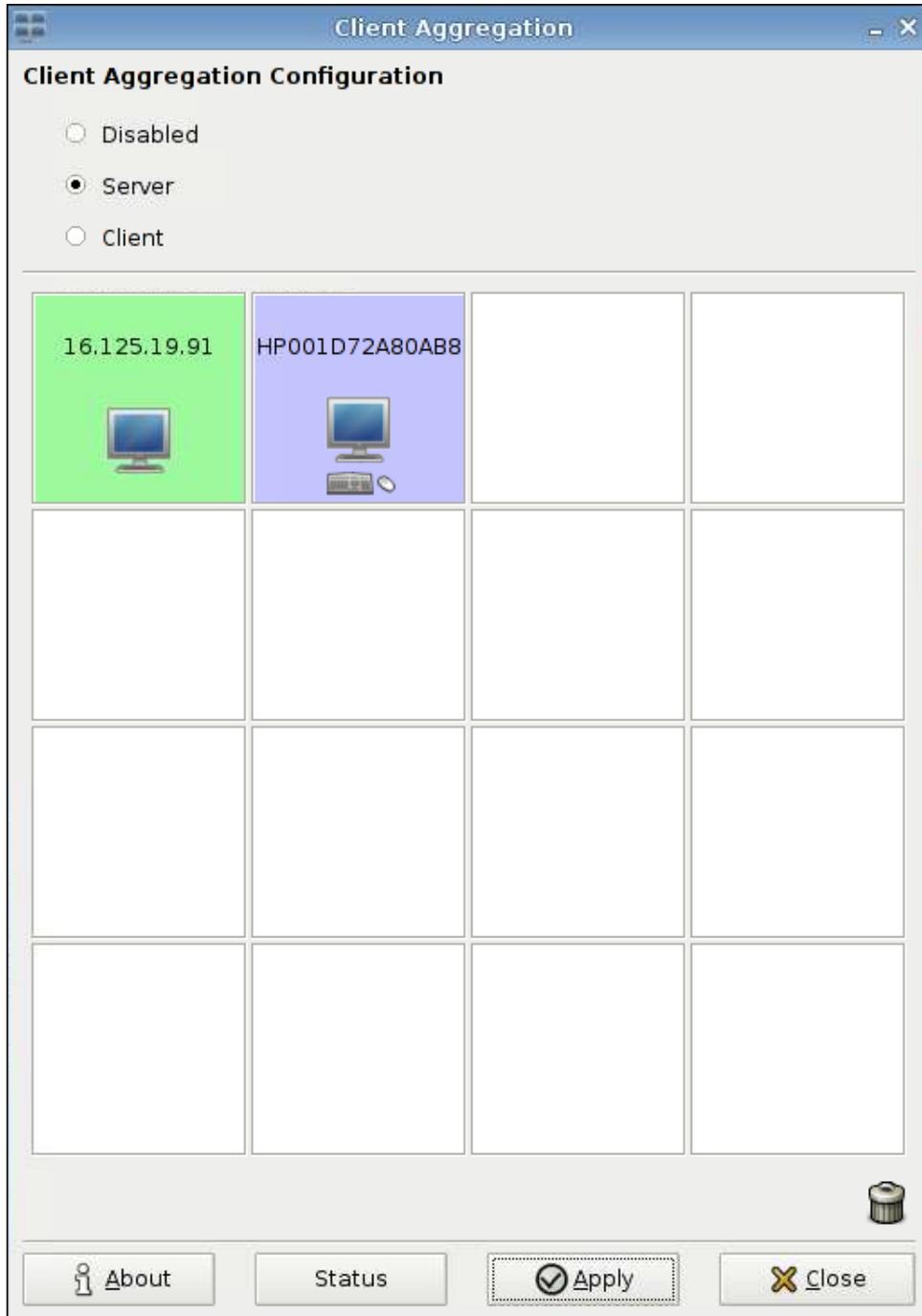
1. **[Control Panel]** (コントロール パネル) → **[Client Aggregation]** (クライアント アグリゲーション) の順にクリックします。
2. **[Server]** (サーバー) をクリックします。



3. アグリゲーション サーバーの Thin Client は、ホスト名を含む紫色のボックスに表示されます。アグリゲーション サーバーをクリックしてから、4×4 のグリッド内の目的の場所にドラッグします。以下の図では、アグリゲーション サーバーの Thin Client が、4×4 のグリッドの先頭の行の 2 番目の列にあります。



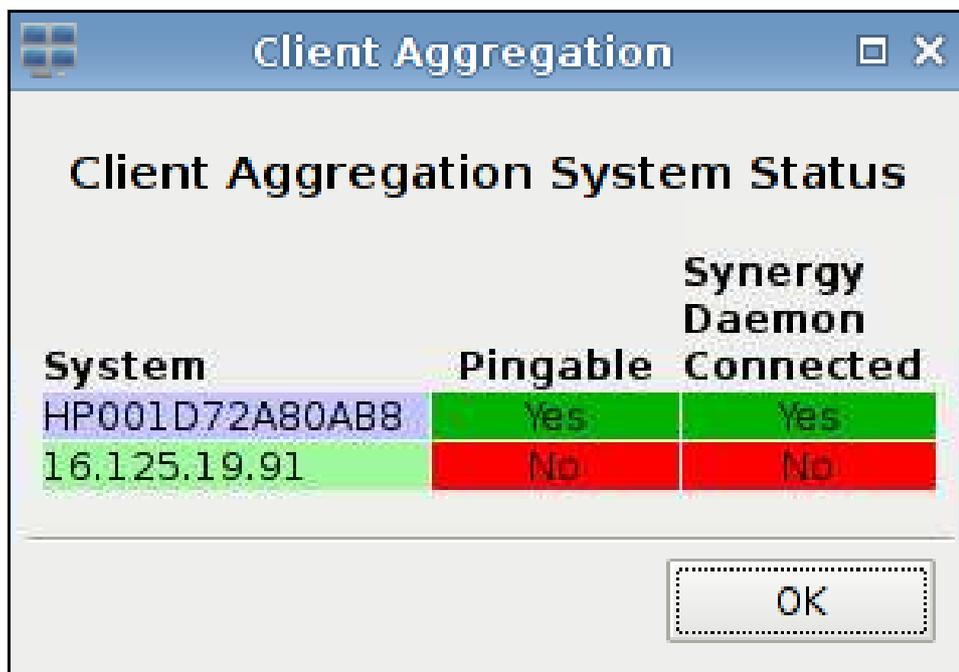
4. 4×4 のグリッド内で、最初のアグリゲーション クライアントを配置する場所をクリックし、そのホスト名または IP アドレスを入力します。以下の図では、IP アドレスが 16.125.19.91 のアグリゲーション クライアントが、4×4 のグリッドの先頭の行の最初の列に配置されています。完了したら、**Enter** キーを押します。アグリゲーション クライアントが緑色のボックスに表示されます。



5. これと同じ方法で、4×4 のグリッド内に追加のアグリゲーション クライアントを最大 2 つ、合計で最大 3 つのアグリゲーション クライアントを配置します。

4×4 のグリッド内のアグリゲーション サーバーおよびアグリゲーション クライアントの配置は、クライアント コンピューターをクリックしてから新しい場所にドラッグすることによって、いつでも変更できます。

アグリゲーション クライアントおよびアグリゲーション サーバーを設定すると、暗号化された相互の通信を自動的に確立しようとします。コンピューター間の接続状態を表示するには、[Status] (ステータス) をクリックします。

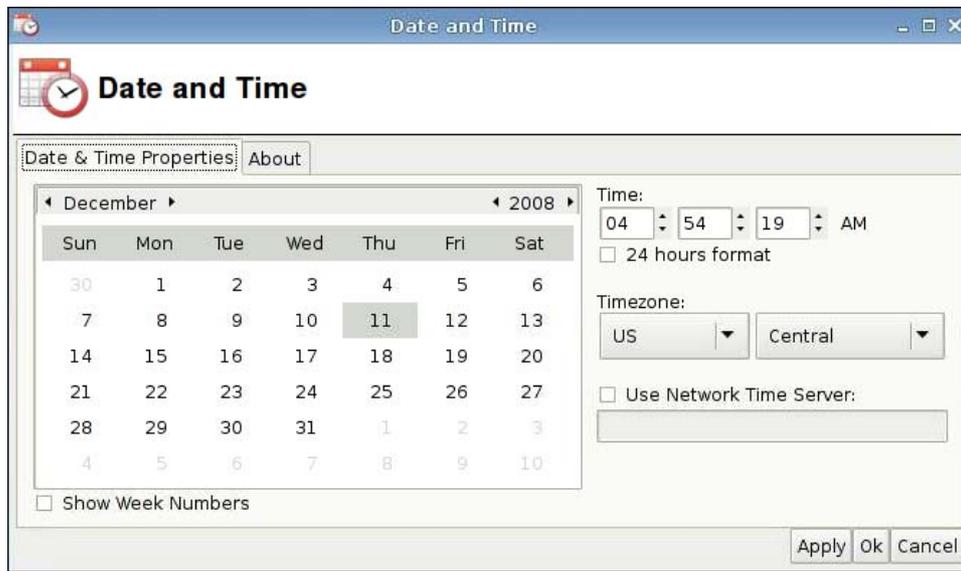


クライアント アグリゲーションの無効化

クライアント アグリゲーションを無効にするには、以下の操作を行います。

1. [Control Panel] (コントロール パネル) → [Client Aggregation] (クライアント アグリゲーション) → [Disabled] (無効) の順にクリックします。
2. [Apply] (適用) または [Closed] (閉じる) をクリックします。

[Date and Time] (日付と時刻)



日付、時刻、およびタイムゾーン情報を設定するには、以下の操作を行います。

1. **[Control Panel]** (コントロール パネル) → **[Date and Time]** (日付と時刻) の順にクリックします。
2. 日付、時刻、およびタイムゾーンを指定するには、以下の操作を行います。
3. **[Apply]** (適用) → **[OK]** の順にクリックして変更を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

[Display Preferences] (ディスプレイの設定)

HP gt7725 Thin Client のモニターを設定するには、**[Display Preferences]** (ディスプレイ設定) ツールを使用します。HP gt7725 Thin Client は、以下の 2 つのマルチ ヘッド構成をサポートしています。

- デュアル ヘッド構成 - この構成は、gt7725 Thin Client に内蔵されている、2 つのビデオ コネクタに基づいています。これらの 2 つの内蔵ビデオ コネクタによって、以下のディスプレイ (**[Display Preferences]** (ディスプレイ設定) ツールで使用されている名前) が生成されます。
 - Primary Display (プライマリ ディスプレイ)
 - Secondary Display (セカンダリ ディスプレイ)
- クワッド ヘッド構成 - この構成は、HP gt7725 Thin Client に拡張モジュールが接続され、かつその拡張モジュールにビデオ カードが取り付けられている場合にサポートされます。この拡張モジュールのビデオ カードによって、2 つの内蔵ビデオ コネクタに加えて 2 つのビデオ コネクタが提供され、ビデオ ポートは合計で 4 つになります。これらの 4 つのビデオ コネクタによって、以下のディスプレイ (**[Display Preferences]** (ディスプレイ設定) ツールで使用されている名前) が生成されます。
 - Primary Display (プライマリ ディスプレイ)
 - Secondary Display (セカンダリ ディスプレイ)
 - Tertiary Display (第 3 ディスプレイ)
 - Quaternary Display (第 4 ディスプレイ)

注記：「デュアル ヘッド」や「クワッド ヘッド」とは、すべてのビデオ コネクタにモニターが接続されているかどうかには関係なく、使用可能なビデオ コネクタの数を指しています。

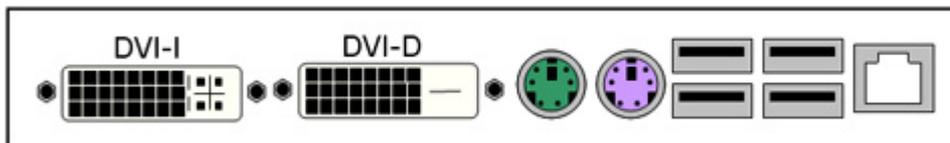
デュアル ヘッド構成では、ヘッドあたり 2560×1600（両方のヘッドで 5120×1600）の最大解像度を利用できます。クワッド ヘッド構成では、ヘッドあたり 1920×1200（4 つのヘッドで 7680×1200）の最大解像度を利用できます。

HP gt7725 Thin Client へのモニターの接続

注記： HP gt7725 Thin Client は、DDC（Display Data Channel）をサポートしています。DDC を使用すると、ビデオ ケーブルを介して、解像度やリフレッシュ レートなどの各モニターの仕様を HP gt7725 Thin Client で読み取ることができます（モニターが DDC をサポートしていることが前提条件です）。ただし、[Display Preferences]（ディスプレイ設定）ツールで設定可能な解像度やリフレッシュ レートは、Thin Client のビデオ ドライバーの機能に基づいたもので、DDC で提供される情報に基づいたものではありません。

デュアル ヘッドの HP gt7725 Thin Client へのモニターの接続

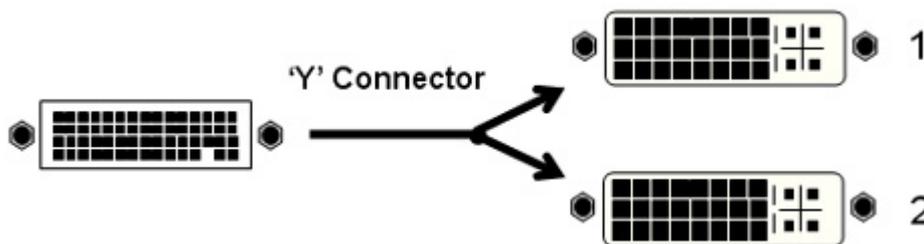
HP gt7725 Thin Client には、2 つの内蔵ビデオ コネクタが装備されています。



モニターが 1 台の場合は、DVI-D コネクタにビデオ ケーブルを接続してください。これがプライマリ ディスプレイになります。モニター 2 台での構成の場合は、DVI-I コネクタに 2 番目のモニターを接続してください。これがセカンダリ ディスプレイになります。

クワッド ヘッドの HP gt7725 Thin Client へのモニターの接続

HP gt7725 Thin Client に拡張モジュールを接続すると、クワッド ヘッド構成が作成されます。HP gt7725 Thin Client には、2 つのビデオ コネクタが装備されていて、さらに拡張モジュールによって 2 つのビデオ コネクタが提供されます。拡張モジュールには 1 つのビデオ コネクタがあります。このコネクタに「Y」コネクタ ビデオ ケーブルを接続すると、ビデオ コネクタ 1 および 2 が提供されます。



以下の表は、プライマリ ディスプレイを提供するために内蔵ビデオ カードまたは拡張モジュールのビデオ カードのどちらが選択されているかに応じて、コネクタで生成されるプライマリ ディスプレイ、セカンダリ ディスプレイ、第 3 ディスプレイ、および第 4 ディスプレイを示しています。初期設定では、プライマリ ディスプレイは拡張モジュールによって提供されます。

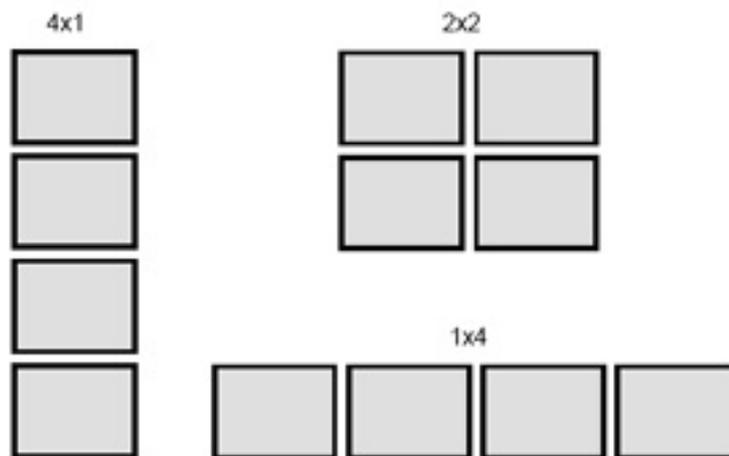
コネクタ	プライマリ ディスプレイを提供するために HP gt7725 の内蔵ビデオ カードが選択されている	プライマリ ディスプレイを提供するために拡張モジュールのビデオ カードが選択されている
DVI-D	プライマリ ディスプレイ	第 3 ディスプレイ

コネクタ	プライマリ ディスプレイを提供するために HP gt7725 の内蔵ビデオ カードが選択されている	プライマリ ディスプレイを提供するために拡張モジュールのビデオ カードが選択されている
DVI-I	セカンダリ ディスプレイ	第 4 ディスプレイ
1	第 3 ディスプレイ	プライマリ ディスプレイ
2	第 4 ディスプレイ	セカンダリ ディスプレイ

モニターの設定

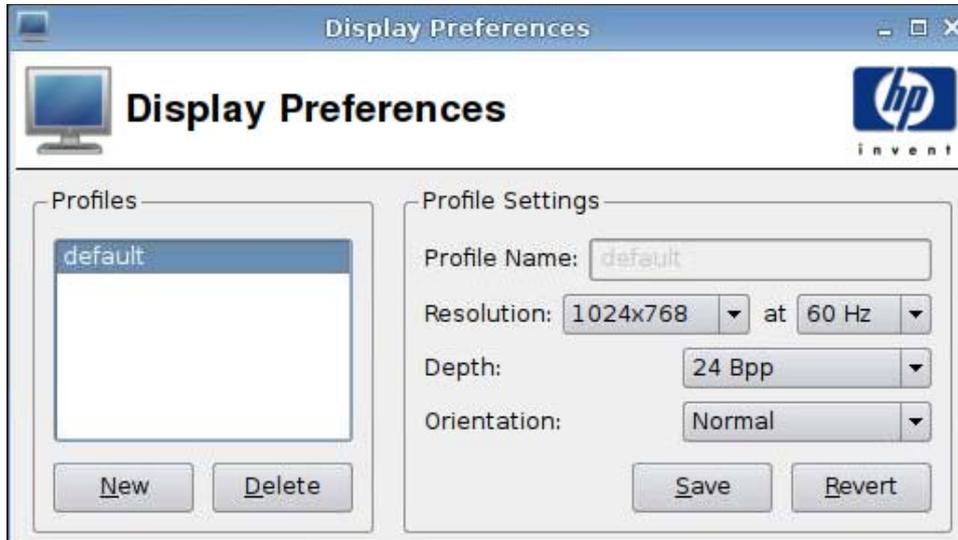
[Display Preferences] (ディスプレイ設定) ツールを使用すると、以下の操作を実行できます。

- 解像度、リフレッシュ レート、方向 (回転) などのプライマリ モニターの設定を指定し、それをモニターごとに割り当て可能なプロファイルとして保存します。
- 各モニターにプロファイルを割り当てて、各モニターを他のモニターとの位置関係に従って配置します。クワッド ヘッドの Thin Client の場合は、複数の配置ができます。



モニターの設定の選択および保存

[Display Preferences] (ディスプレイ設定) ダイアログ ボックスの上の部分を使用すると、各モニターの解像度、リフレッシュ レート、および方向を設定できます。初期設定の解像度は 1024×768 であり、リフレッシュ レートは 60 Hz です。ビデオ カードのメモリの色数は、24 ビット/ピクセル (Bpp) に設定されています。この色数は、HP gt7725 Thin Client で固定されているため、変更できません。方向 (回転) は、横向きと縦向きを指します。初期設定の [Normal] (標準) は、回転していない横向きのモードです。



新しいプロファイルを作成するには、以下の操作を行います。

1. **[Control Panel]** (コントロール パネル) → **[Display Preferences]** (ディスプレイ設定) の順にクリックします。

[Display Preferences] (ディスプレイの設定) ダイアログはプロファイルをサポートしているため、モニターの設定に名前を付けて保存できます。HP gt7725 Thin Client は、**[default]** (初期設定) という名前のプロファイルが設定された状態で出荷されます。管理者はこのプロファイルを変更するか、または新しいモニター プロファイルを作成できます。

2. **[New]** (新規) をクリックします。
3. **[Profile Name]** (プロファイル名) フィールドに名前を入力します。
4. モニターにとって適切な **[Resolution]** (解像度) を選択します。

[Resolution] メニューでは、1024×768 や 1280×1024 などの特定のモニター解像度か、または **[Auto]** (自動) を選択できます。**[Auto]** (自動) が選択されている場合、Thin Client のビデオ ドライバーは、DDC によって返される情報に基づいてそのモニターの推奨される解像度を選択します。モニターが DDC をサポートしていない場合は、ビデオ ドライバーによって、低い解像度に戻ってしまう可能性があります。ビデオ ドライバーによって選択された解像度が不十分な場合は、特定の解像度を選択します。

5. モニターにとって適切なリフレッシュ レート (**[Resolution]** の右側) を選択します。

このリフレッシュ レートのメニューを使用して、60 Hz や 75 Hz などの特定のリフレッシュ レートか、または **[Auto]** (自動) を選択します。**[Auto]** (自動) が選択されている場合、Thin Client のビデオ ドライバーは、DDC によって返される情報に基づいてそのモニターの推奨されるリフレッシュ レートを選択します。モニターが DDC をサポートしていない場合は、ビデオ ドライバーによって、低いリフレッシュ レートに戻ってしまう可能性があります。ビデオ ドライバーによって選択されたリフレッシュ レートが不十分な場合は、特定のリフレッシュ レートを選択します。

△ **注意：** モニターによっては、そのモニターで表示できない解像度やリフレッシュ レートを誤って選択してしまう場合があります。これによって発生する可能性のある問題として、以下の2つがあります。

- ・ CRT ベースのモニターの場合は、モニターが損傷することがあります。
- ・ モニターがビデオに同期できない場合は、Linux デスクトップが表示されないため、画面に何も表示されないことがあります。

そのため、モニターでサポートされている解像度やリフレッシュ レートを間違いなく選択するように注意してください。また、新しい設定を適用する前に、その新しい設定をテストするようにしてください。

6. 色の[Depth]（色数）を選択します。

HP gt7725 Thin Client のビデオ ドライバーは、24 ビット/ピクセルのみをサポートしています。そのため、[Depth]（色数）メニューで選択可能なオプションは[24 Bpp]のみです。

7. モニターにとって適切な[Orientation]（方向）を選択します。

HP gt7725 Thin Client のビデオ ドライバーは、以下のモニターの方向をサポートしています。

- [Normal]（標準） - これは回転していない横向きです。
- [Rotated left]（左に回転） - これは、標準の向きから 90 度左に回転した縦向きです。
- [Rotated right]（右に回転） - これも、標準の向きから 90 度右に回転した縦向きです。
- [Inverted]（反転） - これは標準の向きから 180 度回転した横向きのモードです。

8. [Test Settings]（設定テスト）をクリックしてプロファイルを確認します。

モニターの設定を適用しない場合は、[No]（いいえ）をクリックするか、または 15 秒のタイムアウト期間が終了するまで待ちます。この時点で、以前のモニター設定が復元されます。

9. [Save]（保存）をクリックして新しいプロファイルを保存するか、[Revert]（復元）をクリックしてこのプロファイルを破棄します。

プロファイルを編集するには、以下の操作を行います。

1. [Control Panel]（コントロール パネル）→[Display Preferences]（ディスプレイ設定）の順にクリックします。

2. [Profiles]（プロファイル）一覧からプロファイルを選択します。

3. 必要に応じて、[Profile Settings]（プロファイル設定）を編集します。

4. [Test Settings]（設定テスト）をクリックしてプロファイルを確認します。

モニターの設定を適用しない場合は、[No]（いいえ）をクリックするか、または 15 秒のタイムアウト期間が終了するまで待ちます。この時点で、以前のモニター設定が復元されます。

5. [Save]（保存）をクリックして変更したプロファイルを保存するか、[Revert]（復元）をクリックしてこのプロファイルを破棄します。

プロファイルを削除するには、以下の操作を行います。

1. **[Control Panel]** (コントロール パネル) → **[Display Preferences]** (ディスプレイ設定) の順にクリックします。
2. **[Profiles]** (プロファイル) 一覧からプロファイルを選択して、**[Delete]** (削除) をクリックします。
3. **[Close]** (閉じる) をクリックして、**[Display Preferences]** (ディスプレイの設定) を閉じます。

ディスプレイの設定

ディスプレイを設定するには、以下の2つの処理を行います。

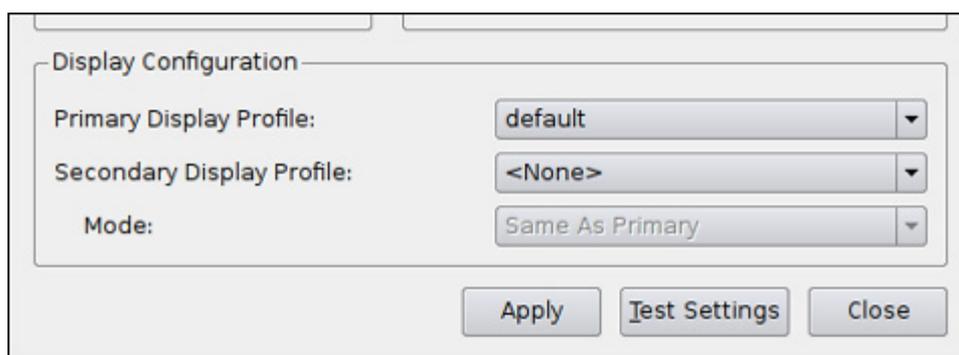
1. 各モニターに初期設定のプロファイルまたはユーザーが生成したプロファイルを割り当てます。
2. 各モニターを位置関係に従って配置します。

 **注記:** **[Display Preferences]** (ディスプレイ設定) ツールには、モニターの設定を完全に適用する前に、検証を目的として使用できる **[Test Settings]** (設定テスト) ボタンが用意されています。モニターの設定を適用する前に、テストすることを強くおすすめします。

テスト中は、解像度、リフレッシュ レート、および色数を示すメッセージとともにテスト パターンが表示されます。確認を求めるメッセージ、**[Do you want to keep these settings?]** (これらの設定を保存しますか?) が表示されます。**[Yes]** (はい) をクリックすると、これらの設定が適用されます。**[No]** (いいえ) をクリックするか、または応答しない場合は、以前のモニター設定が復元されます。そのため、新しいモニター設定によってそのモニターで表示できないビデオが生成された場合は、以前の有効な設定が自動的に復元されます。

モニターにプロファイルを割り当てたり、モニターを配置したりするには、**[Display Preferences]** (ディスプレイの設定) ツールの下の部分 (**[Display Preferences]** (ディスプレイの設定) と表示されたパネル) を使用します。モニターごとに、固有のプロファイルを指定できます。これは、横向きのモニターの横に2台の縦向きのモニターを配置する場合などの、均一でないモニター設定を行う場合に便利です。

デュアル ヘッドの HP gt7725 Thin Client での1台のモニターの設定



[Display Preferences] (ディスプレイ設定) パネルでは、1台のモニターをプライマリ ディスプレイといます。モニターが1台の場合、そのモニターの位置を決める必要はありません。**[Primary**

Display Profile] (プライマリ ディスプレイ プロファイル) の名前のみを指定する必要があります。モニターを設定するには、以下の操作を行います。

1. **[Control Panel]** (コントロール パネル) → **[Display Preferences]** (ディスプレイ設定) の順にクリックします。
2. **[Primary Display Profile]** 一覧からプロファイルを選択します。
3. **[Secondary Display Profile]** (セカンダリ ディスプレイ プロファイル) を **[None]** (なし) に設定します。
4. **[Test Settings]** (設定テスト) をクリックしてプロファイルを確認します。

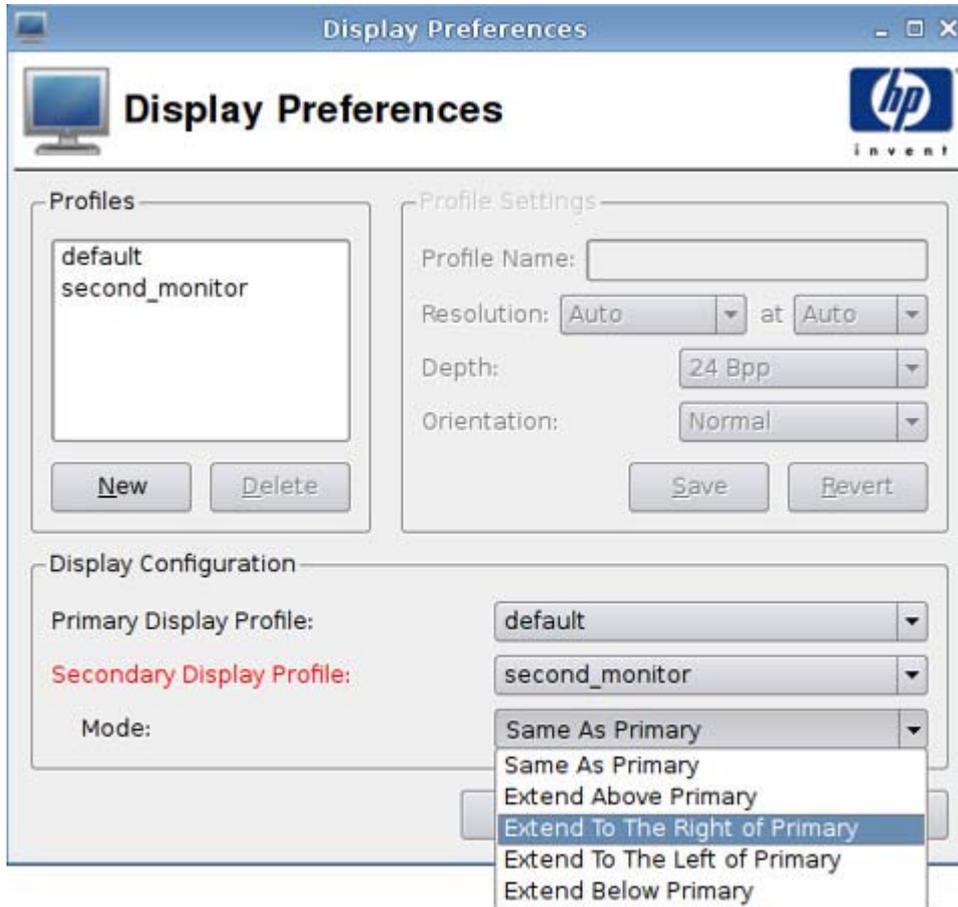
モニターの設定を適用しない場合は、**[No]** (いいえ) をクリックするか、または 15 秒のタイムアウト期間が終了するまで待ちます。この時点で、以前のモニター設定が復元されます。

 **注記：** 2 番目のビデオ コネクタにモニターが接続されている場合は、**[None]** (なし) が選択されているにもかかわらず、セカンダリ ディスプレイ上にビデオが生成されていることが確認できます。このセカンダリ ディスプレイの画像は、プライマリ ディスプレイの画像と同じです。これは X Server の仕様であるため、変更できません。

5. **[Apply]** (適用) をクリックして新しい設定を適用します。
6. **[Close]** (閉じる) をクリックして、**[Display Preferences]** (ディスプレイの設定) を閉じます。

デュアル ヘッドの HP gt7725 Thin Client での 2 台のモニターの設定

[Display Preferences] (ディスプレイ設定) パネルでは、2 番目のモニターをセカンダリ ディスプレイといいます。モニターが 2 台の場合は、プライマリ ディスプレイに対するセカンダリ ディスプレイの位置を調整する必要があります。2 台のモニターを設定するには、以下の操作を行います。



1. [Control Panel] (コントロール パネル) → [Display Preferences] (ディスプレイ設定) の順にクリックします。
2. [Primary Display Profile] (プライマリ ディスプレイ プロファイル) 一覧からプロファイルを選択します。
3. [Secondary Display Profile] (セカンダリ ディスプレイ プロファイル) 一覧からプロファイルを選択します。
4. [Secondary Display Mode] (セカンダリ ディスプレイ モード) を選択します。

[Secondary Display Mode]は、プライマリ ディスプレイに対するセカンダリ ディスプレイの位置を指定します。

 **注記：** [Secondary Display Mode] (セカンダリ ディスプレイ モード) が [Same As Primary] (プライマリと同じ) に設定されていると、セカンダリ ディスプレイにはプライマリ ディスプレイと同じ画像が表示されます。

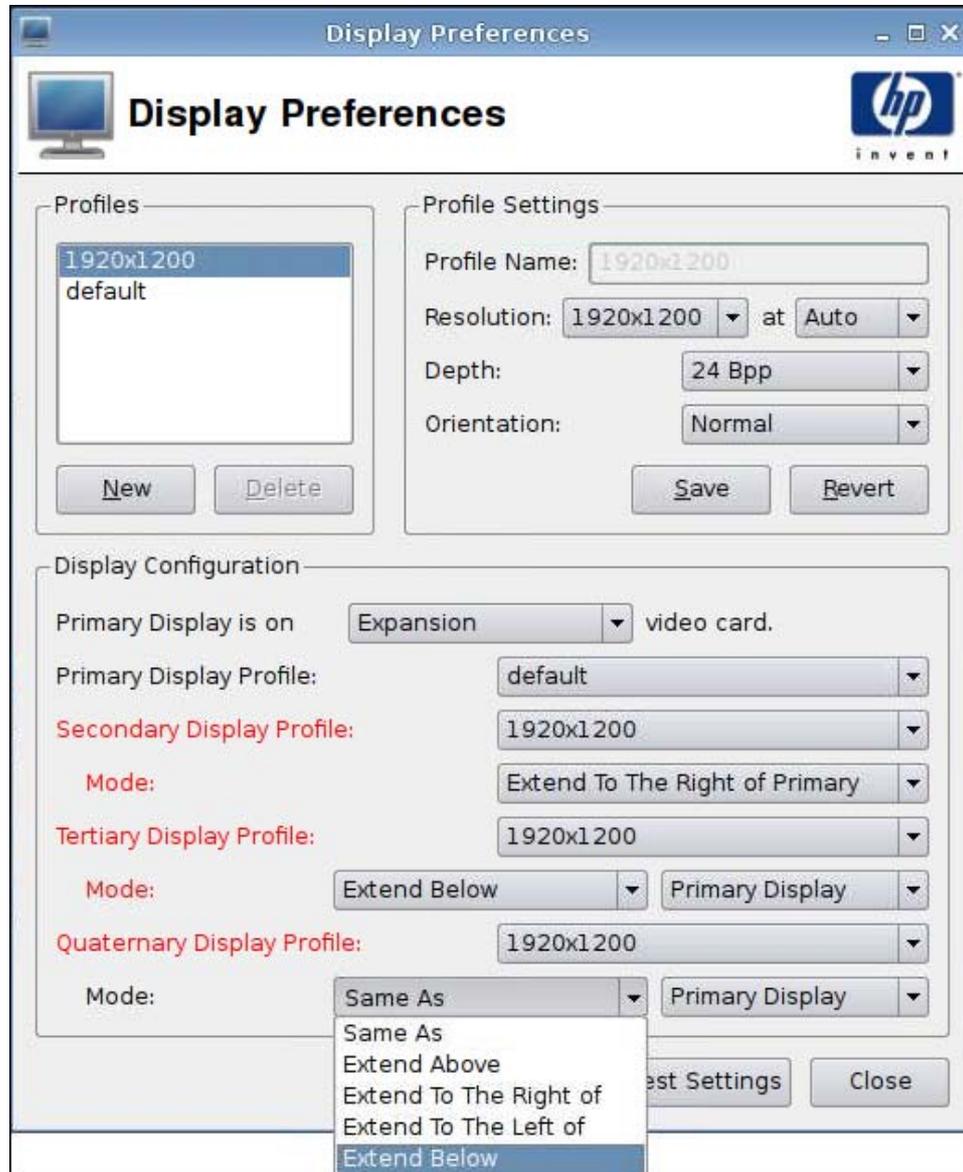
5. [Test Settings] (設定テスト) をクリックしてプロファイルを確認します。

モニターの設定を適用しない場合は、[No] (いいえ) をクリックするか、または 15 秒のタイムアウト期間が終了するまで待ちます。この時点で、以前のモニター設定が復元されます。

 **注記：** 2 番目のビデオ コネクタにモニターが接続されている場合は、[None] (なし) が選択されているにもかかわらず、セカンダリ ディスプレイ上にビデオが生成されていることが確認できます。このセカンダリ ディスプレイの画像は、プライマリ ディスプレイの画像と同じです。これは X Server の仕様であるため、変更できません。

6. **[Apply]** (適用) をクリックして新しい設定を適用します。
7. **[Close]** (閉じる) をクリックして、**[Display Preferences]** (ディスプレイの設定) を閉じます。

クワッド ヘッドの HP gt7725 Thin Client での 4 台のモニターの設定



クワッド ヘッドの HP gt7725 Thin Client で 4 台のモニターを設定するには、以下の操作を行います。

1. **[Control Panel]** (コントロール パネル) → **[Display Preferences]** (ディスプレイ設定) の順にクリックします。
2. プライマリ ディスプレイが拡張モジュールのビデオ カードまたは内蔵ビデオ カードのどちらにあるかを選択します。
3. **[Primary Display Profile]** (プライマリ ディスプレイ プロファイル) 一覧からプロファイルを選択します。

4. セカンダリ ディスプレイ、第 3 ディスプレイ、および第 4 ディスプレイのプロファイルおよびモードを選択します。
5. **[Test Settings]** (設定テスト) をクリックしてプロファイルを確認します。

モニターの設定を適用しない場合は、**[No]** (いいえ) をクリックするか、または 15 秒のタイムアウト期間が終了するまで待ちます。この時点で、以前のモニター設定が復元されます。

 **注記：** 2 番目のビデオ コネクタにモニターが接続されている場合は、**[None]** (なし) が選択されているにもかかわらず、セカンダリ ディスプレイ上にビデオが生成されていることが確認できます。このセカンダリ ディスプレイの画像は、プライマリ ディスプレイの画像と同じです。これは X Server の仕様であるため、変更できません。

6. **[Apply]** (適用) をクリックして新しい設定を適用します。
7. **[Close]** (閉じる) をクリックして、**[Display Preferences]** (ディスプレイ設定) を閉じます。

ezUpdate

[ezUpdate]は、FTP、HTTP、または NFS ロケーション上にある特定のディレクトリ レイアウトに基づいた、受動的な管理ソリューションです。このディレクトリ レイアウトには、ThinPro GT イメージ用の特定の手順を記述できます。[ezUpdate]を有効にすると、HP ThinPro GT の起動時に [ezUpdate]がこの FTP、HTTP、または NFS サーバーに新しい手順があるかどうかをチェックして、その手順を実行します。



[ezUpdate]を使用するには、以下の操作を行います。

 **注記：** [ezUpdate]を使用する前に ezUpdate サーバーを設定する必要があります。

1. **[Control Panel]** (コントロール パネル) → **[ezUpdate]** の順にクリックします。
2. **[Enable ezUpdate on system startup]** (システム起動時に ezUpdate を有効にする) チェックボックスを選択するか、選択解除してこの機能を無効にします。

3. [ezUpdate]を有効にした場合は、[Use DHCP tag to detect ezUpdate server] (DHCP タグを使用して ezUpdate サーバーを検出する) も選択できます。

または

[Protocol] (プロトコル) を指定し、[Server] (サーバー)、[Path] (パス)、[User name] (ユーザー名)、および[Password] (パスワード) を各フィールドに入力します。

4. [OK]をクリックして変更を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

ezUpdate サーバーの導入

現在、[ezUpdate]は以下の4つのプロトコルをサポートしています。

- FTP
- HTTP
- NFS
- local (ローカル)

以下では、FTP サーバーを使用して ezUpdate サーバーを導入する手順を説明します。

ezUpdate サーバーを導入するには、以下の操作を行います。

1. アップデート パッケージを保存する/ftproot/ezupdate ディレクトリを作成します。
2. ルート ディレクトリの下に client_triggers という名前のファイルを作成します。
3. アップデートするクライアントのホスト名を、1行に1つずつこのファイルに記述します。このファイルは、アップデートを受信するホストの指定に使用されます。

このファイルには、完全なホスト名のみではなく、以下のように正規表現を記述することもできます。

- 「HP.*」と記述すると、「HP」で始まるすべてのホスト名が一致します。
 - 「HP[0-9]*」と記述すると、「HP」で始まり、その後に0けた以上の数字が続くすべてのホスト名が一致します。たとえば、HP12345 は一致しますが、HP12345A は一致しません。
 - 「HP[0-9]\\+」と記述すると、「HP」で始まり、その後に1けた以上の数字が続くすべてのホスト名が一致します。
4. [ezUpdate]のルート ディレクトリの下に「CUSTOM」、「FIRMWARE」、「PACKAGES」、および「PROFILE」の4つのディレクトリを作成します。アップデートを分類し、その属性に従ってパッケージと.2do ファイルを適切なディレクトリに振り分けることができます。
 5. (ezUpdate-root) /update_list を作成します。これはプレーン テキスト ファイルであり、クライアントへのインストールが必要な.2do ファイルへのパスを記述します。たとえば、以下のようになります。
 - PACKAGES/acrobat/install.2do
 - PACKAGES/flash/install.2do
 - PACKAGES/Iceweasel/uninstall.2do
 - PROFILE/install.2do

.2do ファイルについて詳しくは、「xpe_snapin_ref.pdf」を参照してください。ここでは、簡単な例を以下に示します。

```
# パッケージの名前とバージョン、*必須*
```

```
# PACKAGE_NAME=acrobat
```

```
# VERSION=1
```

```
#
```

```
# このファイルは、[Remote Manager]によって
```

```
# アップデート手順の一つとして処理されます。
```

```
#
```

```
# snapin を install_snapin スクリプトでインストールします。SCRIPT install_snapin.sh <<<
adobe-acrobat.hpk
```

```
# END OF .2DO
```

「PACKAGE_NAME」および「VERSION」のエントリは、[ezUpdate]のバージョン管理メカニズムにとってどちらも必須であり、非常に重要なものであることにご注意ください。

この.2do ファイルと同じディレクトリには、install_snapin.sh および acrobat-acrobat.hpk が保存されます。アップデートを実行すると、クライアントによってこれらのファイルがローカル ストレージにダウンロードされます。次に、install_snapin.sh がローカルで実行され、実際のインストールが行われます。

以下は、install_snapin.sh スクリプトの例です。

```
# このスクリプトが HP アプライアンスにダウンロードされ、
```

```
# hpk snapin がインストールされます。
```

```
# このスクリプトは、完全なインストール、または
```

```
# 実行中のシステムへのインストールの一つとして、必ず実行してください。
```

```
#
```

```
RAMDIR=/tmp
```

```
echo Installing adobe acrobat...
```

```
#
```

```
# 「snapin.tgz」 ファイルを RAM ディスクにコピーします。
```

```
/bin/cat - > ${RAMDIR}/snapin.hpk
```

```
echo installing ${RAMDIR}/snapin.hpk
```

```
IPKFILE="${RAMDIR}/snapin.hpk"
```

```
# 「snapin.hpk」 ファイルをインストールします
```

```
/usr/bin/hpkg -i "${IPKFILE}"
```

```
if [ $?-ne 0 ] ; then
```

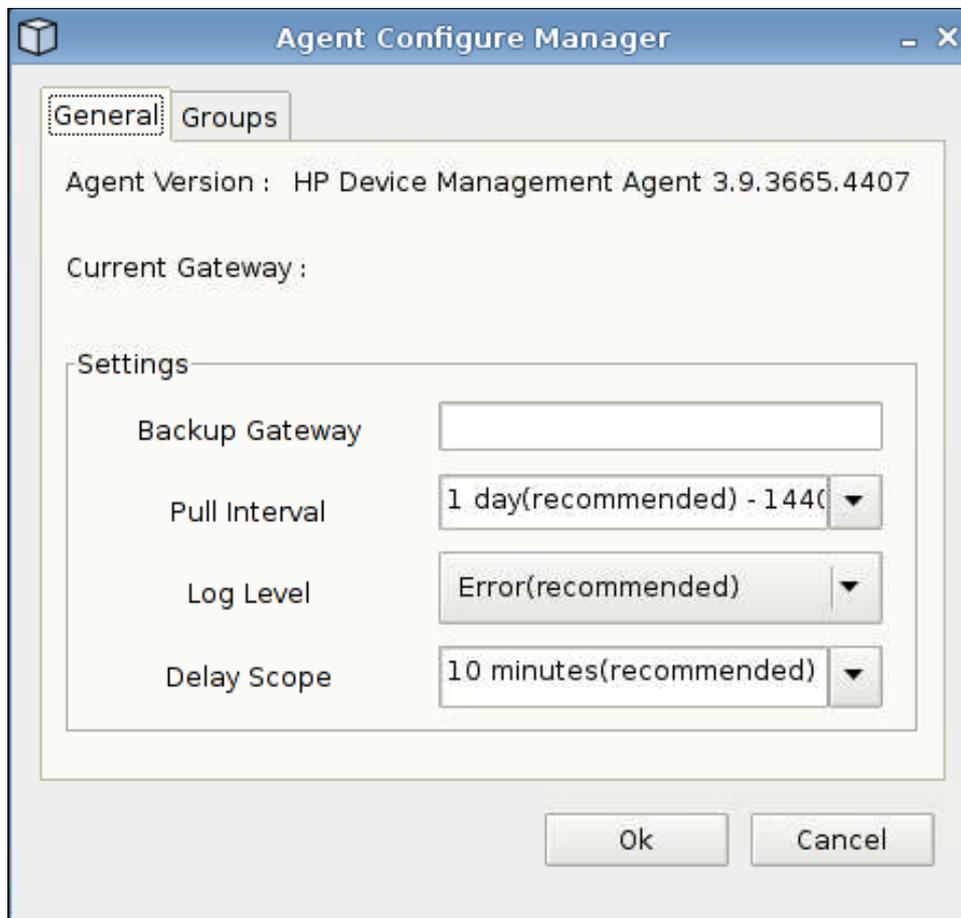
```
echo ERROR - Snapin install failed.  
exit 1  
if  
echo OK  
exit 0  
# END OF SCRIPT
```

DHCP サーバーの導入

ezUpdate サーバー オプションのコードは 137 で、そのタグ文字列は以下の 3 つの方法で作成できます。

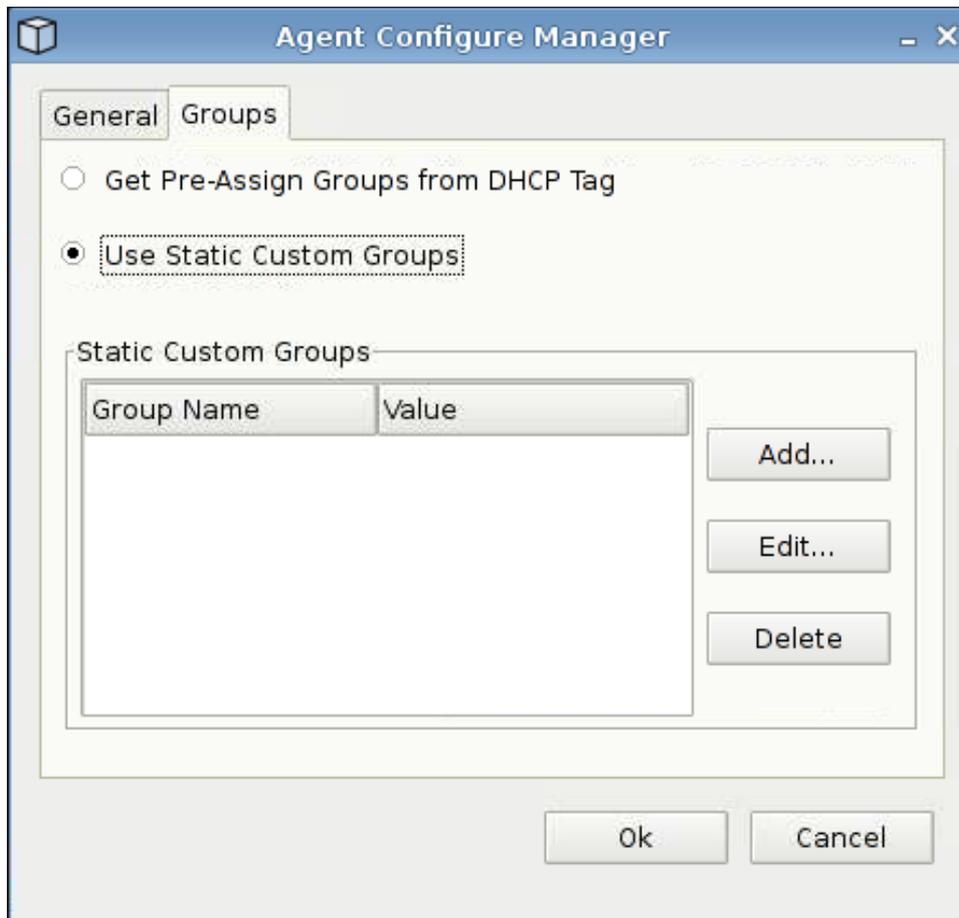
- proto://user:passwd@host/directory
- nfs:host:fullpath
- local:fullpath

[HP Device Management Agent]の設定



この機能を使用して、[HP Device Management Agent]を設定します。

1. [Control Panel] (コントロール パネル) → [HP Agent Configuration] (HP Agent 設定) の順にクリックして、この画面にアクセスします。
2. [General] (全般) タブを使用して、以下の設定を行います。
 - [Backup Gateway] (バックアップ ゲートウェイ)
 - [Pull Interval] (プル間隔)
 - [Log Level] (ログ レベル)
 - [Delay Scope] (遅延スコープ)



3. [Groups] (グループ) タブを使用してグループを設定します。事前に割り当てたグループを [DHCP] タブから選択するか、静的なカスタム グループを使用できます。
4. [OK] をクリックして変更内容を保存します。

 **注記：** 変更は[HP Device Management Agent]の再起動後に反映されます。

[HP FTP Update] (HP FTP 更新)

[FTP Image Updates] (FTP イメージの更新) を使用すると、Thin Client 上のイメージを 1 つの方法で管理できます。FTP 更新が有効な Thin Client が起動されると、FTP ディレクトリをチェックし、

([HP ThinState]ツールで作成された) 完全なイメージ更新またはインクリメンタル更新のどちらかに設定されているかが確認されます。



[HP FTP Update] (HP FTP 更新) を使用するには、以下の操作を行います。

 **注記：** [HP FTP Update]を使用する前に、FTP サーバーを設定する必要があります。

1. **[Control Panel]** (コントロール パネル) → **[HP FTP Update]** (HP FTP 更新) の順にクリックします。
2. **[Enable FTP Update]** (FTP 更新を有効にする) チェック ボックスにチェックを入れるか、または外してこの機能を無効にします。
3. **[Server]** (サーバー)、**[Path]** (パス)、**[User name]** (ユーザー名)、および**[Password]** (パスワード) を各フィールドに入力します。
4. **[OK]** をクリックして変更を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

[Keyboard] (キーボード)



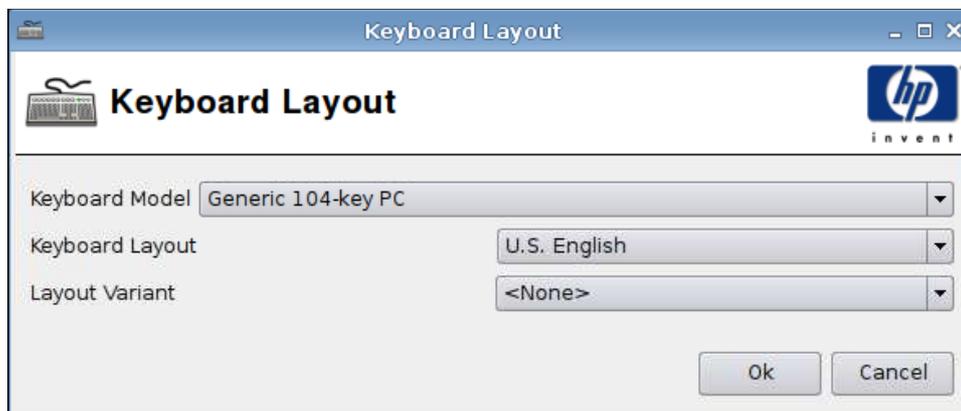
3つのタブを使用して、さまざまなキーボード設定を実行できます。

- [Settings] (設定) : タイピングの速度とカーソルの速度を設定します
- [Shortcuts] (ショートカット) : キーボード ショートカットを追加または削除します
- [Accessibility] (ユーザー補助機能) : スティッキー キー、スロー キー、およびバウンス キーを有効にして、パラメーターを設定します
- [Layouts] (レイアウト) : キーボードのモデルとレイアウトを設定します

キーボードを設定するには、以下の操作を行います。

1. [Control Panel] (コントロール パネル) → [Keyboard] (キーボード) の順にクリックします。
2. 設定してから [Close] (閉じる) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

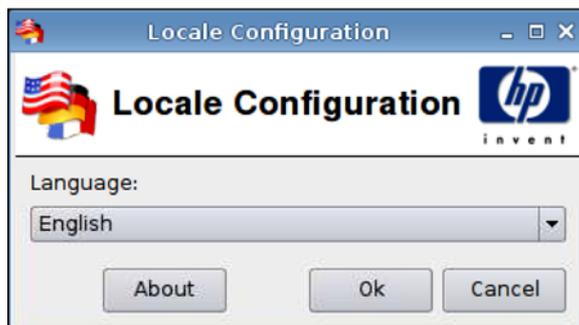
[Keyboard Layout] (キーボード レイアウト)



キーボード レイアウトを設定するには、以下の操作を行います。

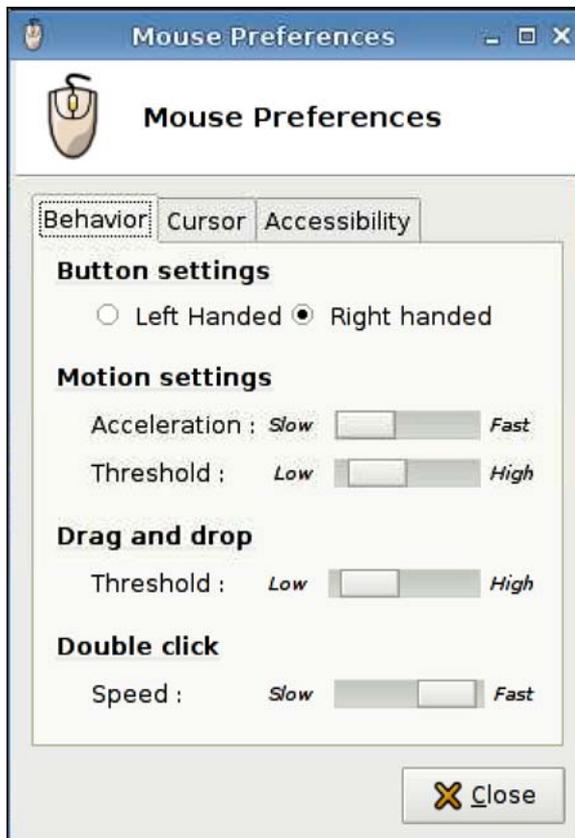
1. [Control Panel] (コントロール パネル) → [Keyboard Layout] (キーボード レイアウト) の順にクリックします。
2. 各フィールドで [Keyboard Model] (キーボード モデル)、 [Keyboard Layout] (キーボード レイアウト)、 および [Layout Variant] (レイアウトの変型) を選択します。
3. [OK] をクリックして変更を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

[Language] (言語)



1. [Control Panel] (コントロール パネル) → [Language] (言語) の順にクリックします。
2. 使用する言語を選択します。
3. [OK] をクリックして変更を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

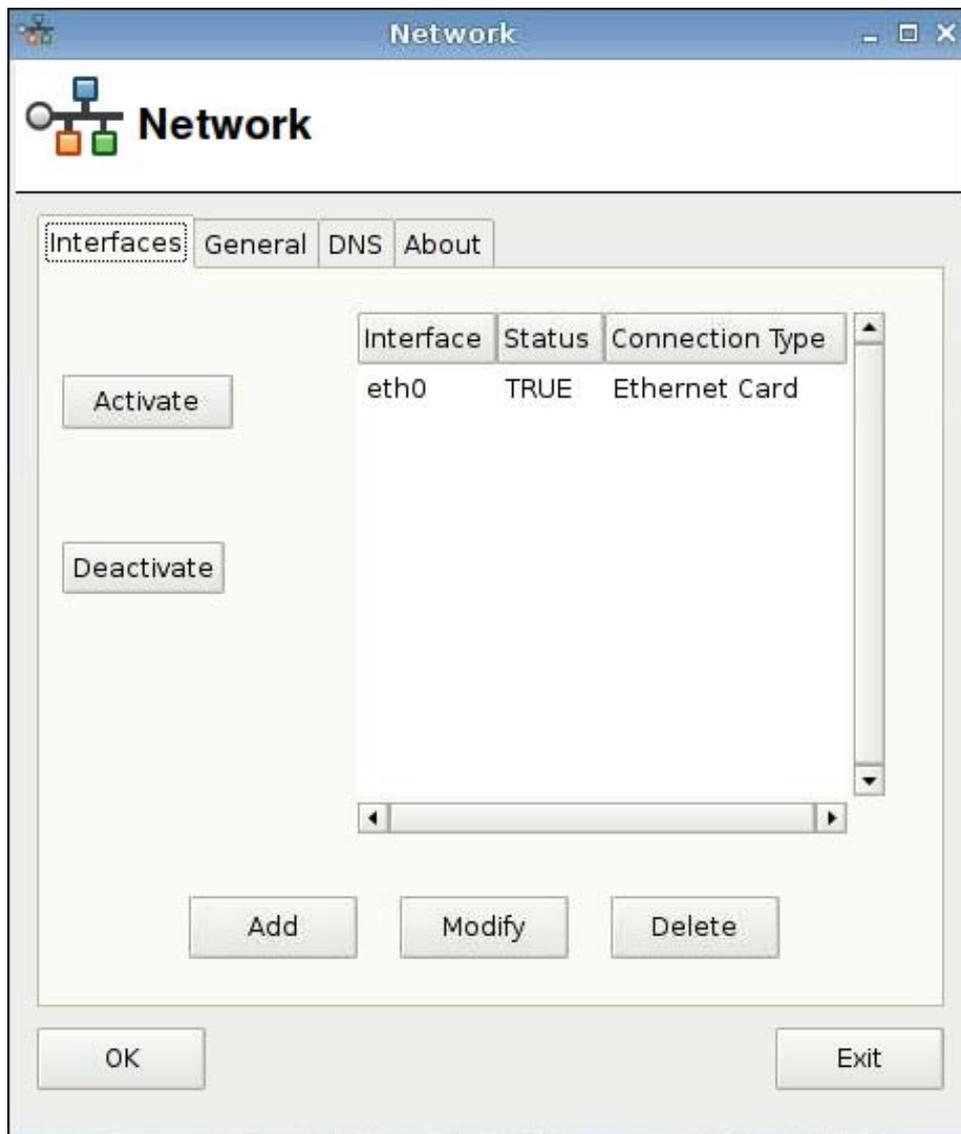
[Mouse] (マウス)



マウスの動作およびカーソル サイズを設定するには、以下の操作を行います。

1. [Control Panel] (コントロール パネル) → [Mouse] (マウス) の順にクリックします。
2. 以下の3つのタブで設定します。
 - [Behavior] (動作)
 - [Cursor] (カーソル)
 - [Accessibility] (ユーザー補助機能)
3. [Close] (閉じる) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

[Network] (ネットワーク)



[Network] (ネットワーク) 属性を設定するには、以下の操作を行います。

- ▲ [Control Panel] (コントロール パネル) → [Network] (ネットワーク) の順にクリックします。

[Interfaces] (インターフェイス) タブ

接続を有効にするには、以下の操作を行います。

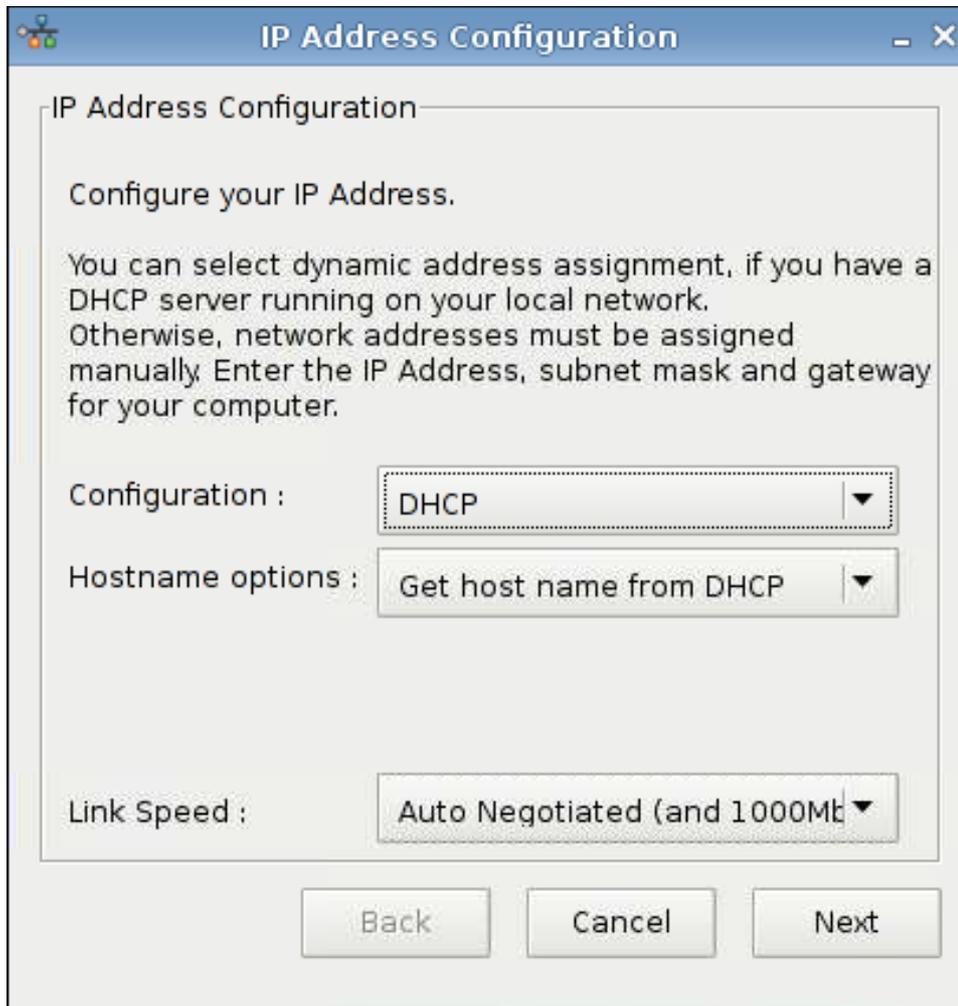
- ▲ 一覧から無効な接続を選択して、[Activate] (有効化) をクリックします。

接続を無効にするには、以下の操作を行います。

- ▲ 一覧から有効な接続を選択して、[Deactivate] (無効化) をクリックします。

接続を追加するには、以下の操作を行います。

- ▲ [Add] (追加) をクリックして、接続の仕様を入力します。



接続を変更するには、以下の操作を行います。

1. 一覧から接続を選択して、**[Modify]**（変更）をクリックします。
2. IP アドレスを設定します。
 - a. **[Configuration]**（設定）の下で、以下の操作を行います。

[DHCP]を選択します。

または

[Static]（静的）を選択して、各フィールドに**[IP Address]**（IP アドレス）、**[Subnet mask]**（サブネット マスク）、および**[Gateway]**（ゲートウェイ）を入力します。
 - b. **[Link Speed]**（リンク速度）を選択します。
 - c. **[Next]**（次へ）をクリックします。
3. 起動時に接続を有効にする場合は、**[Active on boot]**（起動時に有効）をクリックします。
4. **[Apply]**（適用）をクリックして設定変更を確定します。
5. 設定の確認画面で**[OK]**をクリックして変更を保存してから、確認画面とダイアログ ボックスを閉じます。

接続を削除するには、以下の操作を行います。

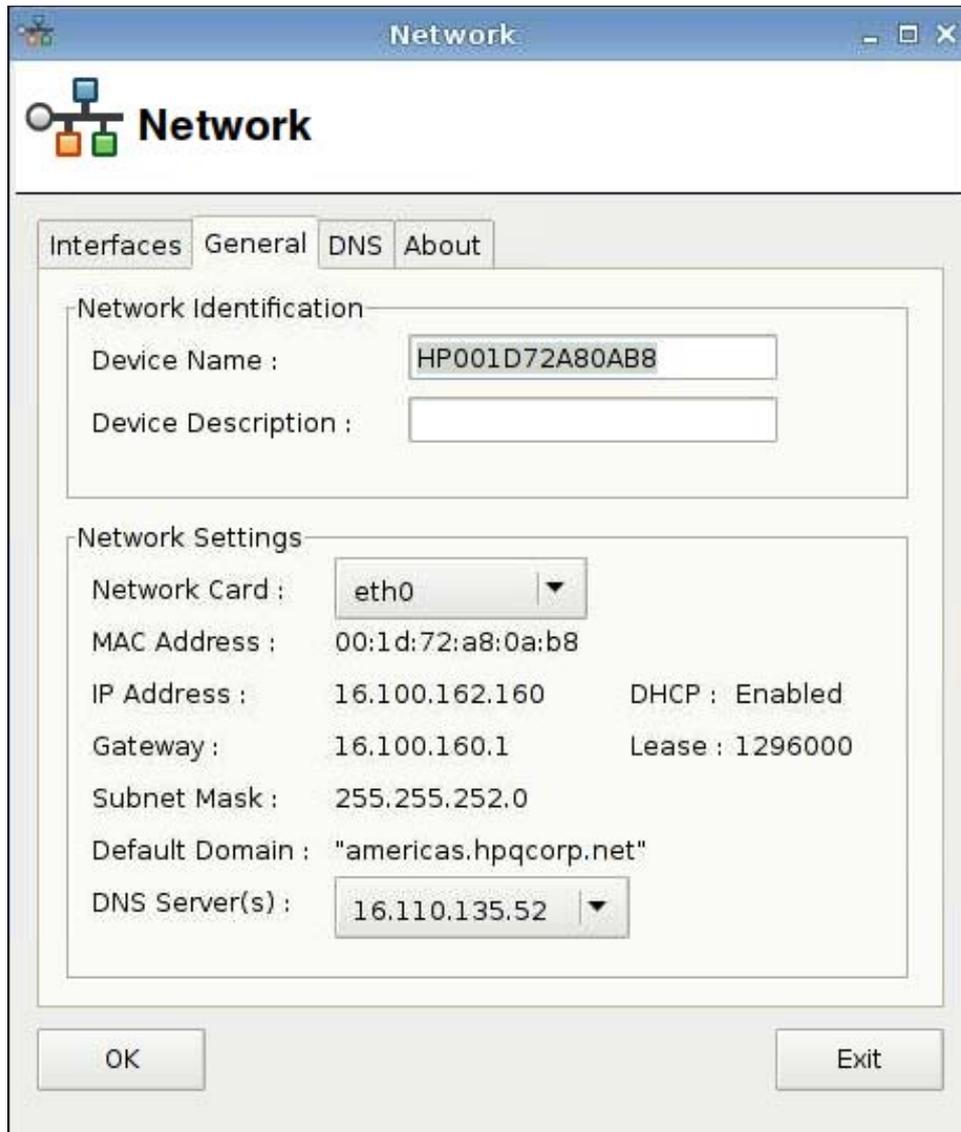
1. 一覧から接続を選択して、[Delete]（削除）をクリックします。
2. [OK]をクリックして確定します。

変更を保存してダイアログ ボックスを閉じるには、以下の操作を行います。

- ▲ [OK]をクリックします。

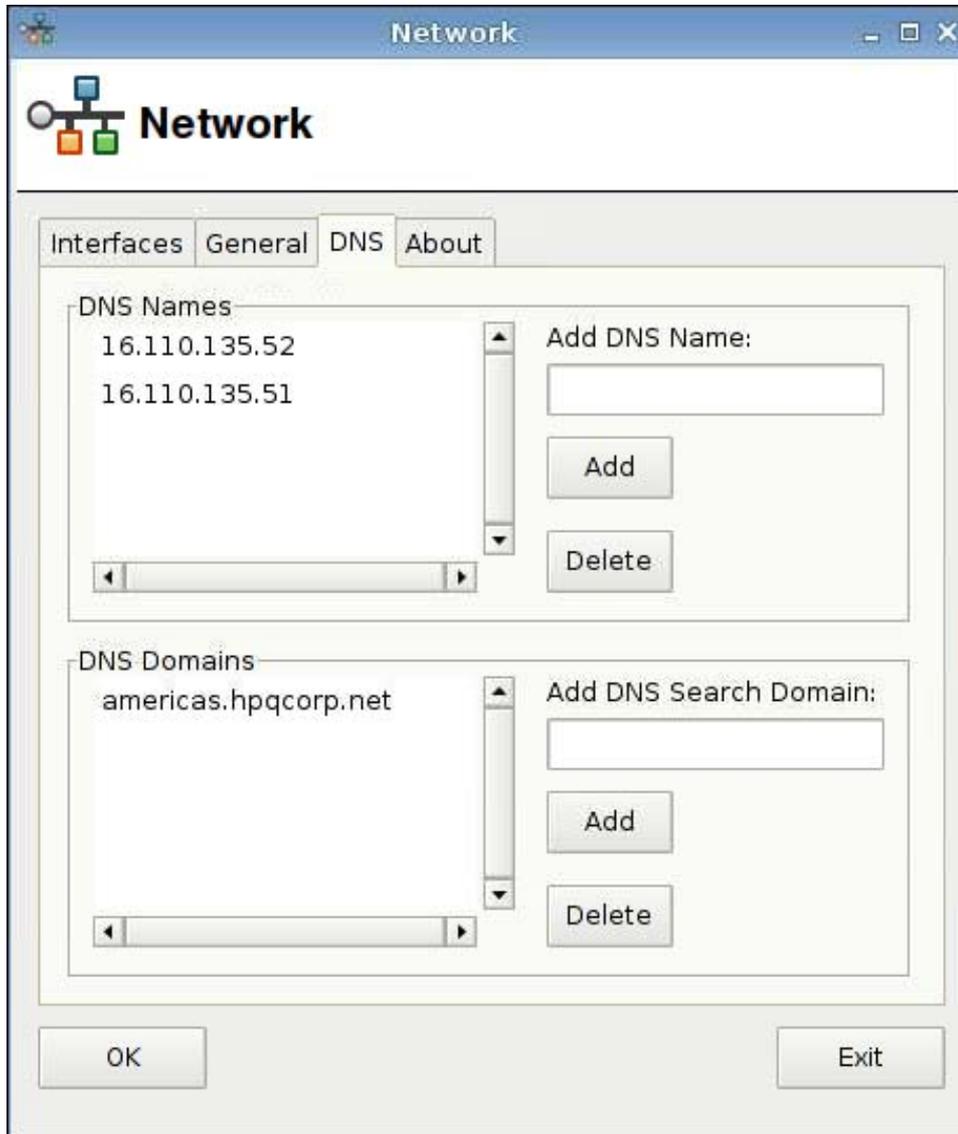
 **注記：** [General]（全般）タブでディレクトリ名を変更した場合は、Xserver を再起動してください。

[General]（全般）タブ



このダイアログ ボックスで、ネットワーク情報および設定を指定または変更します。

[DNS]タブ



DNS 名を追加するには、以下の操作を行います。

1. **[Add DNS Name]** (DNS 名の追加) フィールドに DNS の IP アドレスを入力します。
2. **[Add]** (追加) をクリックします。

新しい DNS 名が**[DNS Names]** (DNS 名) 一覧に表示されます。

DNS 名を削除するには、以下の操作を行います。

- ▲ **[DNS Names]** (DNS 名) 一覧から名前を選択して、**[Delete]** (削除) をクリックします。

DNS ドメインを追加するには、以下の操作を行います。

1. **[Add DNS Search Domain]** (DNS 検索ドメイン名の追加) フィールドに検索ドメインを入力します。
2. **[Add]** (追加) をクリックします。

新しい検索ドメインが**[DNS Domains]** (DNS ドメイン) 一覧に表示されます。

DNS ドメインを削除するには、以下の操作を行います。

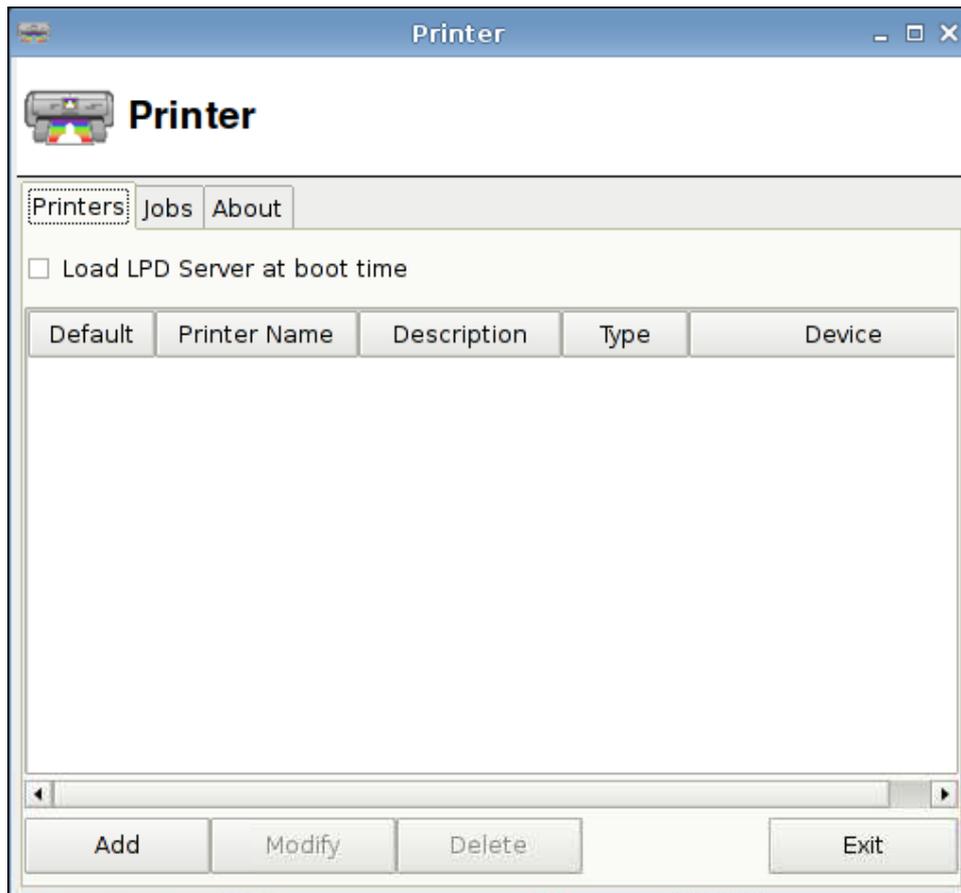
▲ **[DNS Domains]**一覧から名前を選択して、**[Delete]** (削除) をクリックします。

ダイアログ ボックスを閉じるには、以下の操作を行います。

▲ **[OK]** をクリックします。

 **注記:** **[General]** (全般) タブでディレクトリ名を変更した場合は、Xserver を再起動してください。

[Printers] (プリンター)



以下の操作を行うには、このダイアログ ボックスを使用します。

- **[Printers]** (プリンター) タブ: プリンターの追加、変更、または削除を行います
- **[Jobs]** (ジョブ) タブ: プリンターを選択、またはプリント ジョブの削除を行います

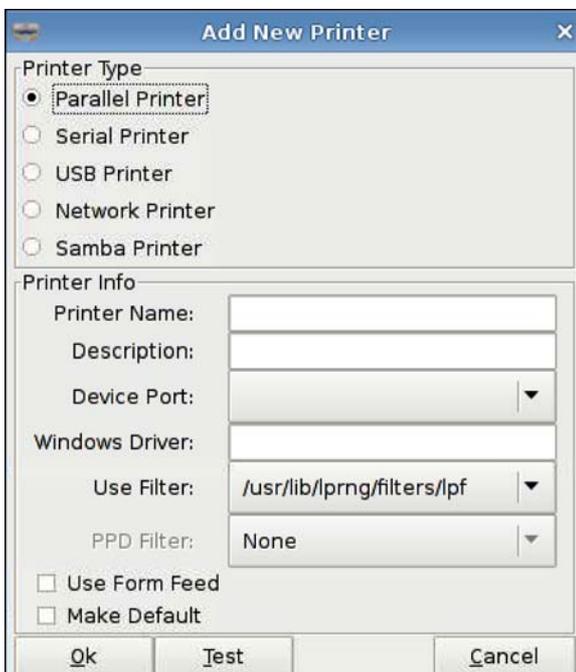
[Printers] (プリンター) タブ

[Printers] (プリンター) タブを使用して、Thin Client からプリンターの追加、変更、削除を行います。

プリンターの追加

[Add New Printer] (新しいプリンターを追加) には次のオプションがあります。

- [Parallel Printer] (パラレル プリンター)
- [Serial Printer] (シリアル プリンター)
- [USB Printer] (USB プリンター)
- [Network Printer] (ネットワーク プリンター)
- [Samba Printer] (Samba プリンター)



プリンターを追加するには、以下の操作を行います。

1. [Control Panel] (コントロール パネル) → [Printer] (プリンター) の順にクリックします。
2. [Printers] タブで [Add] (追加) ボタンをクリックします。
3. プリンターの種類を選択します。
4. [Printer Name] (プリンター名)、[Description] (説明)、および [Windows Driver] (Windows ドライバー名) を、対応する各フィールドに入力します。
5. [Device Port] (デバイス ポート)、[Use Filter] (フィルターを使用する)、および [PPD Filter] (PPD フィルター) を選択します。
6. 必要に応じて、[Use Form Feed] (Form Feed を使用する) を選択します。
7. これを初期設定のプリンターにする場合は、[Make Default] (初期設定にする) を選択します。
8. この仕様をテストする場合は、[Test] (テスト) をクリックします。
9. [OK] をクリックしてプリンターを追加し、[Add New Printer] (新しいプリンターを追加) ダイアログ ボックスを閉じます。

プリンターの変更

プリンターを変更するには、以下の操作を行います。

1. 一覧からプリンターを選択して、**[Modify]**（変更）をクリックします。
2. 必要に応じて、プリンターの属性を変更します。
3. **[Exit]**（終了）をクリックしてダイアログ ボックスを閉じます。

プリンターの削除

プリンターを削除するには、以下の操作を行います。

1. 一覧からプリンターを選択して、**[Delete]**（削除）をクリックします。
2. **[OK]**をクリックして確定します。
3. **[Exit]**（終了）をクリックしてダイアログ ボックスを閉じます。

[Jobs] (ジョブ) タブ

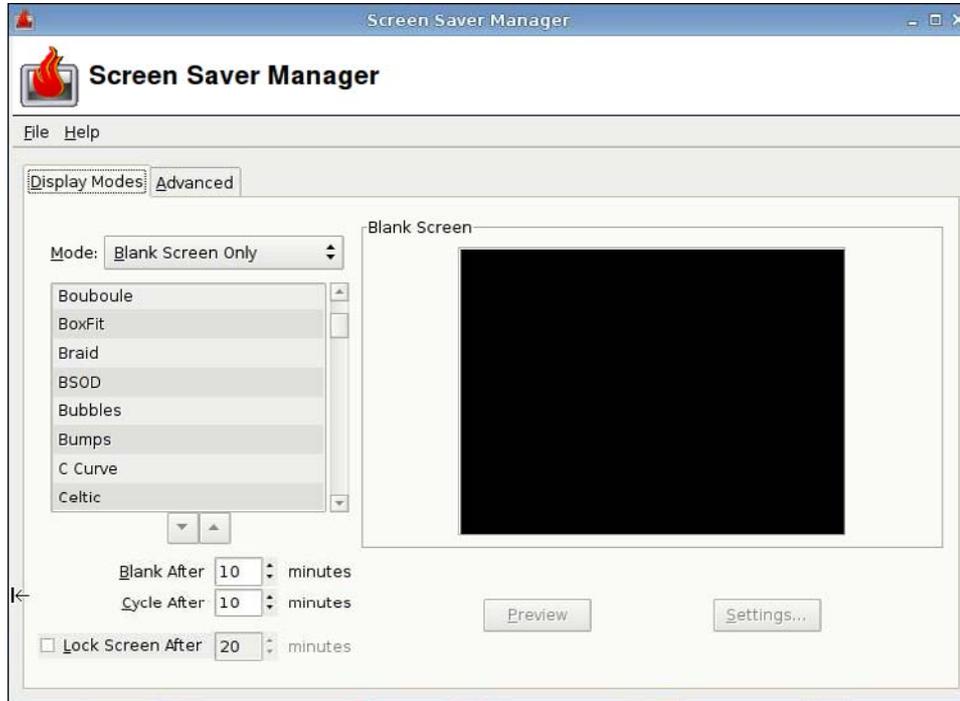


プリント ジョブを削除するには、以下の操作を行います。

1. **[Select Printer]**（プリンターの選択）一覧からプリンターを選択します。
2. 一覧からジョブを選択して、**[Delete]**（削除）をクリックします。

3. すべてのジョブを削除するには、**[Delete All]**（すべて削除）をクリックします。
4. **[Refresh]**（更新）をクリックして表示を更新します。

[Screen Saver Manager]（スクリーンセーバー マネージャー）



 **注記：** **[Help]**（ヘルプ）は使用できません。

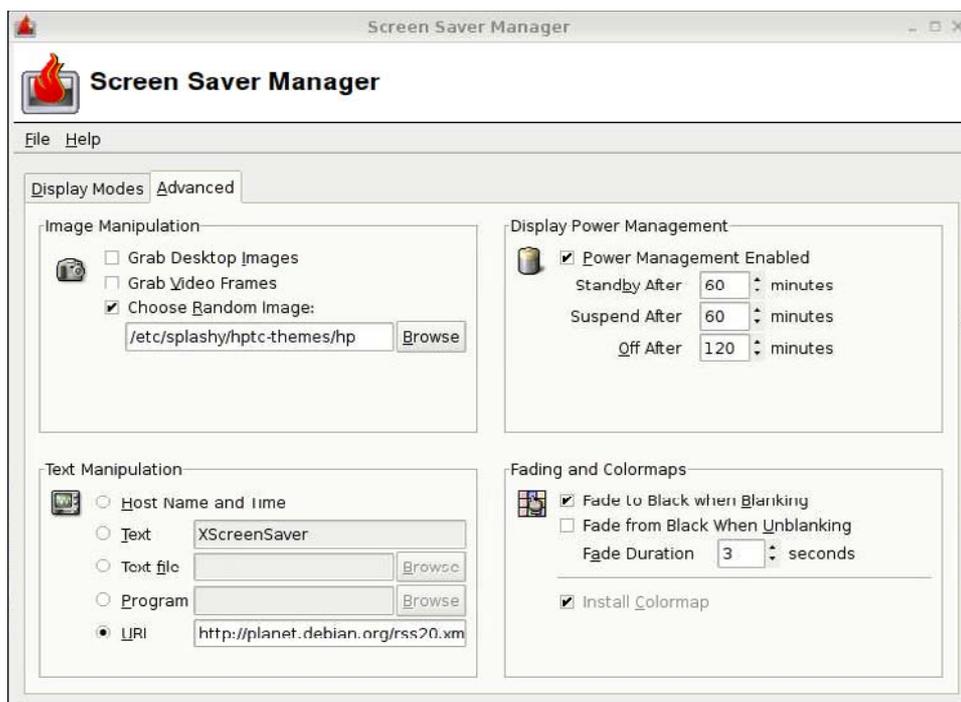
[Display Modes]（表示モード）タブ

表示モードを設定するには、以下の操作を行います。

1. **[Control Panel]**（コントロール パネル）→**[Screensaver]**（スクリーンセーバー）の順にクリックします。
2. モードを選択します。
 - **[Disable Screen Saver]**（スクリーンセーバーを無効にする）
 - **[Blank Screen Only]**（画面に何も表示しない）
 - **[Only One Screen Saver]**（1つのスクリーンセーバーのみ表示）
 - **[Random Screen Saver]**（スクリーンセーバーをランダムに表示）
3. **[Only One Screen Saver]**を選択した場合は、一覧からスクリーンセーバーを1つ選択し、他のすべてのスクリーンセーバーのチェック ボックスのチェックを外します。
[Random Screen Saver]を選択した場合は、ランダムに表示するスクリーンセーバーをすべて選択します。

4. スクリーンセーバーを表示するには、以下の操作を行います。
 - スクリーンセーバー名をクリックすると、そのスクリーンセーバーがダイアログ ボックス内のウィンドウに表示されます。
 - スクリーンセーバー ボックスの下にある上矢印または下矢印をクリックすると、前または次のスクリーンセーバーが全画面表示されます。カーソルをクリックすると通常の表示に戻ります。
 5. 操作されていない状態になってからスクリーンセーバーが起動するまでの時間（分）を、[Blank After]（待ち時間）フィールドに設定します。フィールドの横の上矢印または下矢印を使用するか、フィールドに数字を入力します。
 6. [Random Screen Saver]を選択した場合は、次のスクリーンセーバーに変わるまでの時間を[Cycle After]（周期）フィールドに設定します。フィールドの横の上矢印または下矢印を使用するか、フィールドに数字を入力します。
 7. 画面に何も表示されないように設定し、一定時間操作されていない状態からコンピューターのロックを解除するのにパスワードを要求するには、[Lock Screen After]（画面ロック時間）フィールドに時間を設定します。フィールドの横の上矢印または下矢印を使用するか、フィールドに数字を入力します。
-  **注記：** 管理者モードのときに画面がロックされた場合は、このフィールドにユーザー パスワードを入力します。
8. 選択したスクリーンセーバーを全画面でプレビュー表示するには、[Preview]（プレビュー）をクリックします。
 9. そのスクリーンセーバーの設定を表示するには、[Settings]（設定）をクリックします。

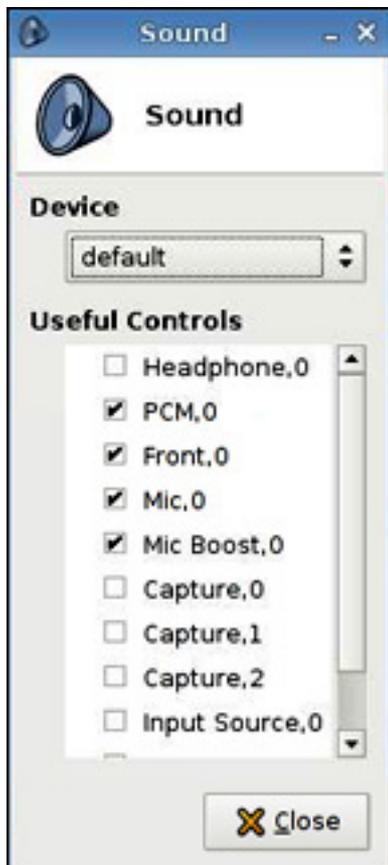
[Advanced]（詳細設定）タブ



以下のようなディスプレイの詳細属性を設定するには、このタブを使用します。

- Image Manipulation (イメージ操作)
- Text Manipulation (テキスト操作)
- Display Power Management (ディスプレイの電源管理)
- Fading and Colormaps (フェードとカラーマップ)

サウンドの制御



ここでは、オーディオのパラメーターを指定できます。

1. **[Control Panel]** (コントロール パネル) → **[Sound]** (サウンド) の順にクリックします。
2. デバイスおよび制御パラメーターを設定してから **[Close]** (閉じる) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

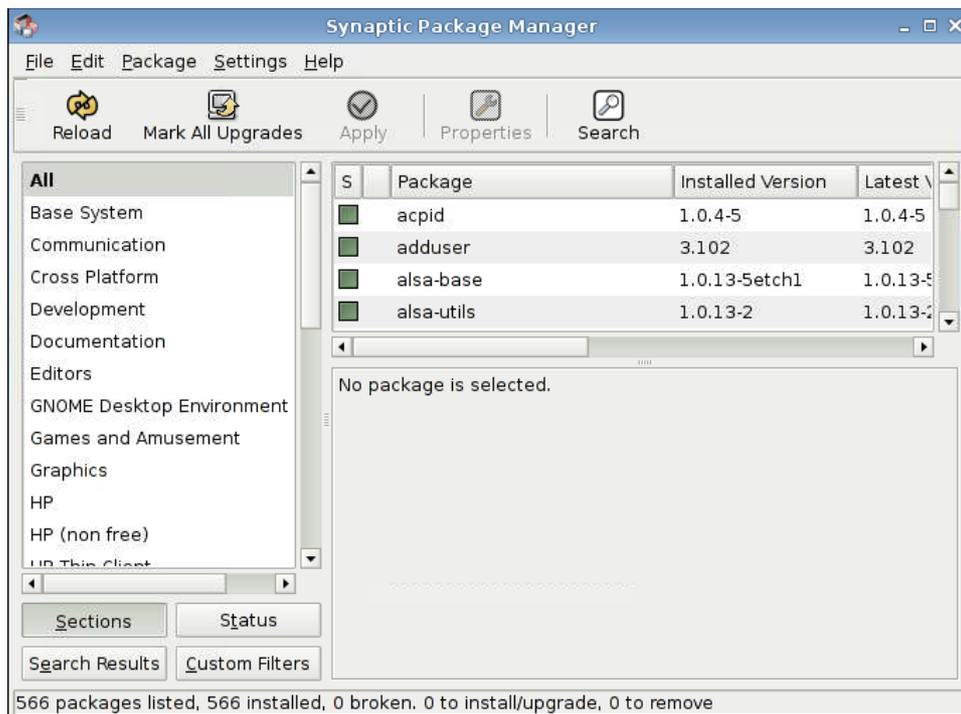
[SSHD Manager] (SSH マネージャー)



SSH (Secure Shell) アクセスを有効にするには、以下の操作を行います。

1. **[Control Panel]** (コントロール パネル) → **[SSHD Manager]** (SSH マネージャー) の順にクリックします。
2. **[Enable Incoming Secure Shell Access]** (Secure Shell アクセスの着信を有効にする) をクリックします。
3. **[OK]** をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

[Synaptic Package Manager] (Synaptic パッケージ マネージャ)



[Synaptic Package Manager] (Synaptic パッケージ マネージャ) を使用すると、ソフトウェア パッケージをインストール、アップグレード、または削除できます。重要なセキュリティ アップグレードを適用し損なうことがないように、パッケージ情報を定期的に再ロードしてください。

 **注記：** 変更はすぐには適用されません。最初にすべての変更をマークしてから、次にそれらの変更を適用する必要があります。

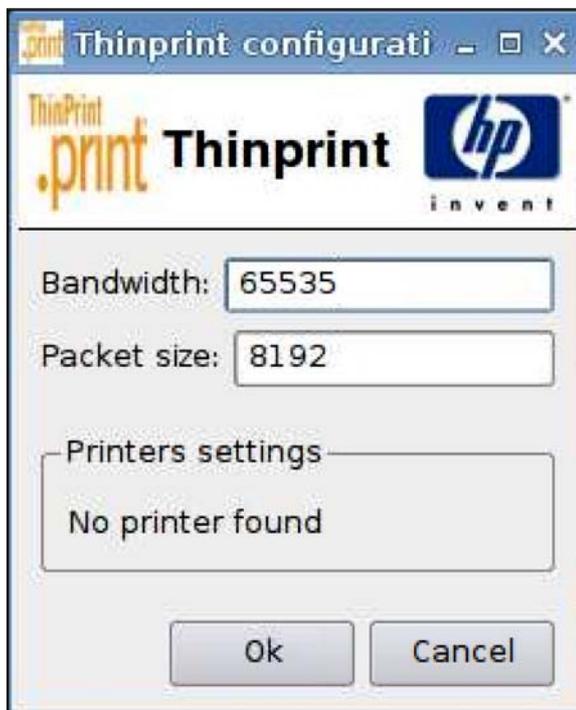
以下のいくつかの方法で、パッケージにインストール、アップグレード、または削除のマークを付けることができます。

- パッケージを選択し、**[Package]**（パッケージ）メニューからアクションを選択します。
- パッケージ名をダブルクリックします。
- パッケージの**[Context]**（コンテキスト）メニューから操作を選択します。
- すべての操作を含むメニューを開くには、**[Status]**（ステータス）アイコンをクリックします。

ソフトウェア パッケージをインストール、アップグレード、または削除するには、以下の操作を行います。

1. **[Control Panel]**（コントロール パネル）→**[Synaptic Package Manager]**（Synaptic パッケージ マネージャ）の順にクリックします。
2. 以下のどれかの方法で、パッケージにインストール、アップグレード、または削除のマークを付けます。
 - パッケージを選択し、**[Package]**（パッケージ）メニューからアクションを選択します。
 - パッケージ名をダブルクリックします。
 - パッケージの**[Context]**メニューから操作を選択します。
 - すべてのアクションを含むメニューを開くには、**[Status]**（ステータス）アイコンをクリックします。

ThinPrint



[ThinPrint]を使用するには、以下の操作を行います。

1. **[Control Panel]**（コントロール パネル）→**[ThinPrint]**の順にクリックします。
2. 使用するプリンターを選択して、**[OK]**をクリックします。
3. コンピューターを再起動して、設定を有効にします。

[HP ThinState]ユーティリティ

[HP ThinState]を使用して Thin Client の設定をコピーし、モデルおよびハードウェアが同一の別の HP Thin Client にその設定を配備できます。

- [106 ページの「Thin Client 設定の USB ドライブへのキャプチャ」](#)
- [108 ページの「USB ドライブからのキャプチャ済み設定の配備」](#)
- [109 ページの「Thin Client の全イメージの USB ドライブへのキャプチャ」](#)
- [111 ページの「全イメージの FTP サイトへの配備」](#)

 **注記：** [HP ThinState]はスタンドアロン ツールではありません。このツールには Thin Client イメージ内から管理者のみがアクセスできます。

[HP ThinState]を実行するには、以下のものがが必要です。

- HP が提供する最新イメージを含む HP Thin Client ユニット
- HP 認可の USB フラッシュ ドライブ

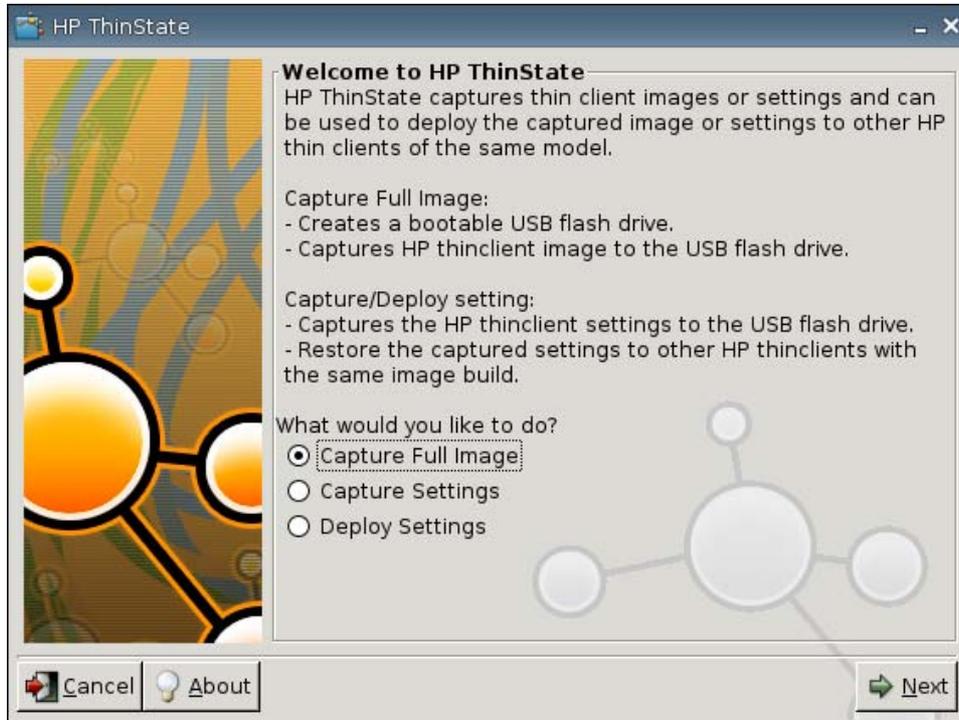
Thin Client 設定の USB ドライブへのキャプチャ

[HP ThinState]を使用して Thin Client の設定を USB ドライブにキャプチャするには、以下の操作を行います。

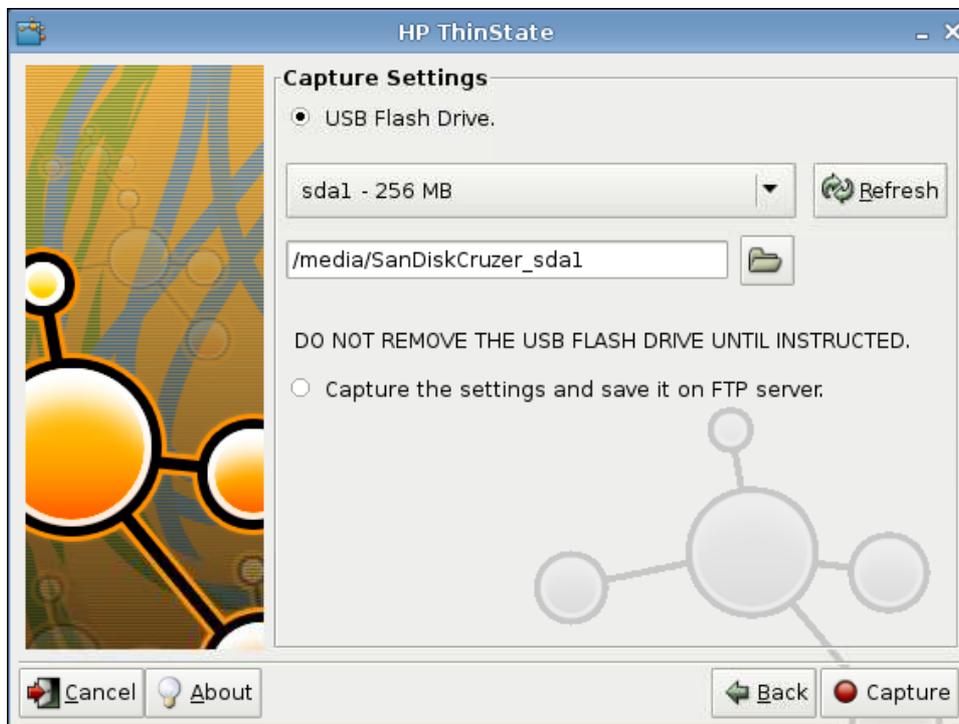
 **注記：** USB フラッシュ ドライブを使用して設定をキャプチャするとき、フラッシュ ドライブに最近キャプチャした設定が含まれる場合は、[ThinState]ユーティリティを使用する前に USB フラッシュ ドライブをフォーマットする必要があります。

1. USB フラッシュ ドライブを Thin Client に接続します。
2. **[Control Panel]**（コントロール パネル）→**[ThinState]**の順に選択します。

3. 通知メッセージが表示されたら[OK]をクリックします。以下のウィンドウが表示されます。

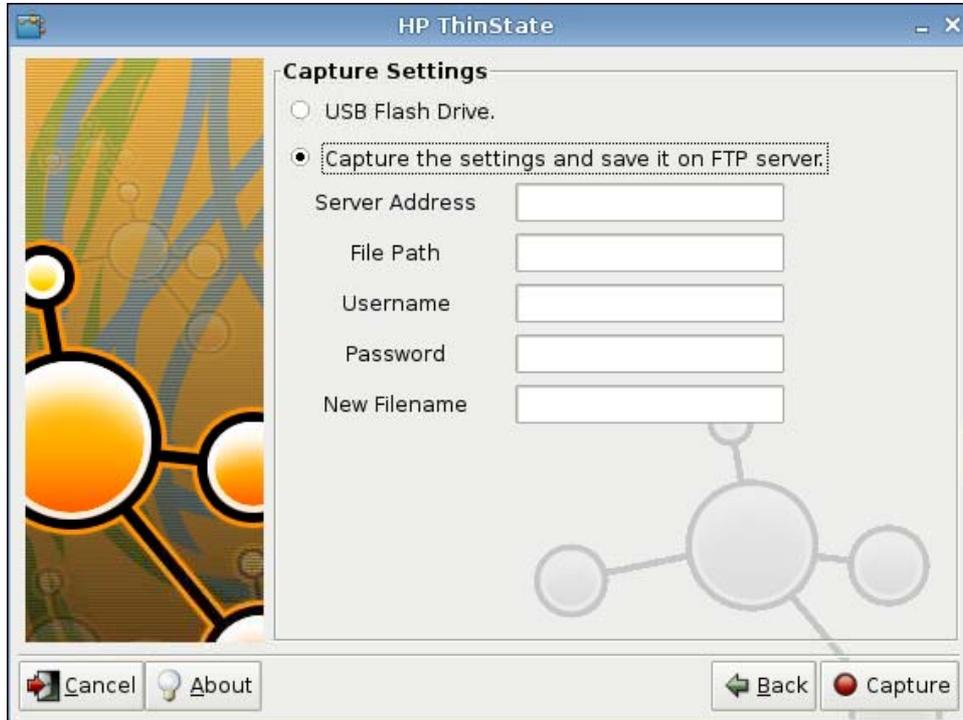


4. [Capture Settings] (設定をキャプチャ) を選択し、[Next] (次へ) をクリックします。以下のウィンドウが表示されます。



5. 目的の USB フラッシュ ドライブを一覧から選択します。

(任意の保存先) **[Capture the settings and save it on FTP server]** (設定をキャプチャして FTP サーバーに保存) を選択して、FTP の **[Server Address]** (サーバー アドレス)、**[File Path]** (ファイル パス)、**[Username]** (ユーザー名)、**[Password]** (パスワード)、**[New Filename]** (新しいファイル名) に入力すると、設定を FTP サーバーに保存できます。



6. **[Capture]** (キャプチャ) をクリックします。
7. 通知メッセージが表示されたら **[OK]** をクリックします。

これで設定のキャプチャが完了しました。USB フラッシュ ドライブを取り外します。

 **注記：** USB ドライブの取り外しは、必ずシステムを再起動する前に行ってください。

8. ウィンドウを閉じます。

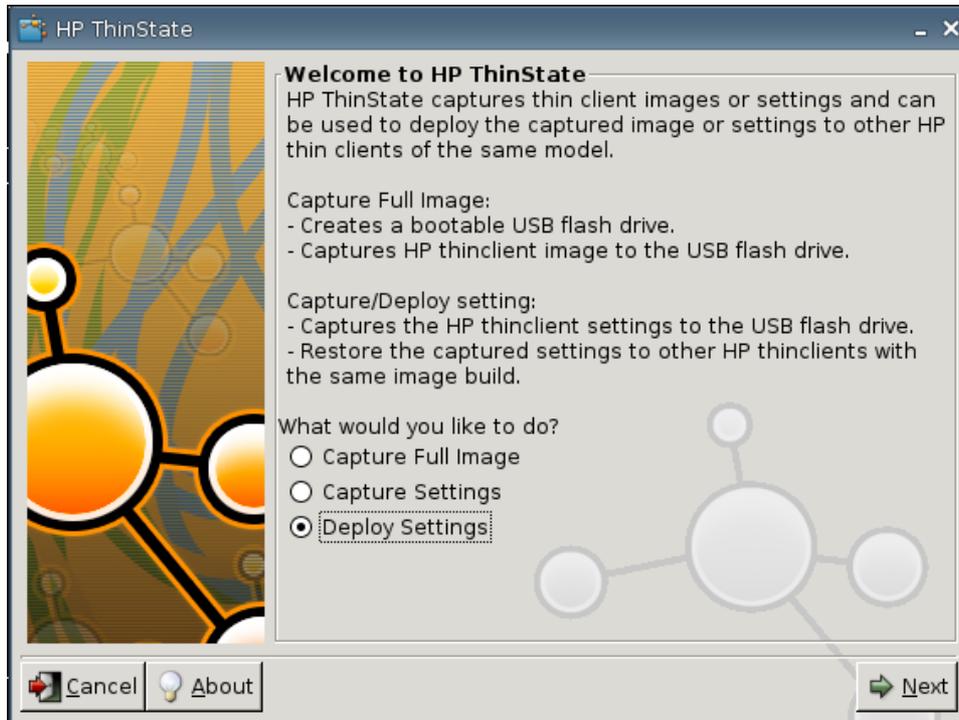
USB ドライブ上にあるキャプチャ設定を使用して、別のシステム上にコピー (配備) したり、設定を変更した後に現在のキャプチャを元の設定に復元したりします。

USB ドライブからのキャプチャ済み設定の配備

[HP ThinState]を使用してキャプチャ済み設定を USB ドライブから配備するには、以下の操作を行います。

1. キャプチャ済み設定を格納してある USB フラッシュ ドライブを接続します。
2. キャプチャ済み設定の配備先にする Thin Client 上で **[Control Panel]** (コントロール パネル) → **[ThinState]** の順にクリックします。

- 警告メッセージが表示されたら[OK]をクリックします。以下のウィンドウが表示されます。



- [Deploy Settings] (設定を配備) を選択します。
- [Next] (次へ) をクリックします。
- 目的の USB フラッシュ ドライブを一覧から選択します。
- [Deploy] (配備) をクリックします。

イメージの設定後、設定の配備が正常に完了したら、USB フラッシュ ドライブを取り外します。

- 通知メッセージが表示されたら[OK]をクリックします。
設定が配備されると、Thin Client はただちに再起動します。

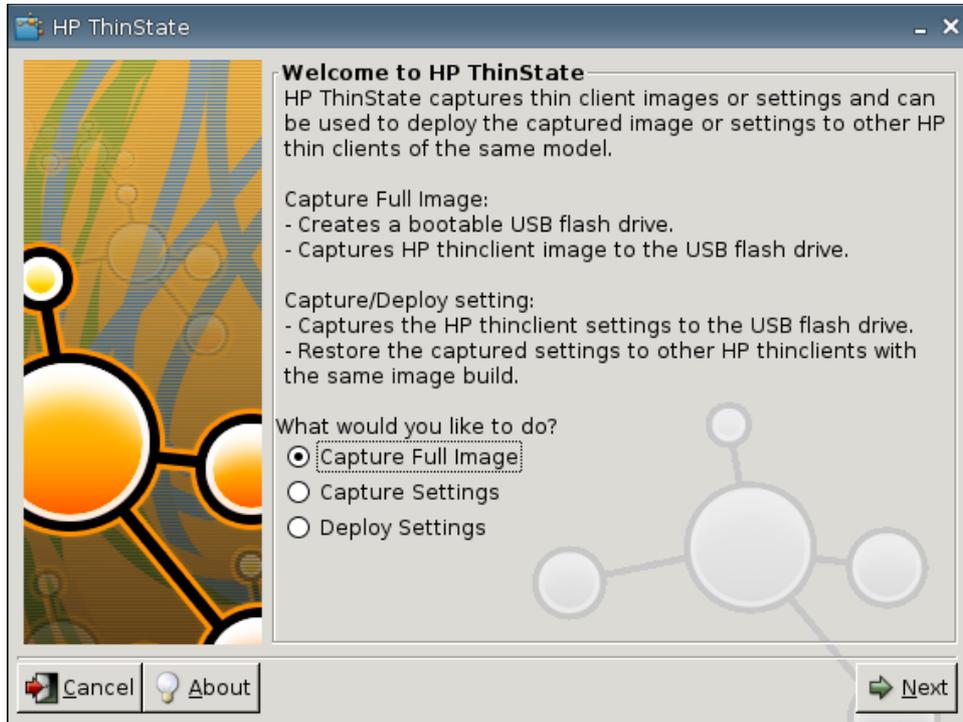
注記： USB フラッシュ ドライブを取り外さなかった場合、再起動中に任意のキーを押すように求められます。フラッシュ ドライブを取り外してどれかのキーを押し、再起動を続行します。

Thin Client の全イメージの USB ドライブへのキャプチャ

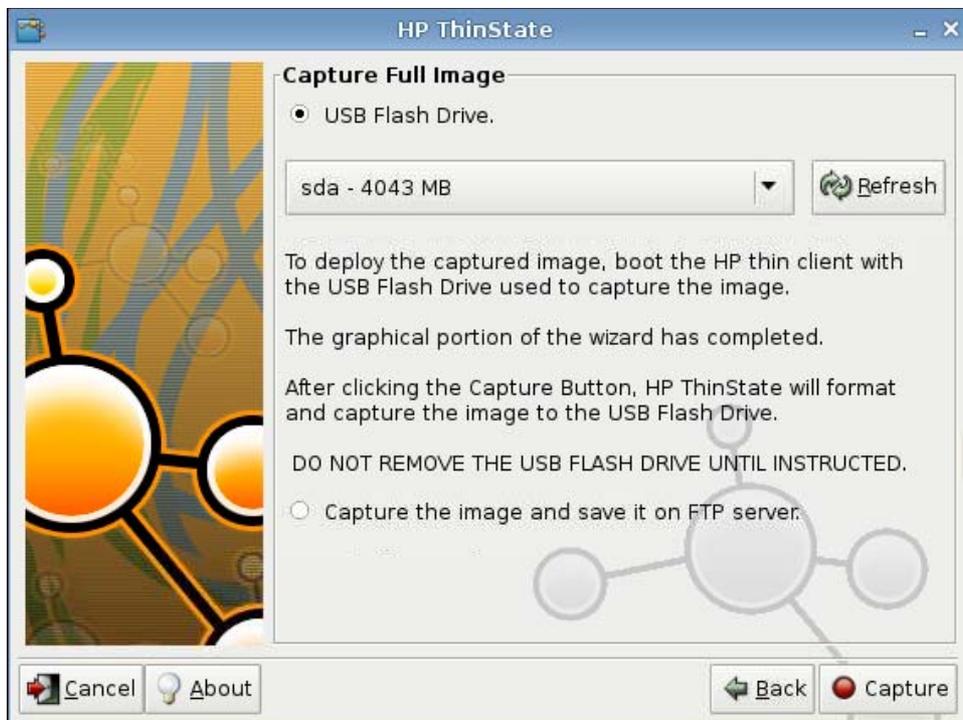
[HP ThinState]を使用して Thin Client の全イメージを USB ドライブにキャプチャするには、以下の操作を行います。

- USB フラッシュ ドライブを Thin Client に接続します。
注記： 全イメージをキャプチャするときには、[HP ThinState]は自動的に USB フラッシュ ドライブをフォーマットし、そのフラッシュ ドライブを起動可能にします。
- [Control Panel] (コントロール パネル) → [ThinState]の順に選択します。

3. 通知メッセージが表示されたら [OK] をクリックします。以下のウィンドウが表示されます。



4. [Capture Full Image] (全イメージをキャプチャ) を選択し、[Next] (次へ) をクリックします。以下のウィンドウが表示されます。



5. 初期設定では、すべての設定がキャプチャされます。[Customize Captured Settings] (キャプチャ済みの設定をカスタマイズ) をクリックして、キャプチャしたい設定のみを選択します。

6. **[Capture]** (キャプチャ) をクリックします。
7. 警告メッセージが表示されたら**[OK]**をクリックします。
全イメージのキャプチャが完了すると、USB ドライブを取り外すように指示されます。
8. USB フラッシュ ドライブを取り外し、**[OK]**をクリックします。
9. **[HP ThinState]**ウィンドウを閉じます。

USB ドライブ上の全イメージのキャプチャを使用して、他のシステム上にコピーしたり、現在の Thin Client を元のイメージに復元したりできます。

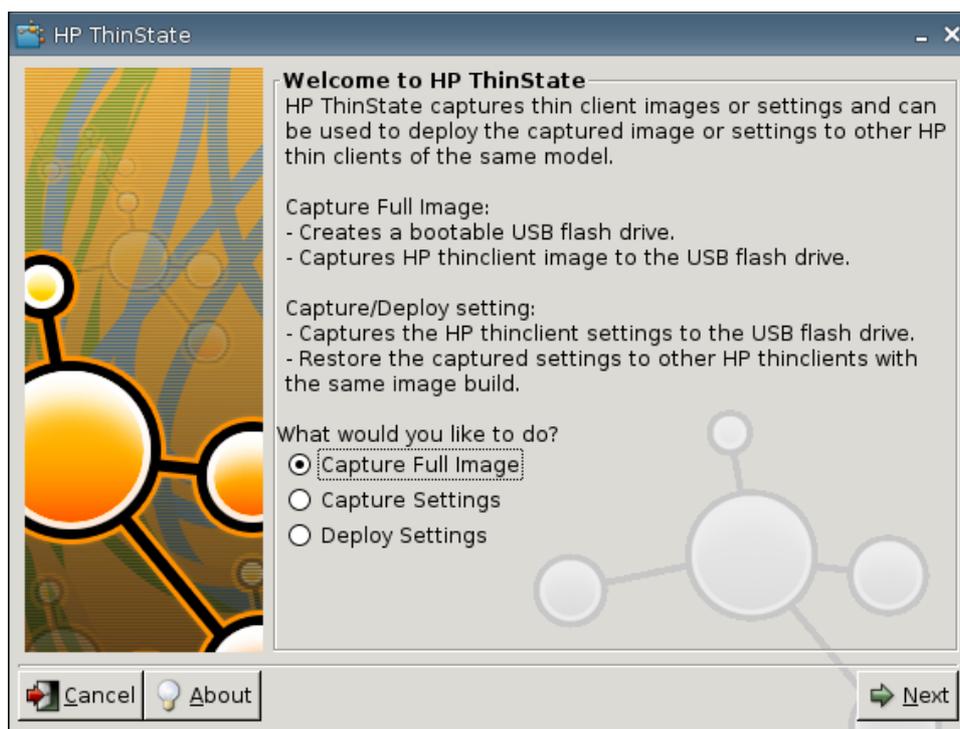
USB ドライブから全イメージをインストールするには、USB ドライブを目的の Thin Client に接続してユニットを再起動し、画面の指示に沿って操作します。

全イメージの FTP サイトへの配備

 **注記：** この手順を実行するには、少なくとも 1 GB の RAM が必要です。

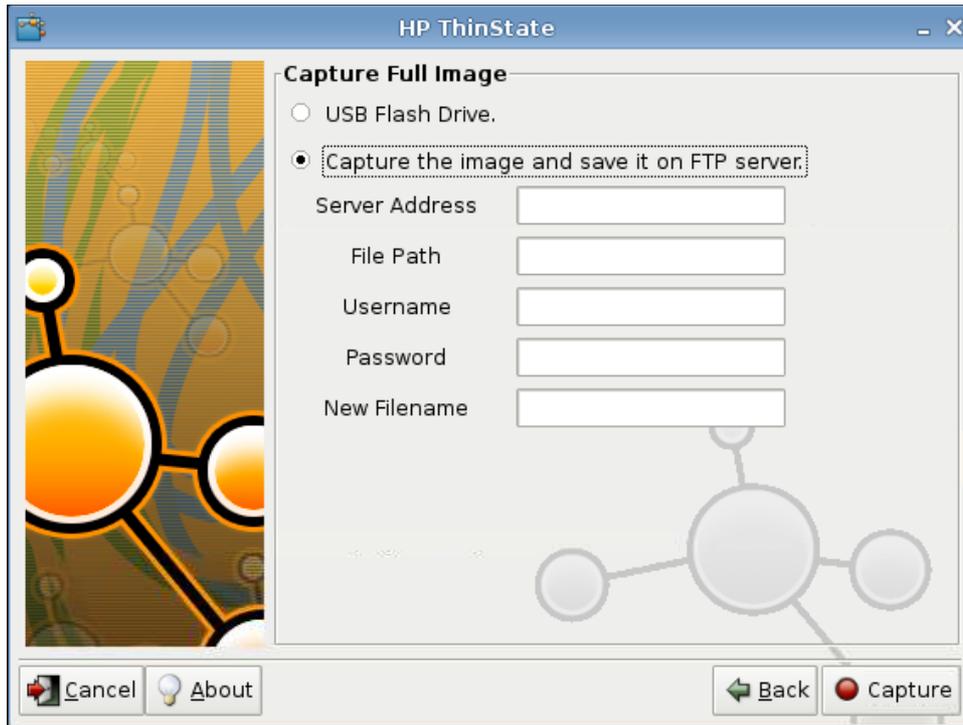
[HP ThinState]を使用して全イメージを FTP サイトに配備するには、以下の操作を行います。

1. キャプチャ済みの全イメージの配備元にする Thin Client 上で**[Control Panel]** (コントロールパネル) →**[ThinState]**の順にクリックします。
2. 警告メッセージが表示されたら**[OK]**をクリックします。以下のウィンドウが表示されます。



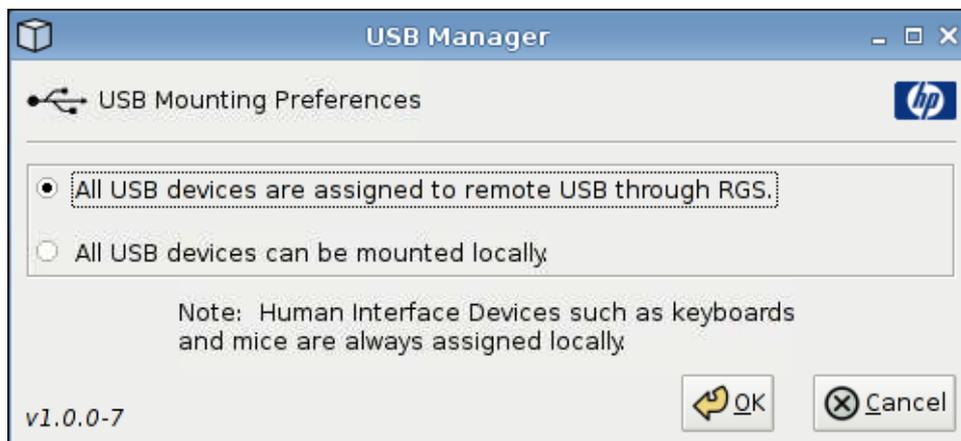
3. **[Capture Full Image]** (全イメージをキャプチャ) を選択します。
4. **[Next]** (次へ) をクリックします。

5. **[Capture the image and save it on FTP server]**（全イメージをキャプチャしてFTPサーバーに保存）を選択します。以下のウィンドウが表示されます。



6. **[Capture]**（キャプチャ）をクリックします。
7. 通知メッセージが表示されたら**[OK]**をクリックします。
8. カスタマイズが完了した**[hpthinstate]**設定ダイアログ ボックスを閉じます。

[USB Manager]（USB マネージャー）



USB の取り付けを設定するには、以下の操作を行います。

1. **[Control Panel]** (コントロール パネル) → **[USB Manager]** (USB マネージャー) の順にクリックします。
2. **[All USB devices are assigned to remote USB through RGS]** (RGS によってすべての USB デバイスをリモートの USB に割り当てる) または **[All USB devices can be mounted locally]** (すべての USB デバイスをローカルにマウントできる) を選択します。
3. **[OK]** をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

[User Login Manager] (ユーザー ログイン マネージャー)



ユーザーのログインを設定するには、以下の操作を行います。

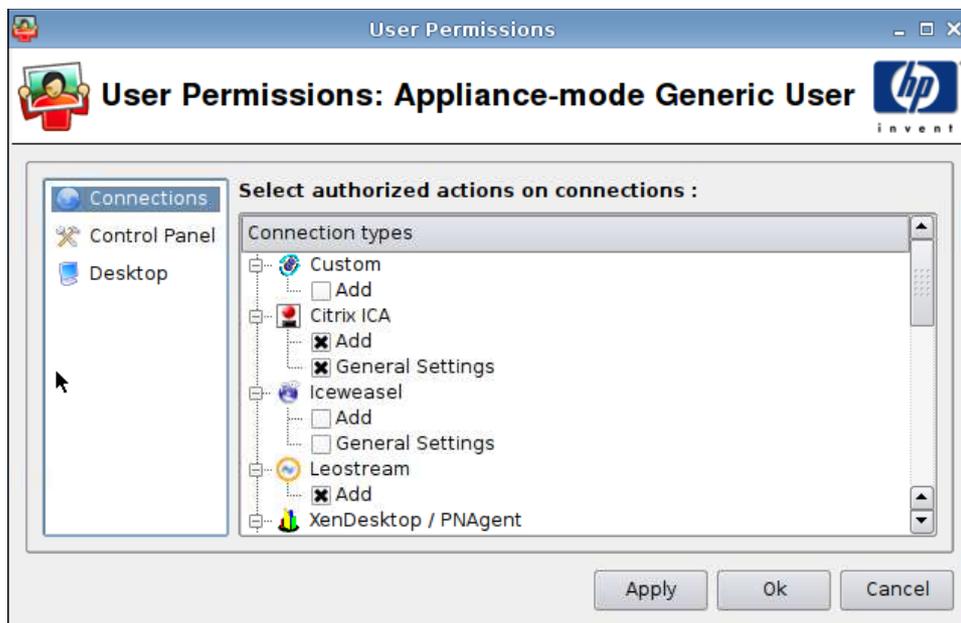
1. **[Control Panel]** (コントロール パネル) → **[User Login Manager]** (ユーザー ログイン マネージャー) の順にクリックします。
2. **[root login]** (ルート ログイン) のパスワードを設定して確認します。
3. **[appliance login]** (アプライアンス ログイン) の場合は、**[Timed Autologin]** (タイムアウトを設定した自動ログイン) または **[Login with Password]** (パスワードを使用してログインする) のどちらかを選択します。

[Login with Password] を選択した場合は、**[appliance login]** のパスワードを設定して確認します。

[Timed Autologin] (タイムアウトを設定した自動ログイン) を選択した場合は、**[Timed Login Delay]** (タイムアウトのログイン遅延) を設定します。

4. **[Apply]** (適用) → **[OK]** の順にクリックして、ダイアログ ボックスを閉じます。

[User Permissions] (ユーザー アクセス権)



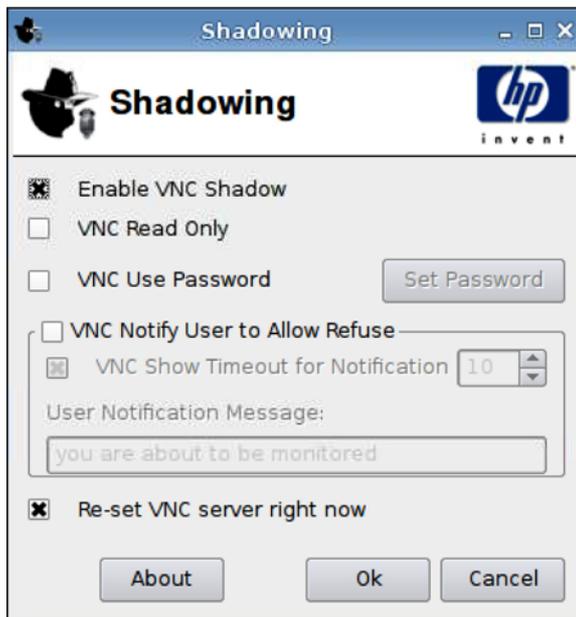
以下のユーザー アクセス権をカスタマイズできます。

- 認証済みの接続
- 認証済みのアプリケーション
- デスクトップのオプション

ユーザー アクセス権を設定するには、以下の操作を行います。

1. [Control Panel] (コントロール パネル) → [User Permissions] (ユーザー アクセス権) の順にクリックします。
2. 左パネルにある [Connections] (接続設定) をクリックして、認証済みの接続のチェック ボックスにチェックを入れるか、チェックを外します。
3. 左パネルにある [Control Panel] (コントロール パネル) をクリックして、認証済みのアプリケーションのチェック ボックスにチェックを入れるか、チェックを外します。
4. 左パネルにある [Desktop] (デスクトップ) をクリックして、デスクトップ オプションのチェック ボックスにチェックを入れるか、チェックを外します。
5. [Apply] (適用) → [OK] の順にクリックして、ダイアログ ボックスを閉じます。

[VNC Shadow] (VNC シャドウイング)



VNC (Virtual Network Computing) は、リモート マシンのデスクトップを表示し、手元にあるマウスとキーボードでそのデスクトップを制御できるリモート制御プログラムです。

他の場所から Thin Client にアクセスできるようにするには、以下の操作を行います。

1. **[Control Panel]** (コントロール パネル) → **[Shadowing]** (シャドウイング) の順にクリックします。
2. VNC を使用して Thin Client にアクセスできるようにするには、**[Enable VNC Shadow]** (VNC 接続を許可する) を選択します。
3. VNC セッションを読み取り専用にするには、**[VNC Read Only]** (VNC 接続時の操作無効) を選択します。
4. VNC を使用した Thin Client へのアクセスにパスワードを要求するには、**[VNC Use Password]** (VNC ユーザー パスワード) を選択します。
5. 他のユーザーが VNC を使用して Thin Client にアクセスしてきたときにメッセージを表示し、VNC アクセスを拒否できるようにするには、**[VNC Notify User to Allow Refuse]** (VNC によるユーザーへの通知と拒否の許可) を選択します。
6. **[Re-set VNC server right now]** (VNC サーバーを今すぐ再設定する) を選択して **[OK]** をクリックし、VNC サーバーをリセットします。
7. **[OK]** をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを終了します。

 **注記：** 変更を有効にするには、Thin Client を再起動する必要があります。

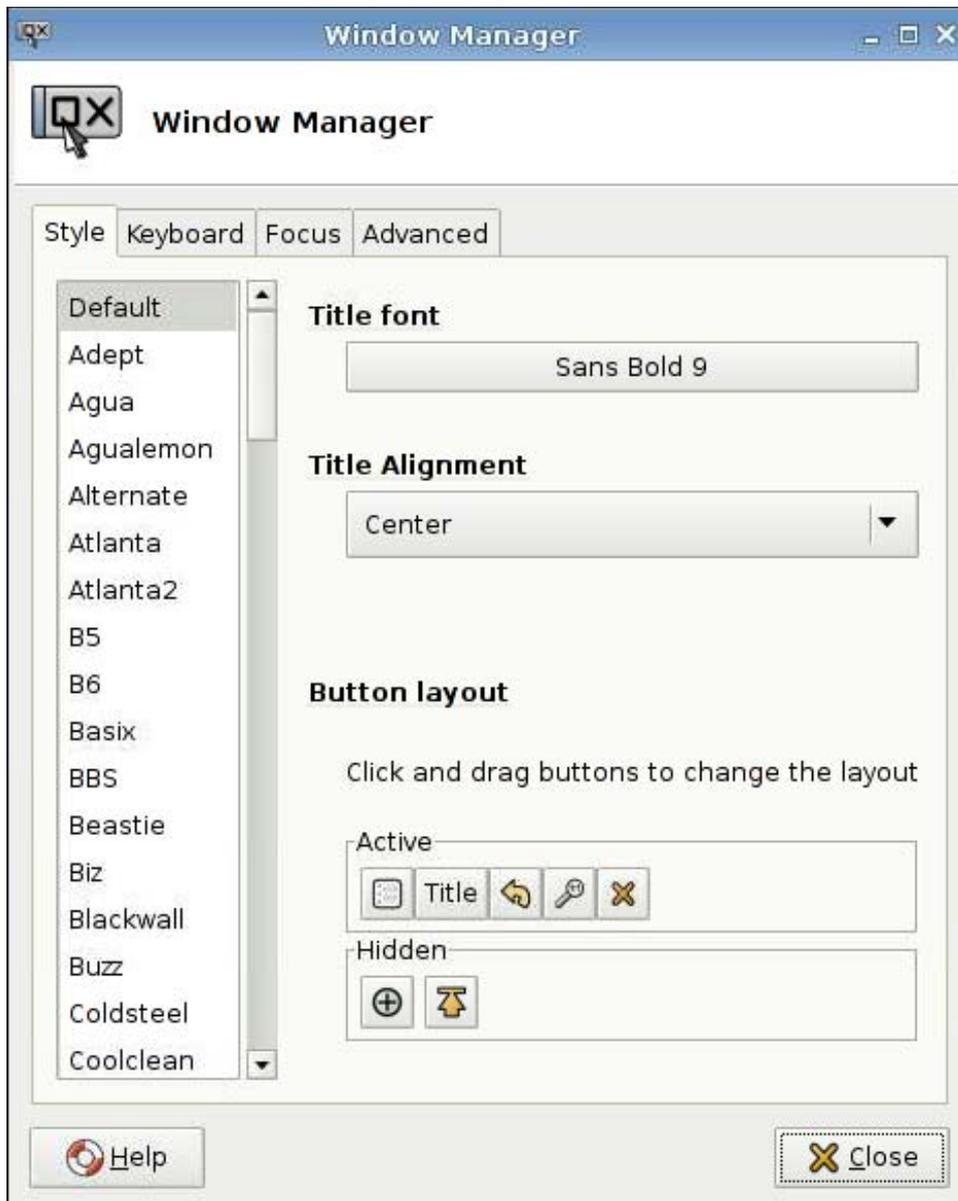
[Volume Control] (音量調整)



音量を設定するには、以下の操作を行います。

1. **[Control Panel]** (コントロール パネル) → **[Volume Control]** (音量調整) の順にクリックします。
2. スライダー コントロールをクリックしてからドラッグし、**[PCM]**、**[Front]** (フロント)、**[Mic]** (マイク)、および**[Mic Boost]** (マイク ブースト) を設定します。

[Window Manager] (ウィンドウ マネージャー)



ウィンドウ管理の仕様を設定するには、以下の操作を行います。

1. **[Control Panel]** (コントロール パネル) → **[Window Manager]** (ウィンドウ マネージャー) の順にクリックします。
2. 以下のタブで仕様を設定します。
 - **[Style]** (スタイル)
 - **[Keyboard]** (キーボード)
 - **[Focus Model]** (フォーカス モデル)
 - **[Advanced]** (詳細設定)
3. **[Close]** (閉じる) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

[Style] (スタイル) タブでは、以下の設定を実行できます。

- [Title font] (タイトルのフォント)
- [Title Alignment] (タイトルの配置)
- [Button layout] (ボタンのレイアウト)

[Keyboard] (キーボード) タブでは、[Window shortcuts] (Windows ショートカット) を設定できます。

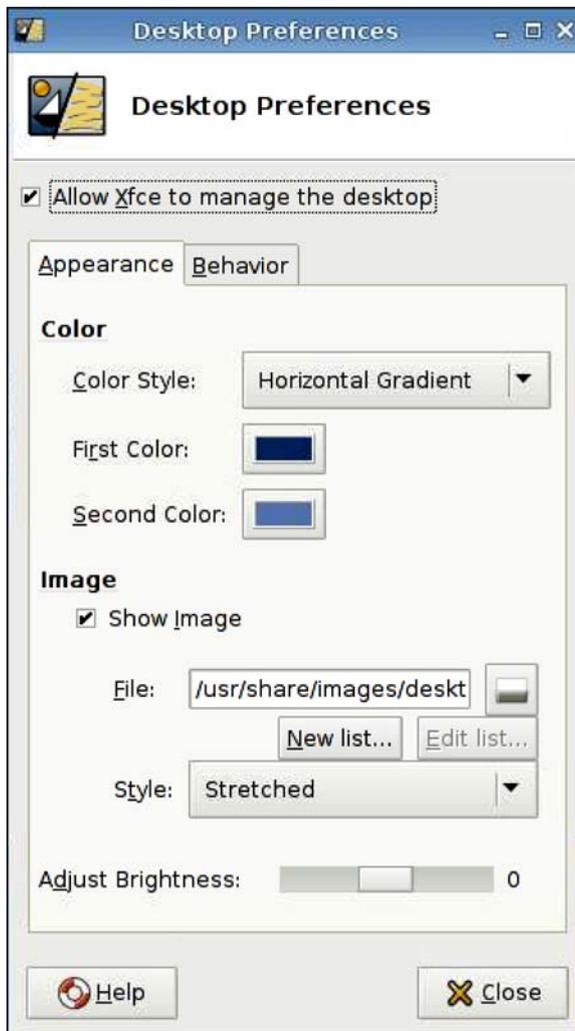
[Focus] (フォーカス) タブでは、以下のタイミング調整パラメーターを設定します。

- [Focus Model] (フォーカス モデル)
- [New window focus] (新しいウィンドウ フォーカス)
- [Raise on focus] (フォーカスの生成)
- [Raise on click] (クリックの生成)

また、以下の[Advanced] (詳細) 設定を指定できます。

- [Windows snapping] (ウィンドウのスナップ)
- [Wrap workspaces] (ワークスペースの折り返し)
- [Opaque move and resize] (移動とリサイズをぼかす)
- [Double click action] (ダブル クリック操作)

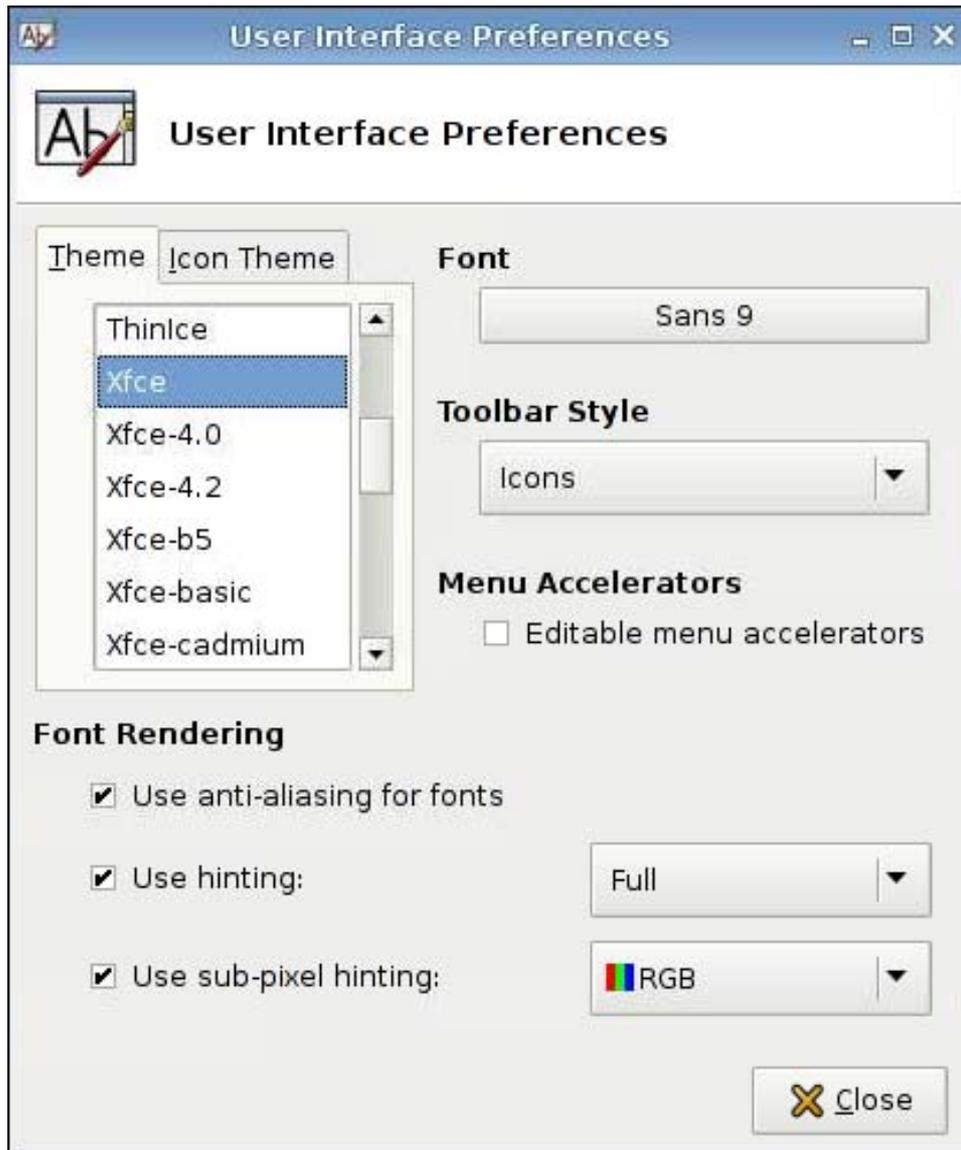
[Xfce 4 Desktop Settings] (Xfce 4 デスクトップ設定)



デスクトップを設定するには、以下の操作を行います。

1. **[Control Panel]** (コントロール パネル) → **[Xfce 4 Desktop Settings]** (Xfce 4 デスクトップ設定) の順にクリックします。
2. これらの設定を有効にするには、**[Allow Xfce to manage the desktop]** (Xfce によるデスクトップの管理を許可する) を選択します。
3. **[Appearance]** (外観) タブで、**[Color]** (色) と **[Image]** (イメージ) の設定および **[Adjust Brightness]** (輝度の調整) を設定します。
4. **[Behavior]** (動作) タブで、**[Menus]** (メニュー) および **[Desktop Icons]** (デスクトップ アイコン) を設定します。
5. **[Close]** (閉じる) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

[Xfce 4 User Interface Settings] (Xfce 4 ユーザー インターフェイス設定)



ユーザー インターフェイスを設定するには、以下の操作を行います。

1. **[Control Panel]** (コントロール パネル) → **[Xfce 4 User Interface Settings]** (Xfce 4 ユーザー インターフェイス設定) の順にクリックします。
2. **[Theme]** (テーマ) および **[Icon Theme]** (アイコン テーマ) タブで、以下の操作を行います。
 - a. テーマを選択します。
 - b. 以下の設定を行います。
 - **[Font]** (フォント)
 - **[Toolbar Style]** (ツールバー スタイル)

- [Menu Accelerators] (メニュー アクセラレータ)
 - [Font Rendering] (フォント レンダリング)
3. [Close] (閉じる) をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

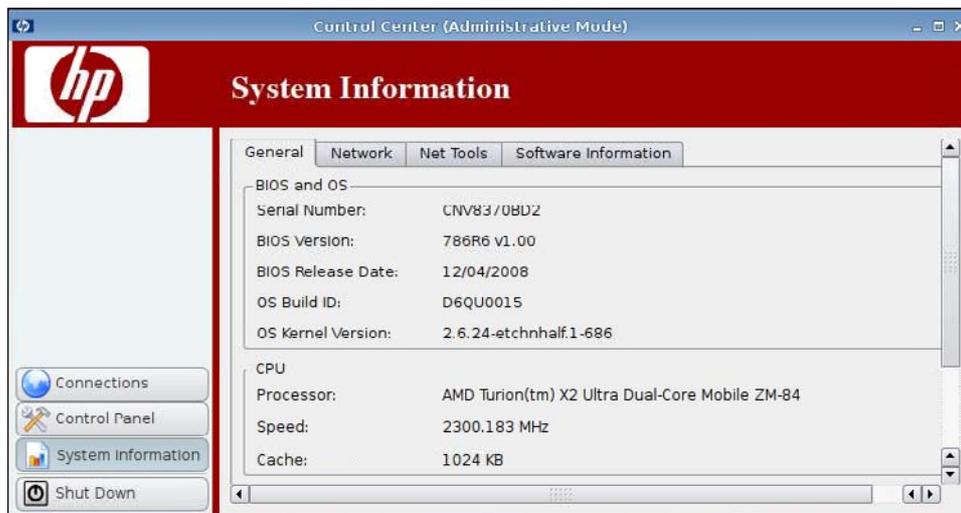
[X Terminal]



ルート ディレクトリにアクセスするには、以下の操作を行います。

- ▲ [Control Panel] (コントロール パネル) → [X Terminal] の順にクリックします。

[System Information] (システム情報)



[System Information] (システム情報) では、システム情報の表示や変更を行うことができます。

▲ 左側のパネルにある [System Information] (システム情報) をクリックします。

[System Information] (システム情報) 画面には、以下の4つのタブがあります。

- [122 ページの「\[General\] \(全般\)」](#)
- [123 ページの「\[Network\] \(ネットワーク\)」](#)
- [124 ページの「\[Net Tools\] \(ネット ツール\)」](#)
- [125 ページの「\[Software Information\] \(ソフトウェア情報\)」](#)

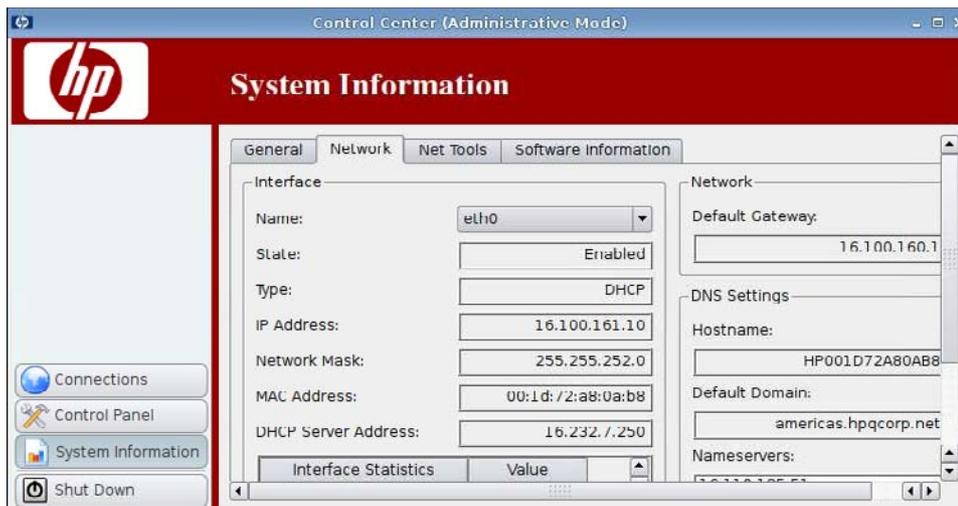
[General] (全般)

[General] (全般) タブには、以下の情報が表示されます。

- [BIOS and OS] (BIOS および OS)
 - [Serial Number] (シリアル番号)
 - [BIOS Version] (BIOS バージョン)
 - [BIOS Release Date] (BIOS のリリース日)

- [OS Build ID] (OS のビルド ID)
- [OS Kernel Version] (OS のカーネル バージョン)
- [CPU]
 - [Processor] (プロセッサ)
 - [Speed] (速度)
 - [Cache] (キャッシュ)
- [Flash and Memory] (フラッシュおよびメモリ)
 - [Free] (空き領域)
 - [Used] (使用済み領域)
 - [Installed] (インストール済み)

[Network] (ネットワーク)

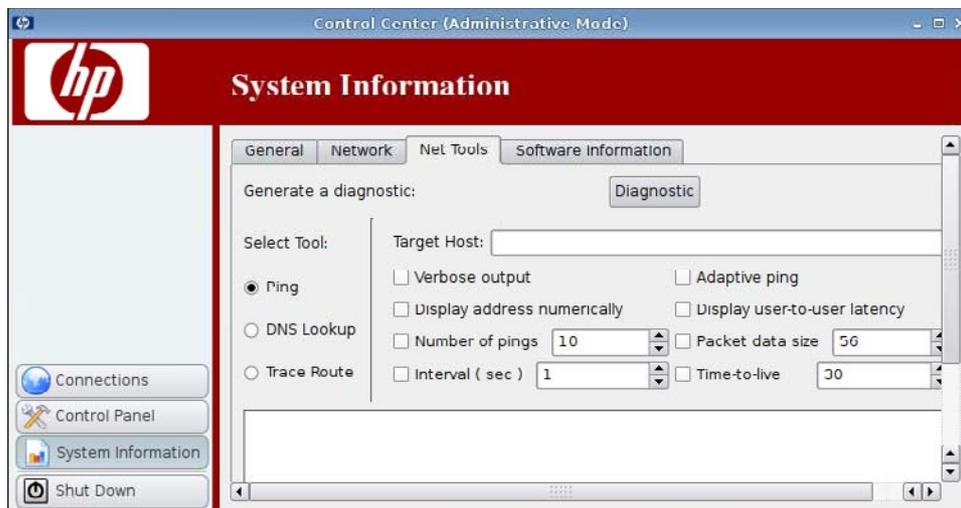


[Network] (ネットワーク) タブには、以下の情報が表示されます。

- [Interface] (インターフェイス)
 - [Name] (名前)
 - [State] (状態)
 - [Type] (タイプ)
 - [IP Address] (IP アドレス)
 - [Network Mask] (ネットワーク マスク)

- [DHCP Server Address] (DHCP サーバーのアドレス)
- [Interface Statistics] (インターフェイスの統計)
- [Network] (ネットワーク)
 - [Default Gateway] (デフォルト ゲートウェイ)
- [DNS Settings] (DNS 設定)
 - [Hostname] (ホスト名)
 - [Default Domain] (デフォルト ドメイン)
 - [Nameservers] (ネームサーバー)

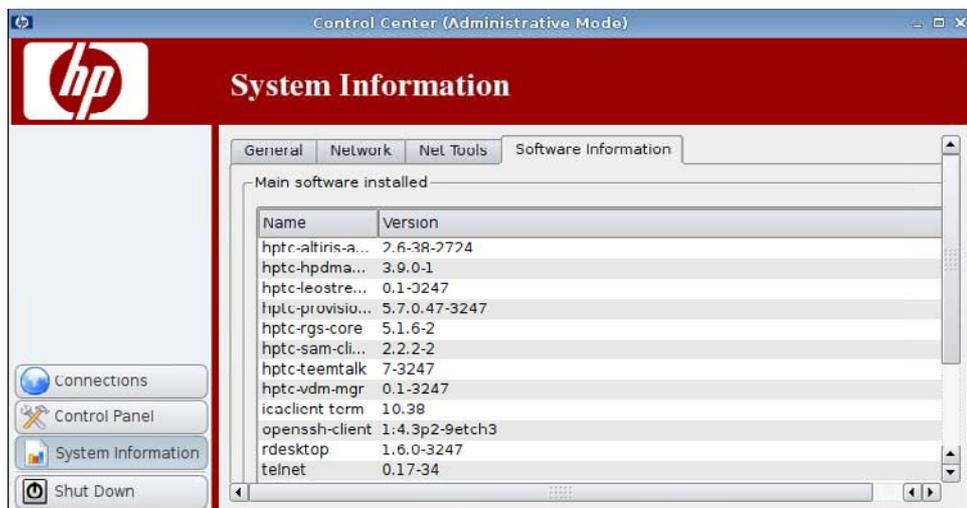
[Net Tools] (ネット ツール)



[Net Tools] (ネット ツール) タブでは、以下のパラメーターを設定できます。

- [Ping]
- [DNS Lookup] (DNS ルックアップ)
- [Trace Route] (トレース ルート)

[Software Information] (ソフトウェア情報)



[Software Information] (ソフトウェア情報) タブには、[Main software installed] (インストールされているメイン ソフトウェア) が表示されます。

索引

- A**
[Altiris Agent]の設定 67
Altiris の設定 67
- B**
BIOS 情報 122
- C**
Citrix ICA
Application (アプリケーション) オプション 26
Common Settings (共通設定) オプション 29
Connection (接続) オプション 24
Keyboard Shortcuts (キーボード ショートカット) 設定 13
Window (ウィンドウ) オプション 25
Window (ウィンドウ) 設定 10
オプション 22
オプション設定 8
サーバーの場所の設定 12
スマート Ping オプション 28
接続設定 7
接続の追加 22
ネットワーク オプション 23
ファイアウォールオプション 27
ファイアウォール設定 11
ローカル リソース設定 9
Connect (接続) 7
CPU 情報 122
- D**
delete (削除) 接続 64
DHCP サーバーの導入 88
Disconnect (切断) 7
DNS 設定 123
DNS、ネットワーク 97
DNS ルックアップ 124
- E**
ezUpdate 85
ezUpdate サーバーの導入 86
- G**
General Settings (一般設定) 7
- H**
[HP Device Management Agent] 88
[HP Device Management Agent] の設定 88
[HP FTP Update] (HP FTP 更新) 89
HP SAM クライアント オプション 42
接続の追加 42
HP ThinPro GT 1
HP ThinState 106
- I**
ICA
Application (アプリケーション) オプション 26
Common Settings (共通設定) オプション 29
Connection (接続) オプション 24
Keyboard Shortcuts (キーボード ショートカット) 設定 13
Window (ウィンドウ) オプション 25
Window (ウィンドウ) 設定 10
- O**
オプション 22
オプション設定 8
サーバーの場所の設定 12
スマート Ping オプション 28
接続設定 7
接続の追加 22
ネットワーク オプション 23
ファイアウォールオプション 27
ファイアウォール設定 11
ローカル リソース設定 9
- Iceweasel**
Advanced (詳細設定) オプション 42
General Settings (一般設定) 14
Javascript 18
[Proxy] (プロキシ) 15
Tabbed Browsing (タブ ブラウジング) 設定 16
オプション 41
セキュリティ設定 17
接続設定 13
接続の追加 41
設定オプション 41
IP アドレス 96, 123
IP アドレス、設定 94
- L**
Leostream
Advanced (詳細設定) オプション 47
オプション 45
接続、追加 45
ネットワーク オプション 46
- OS 情報 122**

P

- Ping 設定 124
- PNAgent
 - Advanced (詳細設定) オプション 45
 - オプション 44
 - 接続の追加 44
 - 設定オプション 44
- Provision
 - Advanced (詳細設定) オプション 53
 - Window (ウィンドウ) オプション 49
 - オプション 47, 50
 - 接続、追加 47
 - 操作環境オプション 52
 - ネットワーク オプション 48
 - ローカル リソース オプション 51

R

- RDP
 - Advanced (詳細設定) オプション 35
 - Window (ウィンドウ) オプション 31, 55
 - オプション 29, 32
 - 接続設定 19
 - 接続の追加 29
 - 設定 19
 - 操作環境オプション 34
 - ネットワーク オプション 30
 - ローカル リソース オプション 33
- RGS
 - Advanced (詳細設定) オプション 22
 - オプション 20
 - 接続の追加 20

S

- SAM
 - Advanced (詳細設定) オプション 43
 - HP SAM クライアントのオプション 43
- SAM クライアント 42
- Secure Shell アクセス 104
- Software Information (ソフトウェア情報)、システム情報 125

SSH

- Advanced (詳細設定) オプション 60
- オプション 58
- 接続、追加 58
- 設定オプション 59
- [SSHD Manager] (SSHD マネージャー) 104
- [Synaptic Package Manager] (Synaptic パッケージ マネージャ) 104

T

- TCP 68
- Teemtalk
 - Advanced (詳細設定) オプション 38, 40
 - Connection Information (接続情報) 37
 - Finalization (確定) 39
 - ウィザードによる接続の追加 36
 - オプション 35
 - 手動による接続の追加 39
 - 接続の追加 35
 - 設定オプション 40
- Telnet
 - Advanced (詳細設定) オプション 62, 64
 - オプション 61
 - 設定オプション 61
 - 設定の追加 61
- Thin Client
 - イメージ 1
 - インストール 5
- ThinPrint 105
- ThinPro GT 1
- ThinState
 - Thin Client 設定の USB ドライブへのキャプチャ 106
 - USB ドライブからのキャプチャ済み設定の配備 108
 - 全イメージの FTP サイトへの配備 111
 - 全イメージの USB ドライブへのキャプチャ 109

U

- USB
 - 取り付けの設定 112
 - マネージャー 112
- [User Login Manager] (ユーザーログイン マネージャー) 113

V

- VDM
 - Advanced (詳細設定) オプション 56
 - オプション 53
 - 接続の追加 53
 - ネットワーク オプション 54
- VNC シャドウイング 115

X

- Xdmcop
 - Advanced (詳細設定) オプション 58
 - オプション 56
 - 接続、追加 56
 - 設定オプション 57
- XenDesktop
 - Advanced (詳細設定) オプション 45
 - オプション 44
 - 接続の追加 44
 - 設定オプション 44
- [Xfce 4 User Interface Settings] (Xfce 4 ユーザー インターフェイス設定) 120
- Xfce 4 デスクトップ設定 119
- [X Terminal] 121

あ

- アグリゲーション、クライアント 68
- アップデート
 - ezUpdate 85
 - [Synaptic Package Manager] (Synaptic パッケージ マネージャ) 104

い

- 一般的なシステム情報 122
- イメージ
 - Thin Client 1
 - キャプチャ 106
 - 導入 106

インストール 5
インターフェイス
ネットワーク 94
インターフェイスの設定 120

う
ウィンドウ管理 117

お
オプション
Citrix ICA 22
HP SAM クライアント 42
ICA 22
Iceweasel 41
Leostream 45
PNAgent 44
Provision 47
RDP 29
RGS 20
SSH 58
Teemtalk 35
Telnet 61
VDM 53
Xdmcp 56
XenDesktop 44
カスタム 63
オペレーティング システムの情報 122
音量調整 116

か
カスタム
オプション 63
接続、追加 63
設定オプション 63
管理者モード、切り替え 3
管理者、ログイン 5

き
キーボード 91
キーボード レイアウト 92

く
クライアント アグリゲーション
設定 70
無効化 75

け
ゲートウェイ 123
言語の選択 92

こ
更新
[HP FTP Update] (HP FTP 更新) 89
コピー、接続 64
コントロール パネル
Altiris の設定 67
DHCP サーバーの導入 88
ezUpdate 85
[HP Device Management Agent] の設定 88
[HP FTP Update] (HP FTP 更新) 89
HP ThinState 106
[SSHD Manager] (SSHD マネージャー) 104
[Synaptic Package Manager] (Synaptic パッケージ マネージャ) 104
ThinPrint 105
[USB Manager] (USB マネージャー) 112
[User Login Manager] (ユーザー ログイン マネージャ) 113
[Window Manager] (ウィンドウ マネージャー) 117
[Xfce 4 User Interface Settings] (Xfce 4 ユーザー インターフェイス設定) 120
Xfce 4 デスクトップ設定 119
[X Terminal] 121
音量調整 116
キーボード 91
キーボード レイアウト 92
クライアント アグリゲーション 68
言語 92
サウンド 103
シャドウイング 115
スクリーンセーバー 101
ディスプレイの設定 76
ネットワーク 94
日付と時刻 76
プリンター 98
マウス 93
ユーザー アクセス権 114
コンピューターの情報 122

さ
サーバーの導入、DHCP 88
サウンド 103
削除
プリンター 100

し
時刻と日付 76
システム情報
Software Information (ソフトウェア情報) 125
全般 122
ネット ツール 124
ネットワーク 123
シャドウイング 115
ジョブ、プリンター 100

す
スクリーンセーバー
詳細設定 102
表示モード 101
ステータス、接続 6

せ
接続
add (追加) 20, 64
delete (削除) 64
edit (編集) 65
一覧 20
ステータス 6
設定 6
無効化 65
有効化 65

接続、追加
Citrix ICA 22
HP SAM クライアント 42
ICA 22
Iceweasel 41
Leostream 45
PNAgent 44
Provision 47
RDP 29
RGS 20
SSH 58
Teemtalk 35
Telnet 61
VDM 53
Xdmcp 56
XenDesktop 44
カスタム 63

- 接続の追加
 - HP SAM クライアント 42
 - Iceweasel 41
 - PNAgent 44
 - RGS 20
 - XenDesktop 44
- 設定
 - ディスプレイ設定 78
 - ディスプレイの位置 78
- て
- ディスプレイ
 - 位置 76, 78
 - 解像度 78
 - 設定 70, 76, 78
 - プロファイル 78
 - 方向 78
 - リフレッシュ レート 78
- デスクトップの設定 119
- と
- ドメイン 123
- トレース ルート 124
- ね
- ネット ツール、システム情報 124
- ネットワーク
 - DNS 97
 - IP アドレス 94
 - インターフェイス 94
 - 識別 96
 - システム情報 123
 - 設定 96
 - 全般 96
- ひ
- 日付と時刻 76
- 表示モード スクリーンセーバー 101
- ふ
- プリンター
 - 一覧 99
 - 削除 100
 - ジョブ 100
 - 追加 99
 - 変更 100
- プロセッサの情報 122
- プロファイル、ディスプレイ 78
- へ
- 編集、接続 65
- ほ
- ホスト名 123
- ま
- マウスの設定 93
- マルチキャスト 67
- め
- メモリ情報 122
- も
- モニターの設定 70
- モニター、複数、設定 70
- ゆ
- ユーザー
 - アクセス権 114
 - インターフェイス、HP ThinPro GT 1
 - ログイン 5
- ユーザー ビュー 65
- る
- ルート ディレクトリへのアクセス 121